

■本機はP2HD5年間無償修理特約の対象商品です。詳しくは137ページをご覧ください。

## 取扱説明書

### メモリーカードレコーダー

# P2HD

品番 **AJ-HPS1500**



**AVC Intra** **DVCPROHD** **DVCPRO50** **DVCPRO** **DN**

このたびは、「パナソニック製品」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(5～7ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

#### 保証書別添付

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

- AVC-Intraは、AVC-Intra コーデックボード AJ-YBX200G (オプション) 取り付け時にご利用いただけます。

# 目次

安全上のご注意	5
警告	5
注意	7
電源プラグの接地に関するご注意	7
付属品	8
オプション	8
フロントパネル（下部）のチルト調整	9
はじめに	
特長	10
各部の名称と機能	12
オーディオ・ビデオ制御部	12
GUI 操作部	16
パネル制御部とカードスロット	19
表示パネル	20
リアパネル	22
画面の切り替えとメニューの操作について	25
操作モードについて	25
メニューの操作	26
記録・再生と P2 カードの取り扱いについて	27
P2 カードの挿入	27
記録と再生	27
P2 カードの取り出し	28
誤消去を防ぐには	28
P2 カードアクセス LED と P2 カードの状態について	29
4GB 超でのクリップ分割について	29
P2 カードおよび SD メモリーカードの最新情報について	29
サーチダイヤルによるジョグ/シャトル操作	30
ジョグモード（JOG モード）	30
シャトルモード/スローモード（SHTL モード/SLOW モード）	30
キーボードを利用する	31
フルキーボードを利用する	31
テンキーボードを利用する	31
クリップの管理	
サムネールとクリップの管理について	32
サムネール画面各部の名称とはたらき	33
サムネール画面の表示の変更	35
サムネールの変更	37
クリップを選択する	38
クリップを再生する	39
再生開始位置の変更	39
テキストメモやショットマークを付加する	40
テキストメモを付加する	40
テキストメモを削除する	41
ショットマークを付加する	41
クリップをコピーする	42
クリップを削除する	43
クリップを修復する・連結する	44
不良クリップの修復	44
不完全クリップの連結	44
クリップの情報を表示・修正する	45
クリップ情報の表示	45
クリップメタデータの修正	47
クリップにメタデータを付加する	48
メタデータアップロードファイルの準備	48
メタデータを付加するための設定	48
メタデータ設定値の読み込み	51

	メタデータを付加したクリップの記録 .....	52
	<b>P2 カードをフォーマットする</b> .....	<b>53</b>
	特定の P2 カードをフォーマットする .....	53
	全ての P2 カードをフォーマットする .....	53
	<b>カードの状態を確認する</b> .....	<b>54</b>
	表示する情報を指定する .....	54
	カードの状態に関する情報を表示する .....	55
<hr/>		
<b>プレイリストの利用</b>	<b>プレイリスト機能について</b> .....	<b>56</b>
	プレイリスト画面各部の名称とはたらき .....	57
	ストップモードの設定 .....	58
	プレイリストの操作で使用するボタンとその組み合わせ .....	59
	<b>プレイリストを作成する</b> .....	<b>61</b>
	新規プレイリストの準備 .....	61
	選択クリップのイベント登録 .....	62
	映像からのイベント登録 .....	63
	既存のプレイリストファイルの追加取り込み .....	64
	<b>プレイリストを保存する</b> .....	<b>65</b>
	プレイリストに名称をつける .....	65
	プレイリストを P2 カードに保存する .....	65
	<b>プレイリストを削除する</b> .....	<b>66</b>
	<b>プレイリストを編集する</b> .....	<b>67</b>
	既存のプレイリストファイルを開く .....	67
	イベントの IN 点、OUT 点の修正 .....	68
	イベントのトリミング修正 .....	68
	イベントの順序の変更 .....	69
	イベントの削除 .....	70
	イベントの上書き保存 .....	71
	<b>オーディオスプリットを設定する</b> .....	<b>72</b>
	映像からの登録 .....	73
	オーディオスプリット点の追加登録（登録点修正） .....	74
	オーディオスプリット点のトリミング .....	74
	オーディオスプリット設定の解除 .....	75
	<b>追加記録されたオーディオを編集する</b> .....	<b>76</b>
	追加記録されたオーディオのイベント表示について .....	76
	オーディオの記録位置のトリミング修正 .....	77
	<b>イベントの情報を表示する</b> .....	<b>78</b>
	イベントのプロパティの表示 .....	78
	イベントのレビュー .....	79
	<b>プレイリストを再生する</b> .....	<b>80</b>
	再生時のタイムコード（TC）の設定 .....	80
	プレイリストの再生 .....	81
	<b>プレイリストから新しいクリップを作成する（エディットコピー）</b> .....	<b>82</b>
<hr/>		
<b>クリップセレクト機能</b>	<b>クリップセレクト機能について</b> .....	<b>83</b>
	クリップセレクトの設定 .....	83
	クリップセレクトの解除 .....	83
<hr/>		
<b>ネットワークの設定</b>	<b>本機をネットワークに接続して利用する</b> .....	<b>84</b>
	ネットワークの設定 .....	84
	ユーザの設定 .....	85
	LAN モードへの切り替え .....	86
<hr/>		
<b>USB 端子や SD/SDHC メモリーカードを利用する</b>	<b>USB 端子を利用する</b> .....	<b>87</b>
	USB ホストとして利用する .....	87
	USB デバイスとして利用する .....	87

本機にパーソナルコンピュータを接続して利用する	88
USB デバイスモードへの切り替え	88
本機にハードディスクを接続して利用する	89
使用できるハードディスク	89
USB ホストモードへの切り替え	90
ハードディスクのフォーマット	90
カード単位でのハードディスクへのエクスポート	91
ハードディスクの情報の表示（エクスプローラー画面）	92
ハードディスクのクリップのサムネイル表示	93
ハードディスクから P2 カードへのインポート	94
SD/SDHC メモリーカードを利用する	95
SD メモリーカードの各種情報を表示する	95
SD メモリーカードをフォーマットする	95

## セットアップ

本機の設定について	96
設定の変更	97
変更の操作	97
ロックによるユーザー設定ファイルの保護	98
工場出荷時の設定（初期設定）に戻すには	98
各項目の設定内容	99
SYSTEM	99
BASIC	101
OPERATION	105
INTERFACE	106
EDIT	106
TIME CODE	107
VIDEO	109
AUDIO	112
MENU	114
メニューの SD メモリーカードへの保存について	115
タイムコード／ユーザーズビット／CTL について	116
スーパーインポーズ画面	119
音声 V フェード機能	120

## 未永くお使いいただくために

お手入れについて	121
結露	121
エラーメッセージ	122
ワーニング情報の表示	123
アワーマーター情報の表示	127
ショートカット一覧	128
RS-232C インターフェースについて	130
RS-232C インターフェースからのコマンド受け付け条件	130
ハードウェア仕様について	130
ソフトウェア仕様（プロトコル）について	130
本機搭載ファームウェアのアップデート	134
ラックマウント	135
ラックに組み込む	135
P2 カード記録データの取り扱いについて	136

保証とアフターサービス（よくお読みください）	137
定格	138
メニュー索引	140

# 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 <b>警告</b>	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 <b>注意</b>	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

## 警告

<p><b>電源プラグは、根元まで確実に差し込む</b></p>  <p>差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。</p>	<p><b>電源プラグのほこりなどは、定期的にとる</b></p>  <p>プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災や感電の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。</li> </ul>	<p><b>内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない</b></p>  <p>ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•機器の上や近くに液体の入った花瓶などの容器や金属物を置かないでください。</li> </ul>
<p><b>指定のカバー以外は外さない</b></p>  <p>火災や感電の原因になります。</p> <p><b>分解禁止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•点検・整備・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。</li> </ul>	<p><b>電源コード・プラグが破損するようなことはしない(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない)</b></p>  <p>傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。</li> </ul>	

次ページへつづく

## ⚠ 警告(つづき)

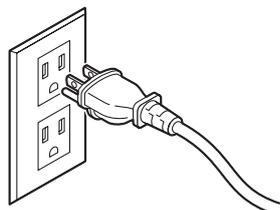
<p><b>不安定な場所に置かない</b></p>  <p>落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。</p>	<p><b>付属品・オプションは、指定の製品を使用する</b></p>  <p>本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。</p>	<p><b>分解や改造をしない</b></p>  <p>内部には電圧の高い部分があり、感電や火災の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。</p> <p>•内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。</p>
<p><b>コンセントや配線機器の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしない</b></p>  <p>たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。</p>	<p><b>雷が鳴り出したら、本機や電源プラグには触れない</b></p>  <p>感電の原因になります。</p> <p>接触禁止</p>	<p><b>水場で使用しない</b></p>  <p>火災や感電の原因になります。</p> <p>水場使用禁止</p>
<p><b>ぬれた手で電源プラグやコネクタに触れない</b></p>  <p>感電の原因になります。</p> <p>ぬれ手禁止</p>	<p><b>メモリーカード(別売品)は、乳幼児の手の届く所に置かない</b></p>  <p>誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。</p> <p>•万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。</p>	
<p><b>異常があったときは、電源プラグを抜く</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき</li> <li>•落下などで外装ケースが破損したとき</li> <li>•煙や異臭、異音などが出たとき</li> </ul>  <p>そのまま使うと、火災・感電の原因になります。</p> <p>電源プラグを抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•本機を電源コンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにしてください。</li> <li>•本機を電源から完全に遮断するには、電源プラグを抜く必要があります。</li> <li>•販売店に相談してください。</li> </ul>		

## ⚠ 注意

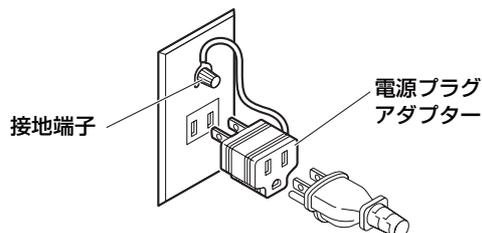
<p><b>油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない</b></p> <p> 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。</p>	<p><b>直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない</b></p> <p> 特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温(約60℃以上)になります。本機を絶対に放置しないでください。外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になります。</p>	<p><b>本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない</b></p> <p> 落下したり倒れたりして壊れ、けがの原因になります。重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になります。</p>
<p><b>電源プラグやコネクターを抜くときは、コードを引っ張らない</b></p> <p> コードが傷つき、火災や感電の原因になります。</p> <p>•必ずプラグやコネクターを持って抜いてください。</p>	<p><b>コードを接続した状態で移動しない</b></p> <p> コードが傷つき、火災や感電の原因になります。また、コードが引っかかり、けがの原因になります。</p>	<p><b>1年に1度ぐらいは、販売店に内部の掃除の相談をする</b></p> <p> 本機の内部にほこりがたまったまま使用すると、火災や故障の原因になります。</p>
<p><b>長期間使用しないときや、お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く</b></p> <p> 火災や感電の原因になります。</p> <p>電源プラグを抜く</p>	<p><b>本機の放熱を妨げない</b></p> <p> ●押し入れや本箱など、狭いところに入れないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かないでください。</li> <li>●通風孔やファンは、ふさがないようにしてください。</li> <li>●横倒し、逆さまにしないでください。</li> </ul> <p>内部に熱がこもり、火災の原因になります。</p>	<p><b>ヘッドホン使用時は音量を上げすぎない</b></p> <p> ヘッドホンから大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。</p>

### 電源プラグの接地に関するご注意

- 本機に付属されている電源コードは、接地端子を備えた3ピンのコンセントに接続してください。



- 2ピンのコンセントを使用する場合は、付属の電源プラグアダプターを取り付け、必ず、接地端子にアース線を接続してください。アース線を接続するときは、必ず、電源コードを電源プラグアダプターに差し込む前に、行ってください。また、アース線を外すときは、必ず、電源コードを電源プラグアダプターから抜いた後に、行ってください。



海外で使用する場合は、その国に合った接地端子付電源コードを準備してください。  
本機に付属している電源プラグアダプターを、さらに変換して使用しないでください。

- 本機に付属されている電源プラグアダプターを、他の機器には、絶対に使用しないでください。

# 付属品

電源コード(3芯) <sup>※</sup> フェライトコア付.....	1
※電源コードに付属のフェライトコアは外さずに使用して下さい。	
電源プラグアダプター.....	1
CD-ROM.....	1

## ■ 本製品に関するソフトウェア情報

1. 本製品には、GNU General Public License (GPL)ならびにGNU Lesser General Public License (LGPL)に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれており、お客様は、これらのソフトウェアのソースコードの入手・改変・再配布の権利があることをお知らせいたします。

GPL / LGPLの内容については、本機に付属したインストールCDに収められています。「LDOC」という名前のフォルダを参照してください(原文(英文)で記載しております)。

また、ソースコードの入手については、下記のホームページをご覧ください。

<http://panasonic.biz/sav/>

なお、お客様が入手されたソースコードの内容等についてのお問い合わせは、ご遠慮ください。

2. 本製品には、MIT-Licenseに基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。MITの内容については、本機に付属したCD-ROMに収められています。「LDOC」という名前のフォルダを参照してください(原文(英文)で記載しております)。

## ■ 録画内容の補償はできません

本機およびP2カードの使用上、万一これらの不具合により録画されなかった場合の録画内容の補償についてはご容赦ください。

## ■ メモリーカードを破棄／譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。廃棄／譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使って、メモリーカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

## ■ 設置場所について

本機を直射日光にさらされた場所に置かないでください。キャビネットの劣化や、液晶画面の損傷の恐れがあります。

## ■ 液晶について

- ・ 液晶部は99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯(赤、青、緑)するものがあります。これは故障ではありません。
- ・ 表示映像によっては、画面にムラが発生する場合があります。
- ・ 液晶部を固い布で拭いたり、強くこすったりすると、表面に傷がつく原因となります。
- ・ 長時間静止画像を映したままにしておくと、一時的な残像(焼き付き)が発生する場合があります。
- ・ 液晶の応答速度や輝度は使用温度によって変化します。
- ・ 本機を、温度や湿度の高いところに長時間放置すると、液晶パネルの特性が変化し、ムラの原因となります。

※SDロゴは商標です。

## オプション

- ・ ラックマウントアダプター  
AJ-MA75P
- ・ AVC-Intraコーデックボード  
AJ-YBX200G

## ◆NOTE:

- ・ オプションボードは、必ず上記の製品を使用してください。

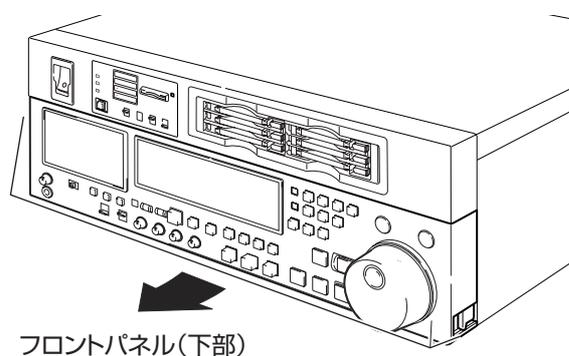
# フロントパネル（下部）のチルト調整

## ◆NOTE:

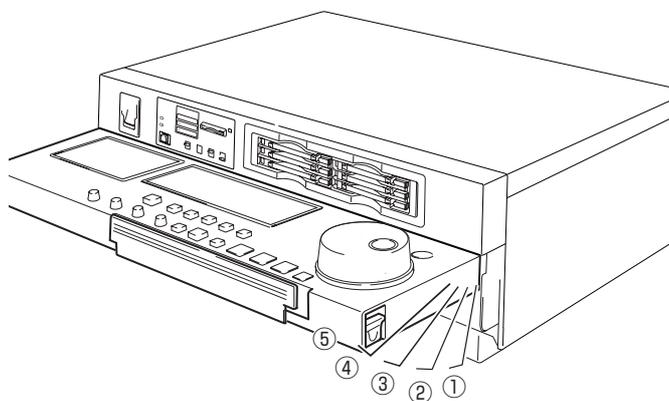
- フロントパネル(下部)のチルト調整時に、指を挟まないように注意してください。
- フロントパネルのチルト調整は、必ずフロントパネル底面のカバーを閉じた状態で行ってください。カバーを破損するおそれがあります。

## フロントパネル(下部)の開き方

1 フロントパネル(下部)を持ち上げて開きます。



2 下記の位置でフロントパネル(下部)を固定します。

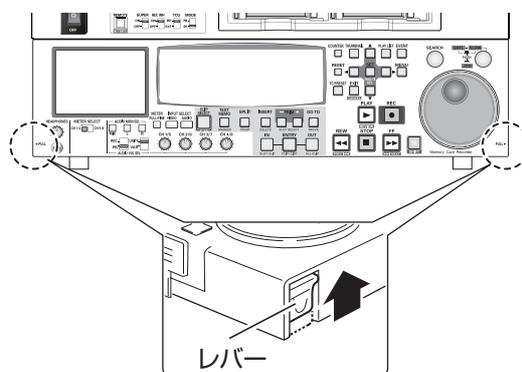


## ◆NOTE:

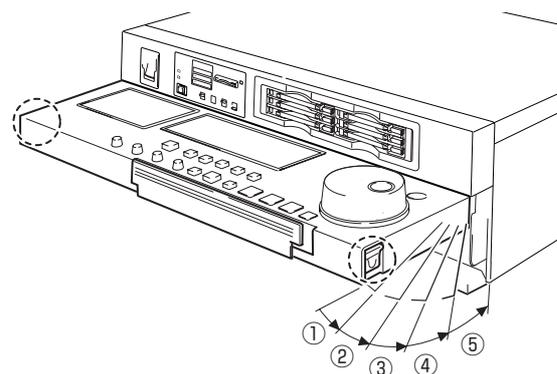
- 調整は5段階で行うことができます。
- フロントパネルを開くときは必ず固定する位置でとめてください。

## フロントパネル(下部)の閉じ方

1 フロントパネル(下部)両端のレバーを引きロックを解除します。



2 レバーを引いたまま、フロントパネル(下部)を下げて閉じます。



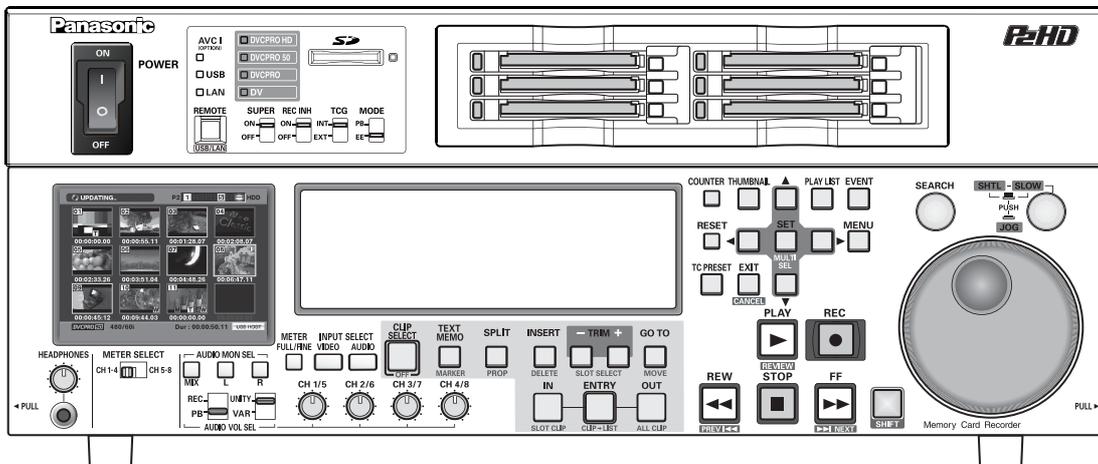
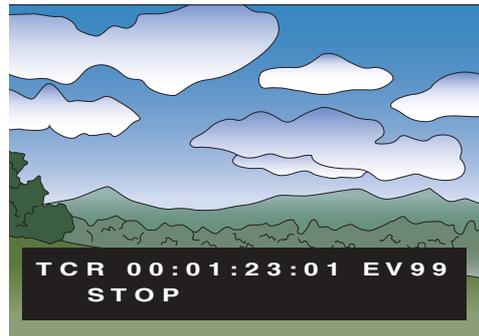
# はじめに

## 特長

AJ-HPS1500は、6つのP2カード(※)スロット、3.5型カラー液晶モニターを搭載したメモリーカードレコーダーです。6枚のP2カード(※)にDVCPRO HD、DVCPRO50、DVCPRO、DV、AVC-Intra(オプション)の圧縮フォーマットで映像・音声などの記録・再生を行うことができ、従来の編集用VTRのプレーヤー側としても使用できます。

AJ-HPS1500は、次のような特長があります。

※「P2」ロゴがついたメモリーカード(別売のAJ-P2C008HGなど)を、以後「P2カード」と表記します。



## ■ P2カード対応カメラとの連携

P2カメラレコーダーで収録したP2カードを、PCカードスロットへ直接マウント、そのまま操作できます。

P2カードはプロユースのA/Vメディアとしてパナソニックが開発した半導体メモリーカードです。

〈P2カードについて〉

記録時間(使用枚数:1枚)			
カード品番	DVCPRO / DV (オーディオ2CH)	DVCPRO50 (オーディオ4CH) AVC-Intra50 (オーディオ8CH)*	DVCPRO HD (オーディオ8CH) AVC-Intra100 (オーディオ8CH)*
AJ-P2C004HG	約16分	約8分	約4分
AJ-P2C008HG	約32分	約16分	約8分
AJ-P2C016RG	約64分	約32分	約16分
AJ-P2C032RG	約128分	約64分	約32分

\* AVC-Intra コーデックボード AJ-YBX200G(オプション)装着時  
 ※カード品番と容量は2007年11月時点のものです。大容量化などにより変更する場合があります。

●AJ-P2C002SG(2GB)のカードは使用できません。

●P2カードおよびSD/SDHCメモリーカードの最新情報について

取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、下記のウェブサイトより、P2のサポートページをご覧ください。

日本語: <http://panasonic.biz/sav/>

英語: <https://eww.pavc.panasonic.co.jp/pro-av/>

## ■ ダイヤルジョグ／ダイヤルシャトル

ジョグ操作は、-1.0～+1.0倍速でのスロー再生が可能です。

シャトル操作は、正・逆方向に最大100倍速まで再生可能で、10倍速以下までは、音声付き再生も可能です。

## ■ サムネールによりクリップを視覚的に管理

フロントパネルの3.5型カラー液晶モニターに、P2カードに収録されたクリップの代表画像(サムネール)を表示。サムネール画面には、指定したクリップだけを表示できます。

サムネールの一覧から選択したクリップをすぐに再生したり、ショットマーカーの追加、クリップのファイル情報の確認や修正などのクリップの管理が行えます。

〈クリップについて〉

クリップとは、画像、音声、メタデータなどの付加情報を含む、ひとかたまりのデータのことです。通常は、記録を開始して停止するまでの1回の記録によって生成される1ショットが1クリップになります。ただし、複数のP2カードにまたがったショットは、各カードの映像が独立したクリップとして扱われます。また、記録を開始したときの映像がそのクリップの代表映像としてサムネール画面に表示されます。

## ■ 4Uラックマウント

本機は4Uサイズで、ラックマウントアダプター(オプション、AJ-MA75P)を使用することにより、19インチラックに取り付けることができます。

## ■ プレイリスト作成・再生機能

P2カードに記録された映像・音声の再生したい部分だけを選択し、任意の順番に再生することができます。

●簡易オーディオスプリット編集機能とオーディオの再生機能搭載

ビデオと音声のIN点をずらして(オーディオIN点スプリット)再生することができます。

## ■ タイムコード／編集用プレーヤー機能を搭載

本機は、TCG(タイムコードジェネレーター) / TCR(タイムコードリーダー)を内蔵しています。内部タイムコードの他に、外部タイムコード入力または入力信号のVITCをタイムコードとして記録できます。

また、RS-422Aを用いた編集システムのプレーヤーとしても使用できます。

## ■ HD(ネイティブクリップは再生のみ) / SDに対応

本機は、HD / SDの信号を記録・再生できます。

アナログビデオ入出力、SDI入出力が行えます。

※ネイティブクリップとは…

有効フレームのみを記録したクリップのことです。

24PN,30PN(59.94Hz)と表示され、本機では記録できません。再生は60P変換されて再生されます。

## ■ 8チャンネルの高音質デジタルオーディオ

8チャンネルのPCMオーディオを持ち、各チャンネルは独立(HD-SDI・AES/EBUは8CH独立、アナログIFは2CH独立)して記録ができるほか、チャンネルミックスが可能です。

## ■ アップ／ダウン／クロスコンバーター内蔵

標準でアップ／ダウン／クロスコンバート再生機能を内蔵しています。

## ■ メニュー方式のセットアップ

セットアップの各種設定は、本機の3.5型カラー液晶モニター、モニターTV表示のセットアップメニューを見ながら、確実に行えます。

## ■ HDDの接続で大容量にも対応

USB2.0インターフェースを持つHDDと接続して、カードのデータをHDDに保存できます。また、HDDに保存したデータをカードに書き戻すこともできます。

さらに、パーソナルコンピュータとUSB2.0で接続することにより、本機のスロットに挿入されたP2カードをマストレージとして扱うことが可能。そのままノンリニア編集できます。

## ■ LAN端子装備でネットワーク接続に対応

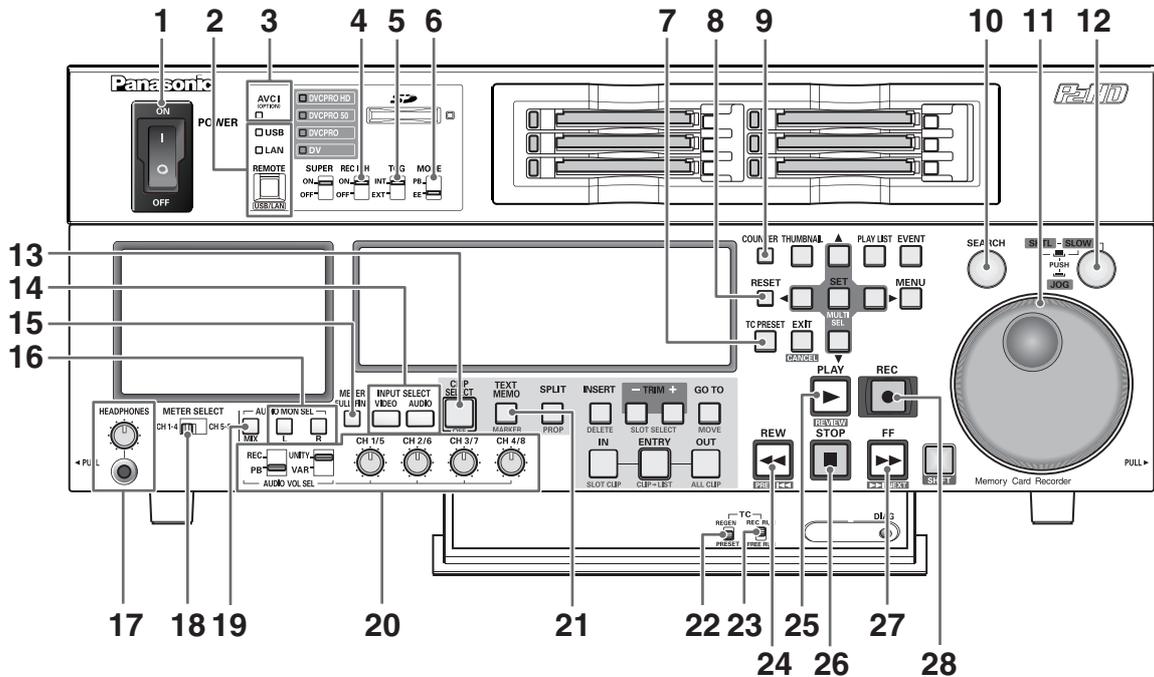
100BASE-TX/10BASE-Tイーサネット端子を装備し、ネットワークに接続して本機から外部機器へのファイルの転送を行うことができます。

## ■ AVC-Intraコーデックオプション対応

オプションのAJ-YBX200Gを装着することでAVC-Intraコーデックを追加することができます。

# 各部の名称と機能

## オーディオ・ビデオ制御部



### 1. POWERスイッチ

電源のON / OFFを行うスイッチです。

### 2. REMOTEボタン(REMOTE表示)

外部から本機をコントロールするモードに切り替えるボタンです。

REMOTE 9ピンREMOTE、RS-232C、パラレルかボタン点灯：ら本機をコントロールできます。

SHIFTボタンと同時に押すと表示パネルにモード選択画面が表示されます。

ネットワークと接続するためのLANモード、ハードディスクドライブと接続するためのUSBホストモード、パーソナルコンピューターと接続するためのUSBデバイスモードに切り替えるボタンです。

LAN点灯： LANモードに設定されると点灯します。

100BASE-TX接続によりネットワーク上のパソコンからP2カード内のファイルのコピーや確認などができます。このとき、本機のフロントパネルからの操作はできません。

USB点灯： USBホストモード、USBデバイスモードに設定されると点灯します。

→「USB端子を利用する」(87ページ)を参照。

### 3. フォーマット(オプション)表示部

AVC-IntraコーデックボードAJ-YBX200G(オプション)を装着し、AVC-Intraボードによる記録、および再生モードを示す際に点灯します。

### 4. REC INHスイッチ

P2カードへの記録の禁止か許可を選択する、切替スイッチです。

ON： 表示パネルのREC INHランプが点灯し、記録を禁止します。

OFF： 書き込み禁止機構が記録可能時に、P2カードへの記録が可能です。

### 5. TCGスイッチ

INT： 本機内蔵のタイムコードを使います。

EXT： タイムコード入力端子または、映像信号のVITC、SLTC、SVITC入力信号から入力する外部タイムコードを使用します。選択はセットアップメニューNo.507(EXT TC SEL)で設定します。

## 6. MODEスイッチ

ストップモード中の信号を選択するスイッチです。

PB: P2カードから再生される信号を出力します。

EE: INPUT SELECTボタンで選択された入力信号を出力します。

## 7. TC PRESETボタン

TCやUBの値を設定するボタンです。設定するときは、まずこのボタンを押して、表示が点滅している桁を変更します。ただし、サムネールモード、プレイリストモード、USBホストモード、USBデバイスモード、LANモードでは動作しません。

## 8. RESETボタン

表示パネルのカウンター表示がCTLのとき、このボタンを押すとカウンター表示が[0:00:00:00]になります。

表示パネルのカウンター表示がTCまたはUBのとき、TC PRESETボタンを押しながらこのボタンを押すと、ジェネレーターをリセットできます。

## 9. COUNTERボタン

表示パネルのカウンター表示を切り替えるボタンです。このボタンを押すたびに[CTL(先頭からの相対位置)]→[TC(読み出したタイムコード)]→[UB(読み出したタイムコードのユーザーズビット)]と切り替わります。

## 10. SEARCHボタン

このボタンを押すとサーチモードになります。サーチダイヤルをSHTLモードにして任意の位置に回しておき、このボタンを押すと、サーチダイヤルで設定した速度の再生が始まります。

## 11. サーチダイヤル

映像の確認、検索のためのダイヤルです。ダイヤルは、押すたびにSHTL(シャトル)/SLOW(スロー)モードとJOG(ジョグ)モードが交互に切り替わり、JOG/SHTL/SLOWランプのいずれかが点灯します。電源を入れた直後は、一度ダイヤルをSTILLの位置に戻さないと動作しません。

## 12. SHTL/SLOWボタン

サーチダイヤルがSHTL(シャトル)/SLOW(スロー)モードのとき、このボタンを押すたびに、サーチダイヤルがSHTL(シャトル)モードとSLOW(スロー)モードに切り替わります。

## 13. CLIP SELECTボタン

このボタンを押すと、クリップ単位で再生させることができます。

→「クリップセレクト機能」(83ページ)を参照。

## 14. INPUT SELECTボタン

ビデオとオーディオの入力信号を切り替えるボタンです。ビデオ入力信号は、セットアップメニューNo.601(VIDEO INT SG)で選択した、内部信号に切り替えることもできます。

VIDEO: VIDEOボタンを押すたびに、入力ビデオ信号が、[CMPST]→[SDI]→[SG]の順に切り替わります。SGのときの信号は、セットアップメニューNo.601(VIDEO INT SG)で選択された内部信号に切り替わります。

AUDIO: AUDIOボタンを押すたびに、入力オーディオ信号が、[ANALOG]→[AES/EBU]→[SDI]→[SG]の順に、切り替わります。

## 15. METER FULL / FINE 切り替えボタン

オーディオレベルメーターのスケール表示(目盛)を切り替えるボタンです。

FULL モード: 標準目盛りになります。  
( $-\infty$ ~0dBの範囲)

FINE モード: 0.5 dB毎のスケールになります。  
「■」の位置が基準レベルとなり、  
「●」が1dBの目盛りになります。  
基準レベルは、セットアップメニューNo.776(REF LEVEL)で設定します。

## 16. AUDIO MON SEL L Rボタン

MON L / R端子に出力する音声信号を切り替えるボタンです。ボタンを押すたびに、MON L / R端子に出力する信号が次のように切り替わります。

AUDIO MON SELボタンのみ押す: CH1 → CH2 → CH3 → CH4  
→ CH5 → CH6 → CH7 →  
CH8 → CH1

SHIFTボタンを押しながらAUDIO MON SELボタンを押す: CH8 → CH7 → CH6 → CH5  
→ CH4 → CH3 → CH2 →  
CH1 → CH8

どの信号を選択しているかは、オーディオレベルメーターのL / Rに表示されます。

L/Rの表示が点灯しているときは、CH1~CH4の選択を示します。

L/Rの表示が点滅しているときは、CH5~CH8の選択を示します。

## 17. HEADPHONES

ヘッドフォンジャックにステレオヘッドフォンを接続すると、記録・再生中の音声をヘッドフォンで聞くことができます。ヘッドフォン音量調整つまみで音量が調整できます。

MON L/R出力端子を連動させるか連動させないかはセットアップメニューNo.713(MONI OUT)で設定します。

## 18. METER SELECTスイッチ

オーディオメーターのCH1-4 / CH5-8のいずれを選択するかを切り替えるスイッチです。

セットアップメニューNo.790(VOL SEL)の設定により、音声レベル調整ボリュームを連動することもできます。

## 19. AUDIO MON SEL MIXボタン

MON L/R端子に出力する音声ミックス信号を切り替えます。

AUDIO MON SEL Lボタンを押しながらこのボタンを押すと、MON L端子に出力する信号を[CH1+CH2]→[CH3+CH4]→[CH5+CH6]→[CH7+CH8]→[ミックス解除]と切り替えることができます。

MON R端子に出力するミックス信号は、AUDIO MON SEL Rボタンで切り替えることができます。

## 20. AUDIO VOL SEL スイッチ

### REC/PBスイッチ

REC: オーディオボリュームで、記録レベルが調整できます。

PB: オーディオボリュームで、再生レベルが調整できます。

### UNITY / VARスイッチ

UNITY: オーディオボリュームの位置に関係なく、固定されたレベルでオーディオ信号を記録・再生します。

VAR: オーディオボリュームで調整されたレベルでオーディオ信号を記録・再生します。

### オーディオボリューム

オーディオ信号(CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8)の記録レベルと再生レベルが調整できます。

→詳細な動作は「セットアップメニューNo.790(VOL SEL)」(113ページ)を参照。

## 21. TEXT MEMO / MARKERボタン

TEXT MEMO: 記録・再生中にこのボタンを押すと、その位置にテキストメモが付加されます。サムネール画面を表示中に、このボタンを押すと、クリップの先頭の位置にテキストメモが付加されます。  
→「テキストメモを付加する」(40ページ)を参照。

MARKER: サムネール画面を表示中に、SHIFTボタンを押しながらこのボタンを押すと、ポインター位置にあるクリップのマーカーのON / OFFを切り替えることができます。  
→「ショットマークを付加する」(41ページ)を参照。

## 22. TC REGEN / PRESETスイッチ

REGEN: P2カードから読んだタイムコードに内蔵タイムコードジェネレーターを同期させます。TC / UBのどれをREGENにするかはセットアップメニューNo.505(TCG REGEN)で選択します。

PRESET: 設定内容は操作パネルまたはリモートコントロールでプリセットできます。  
→「タイムコード / ユーザーズビット / CTLについて」(116ページ)を参照。

## 23. TC REC RUN / FREE RUNスイッチ

REC RUN: 記録中だけタイムコードが歩進します。

FREE RUN: 電源が投入されている間、動作モードに関係なくタイムコードが歩進します。

## 24.REW / PREVボタン

このボタンを押すと早戻し再生になります。速度は、セットアップメニューNo.102(FF.REW MAX)で選択できます。

再生中、またはJOG/VAR/SHTLで静止画を表示している時に、SHIFT ボタンを押しながらこのボタンを押すと、現在のクリップまたは前のクリップの頭出しを行います。

P2カードにまたがって記録されたクリップの場合、次のカードの先頭の頭だしも行います。

GUI表示(サムネール表示・イベント表示)中にSHIFT ボタンを押しながらこのボタンを押すと、先頭のサムネールあるいはイベントに移動します。

## 25.PLAY / REVIEWボタン

このボタンを押すと再生が始まります。

このボタンとREC ボタンを同時に押すと、記録が始まります。

プレイリスト画面表示中にSHIFT ボタンを押しながらこのボタンを押すと、カーソル位置のイベントをレビュー(IN点3秒前からOUT点1秒後までを再生)することができます。

## 26.STOPボタン

このボタンを押すとストップモードに移行し、MODE スイッチがPBモードのときには静止画をモニターでみます。

リファレンスビデオ信号が入力されていない場合のワーニングアラームとして点滅させるか、点滅させないかは、セットアップメニューNo.104(REF ALARM)で設定します。

## 27.FF / NEXTボタン

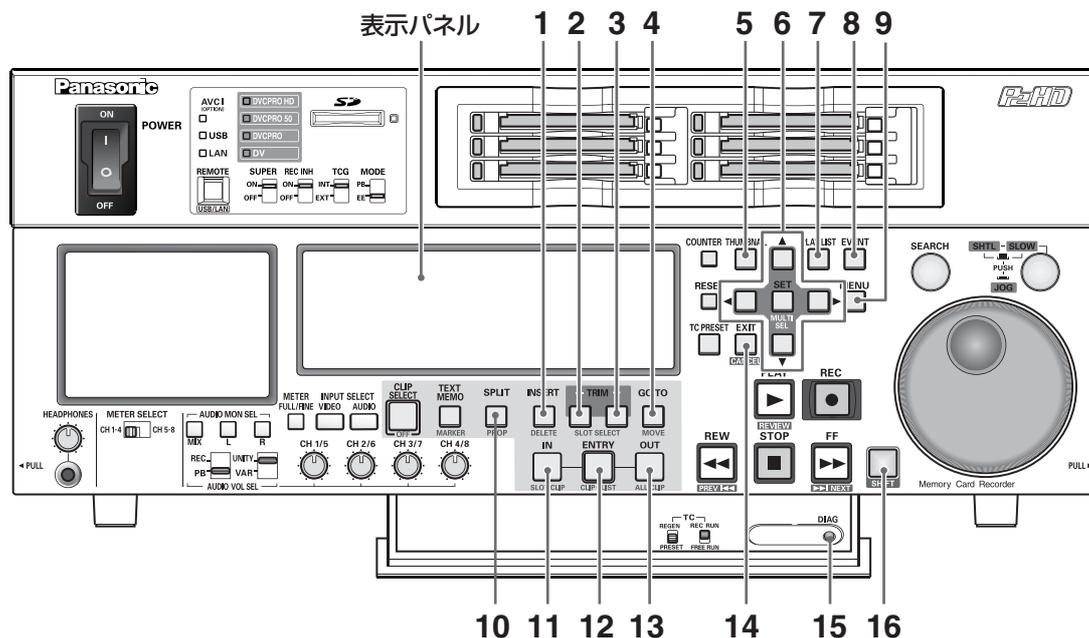
このボタンを押すと、早送り再生になります。速度は、セットアップメニューNo.102(FF.REW MAX)で選択できます。

再生中、またはJOG/VAR/SHTLで静止画を表示している時に、SHIFT ボタンを押しながらこのボタンを押すと、次のクリップの頭出しを行います。

GUI表示(サムネール表示・イベントリスト表示)中にSHIFT ボタンを押しながらFF ボタンを押すと、最後のサムネールあるいはイベントに移動します。

## 28.RECボタン

ストップモード中に、このボタンとPLAYボタンを同時に押すと、記録が始まります。MODE スイッチがPBモードの時、ストップモード中にこのボタンを押すと、EEモードの画像と音声をモニターで確認できます。STOPボタンを押すと、元の画像・音声に戻ります。



## 1. INSERT / DELETEボタン

プレイリストのイベントとイベントの間に、新規にイベントを挿入したいときに使用します。  
サムネール表示中にSHIFTボタンを押しながらこのボタンを押すと、選択したクリップを削除できます。  
プレイリスト表示中にSHIFTボタンを押しながらこのボタンを押すと、選択したイベントを削除できます。  
→「プレイリストの利用」(56ページ)を参照。

## 2. TRIM- / SLOT SELECT-ボタン

プレイリストモードでIN / OUT / SPLITボタンを押しながらこのボタンを押すと、IN点、OUT点、スプリット点の位置を1フレーム前へずらすことができます。  
PLAY LISTボタンが消灯状態のときにSHIFTボタンと同時に押すと、記録スロット位置を一つ前のスロットに移動することができます。第1スロットのときは第6スロットへ移動します。

## 3. TRIM+ / SLOT SELECT+ボタン

プレイリストモードでIN / OUT / SPLITボタンを押しながらこのボタンを押すと、IN点、OUT点、スプリット点の位置を1フレーム後ろへずらすことができます。  
PLAY LISTボタンが消灯状態のときにSHIFTボタンと同時に押すと、記録スロット位置を一つ後ろのスロットに移動することができます。第6スロットのときは第1スロットへ移動します。

## 4. GO TO / MOVEボタン

プレイリストに登録されている各イベントのIN点、OUT点を移動するときに使用します。また、THUMBNAILボタンおよびPLAY LISTボタン消灯時にキューアップするときにも使用します。  
プレイリストモードでSHIFTボタンを押しながらこのボタンを押すと、イベントを移動できます。  
→「プレイリストの利用」(56ページ)を参照。

## 5. THUMBNAILボタン

このボタンを押すと、THUMBNAILボタンが点灯し液晶モニターやモニター出力映像にサムネール画面が表示されます。再度押すと、サムネール画面から抜け出して元に戻り、THUMBNAILボタンが消灯します。

## 6. 十字カーソルボタン

周辺の4つのボタンがカーソルボタンで、中央のボタンがSETボタンです。メニュー、サムネール、イベントなどのカーソルの移動や選択などに使用します。

## 7. PLAY LISTボタン

プレイリストを作成するときや作成したプレイリストを再生するときに押します。このボタンを押すと、PLAY LIST ボタンが点灯し、液晶モニターやモニター出力映像にプレイリスト画面が表示されます。再度押すと、プレイリスト画面から抜け出して元に戻ります。プレイリスト画面から再生を行って停止したときに、プレイリスト画面へ戻るか静止画を表示したままにするかをプレイリストメニューで設定できます。

## 8. EVENTボタン

PLAY LIST ボタンが点灯状態のとき、このボタンを押すとEVENT ボタンが点灯します。プレイリストのイベント登録モードとなり、IN点、OUT点の設定ができます。

再度押すと、イベント登録／修正モードから抜け出して元に戻り、EVENTボタンが消灯します。

## 9. MENUボタン

このボタンを押すと、MENUが表示されます。再度押すと、元に戻ります。

## 10. SPLIT / PROPボタン

プレイリストの登録モードで、ENTRY ボタンとこのボタンを同時に押すと、オーディオIN点をビデオのIN点とずらしてイベントを登録できます。

サムネール／プレイリスト表示中(メニュー表示していないとき)にSHIFT ボタンとこのボタンを同時に押すと、クリップ／イベントのプロパティを表示できます。

## 11. IN / SLOT CLIPボタン

プレイリストを作成するときに使用します。イベント登録モード時(PLAY LIST ボタンとEVENT ボタンが点灯状態のとき)、ENTRY ボタンとこのボタンを同時に押すと、イベントのIN点が設定できます。また、このボタンを押しながらRESET ボタンを押すと、選択しているイベントのIN点を削除できます。

→「プレイリストの利用」(56ページ)を参照。

- サムネール表示中にSHIFT ボタンと同時にこのボタンを押す毎に、クリップの表示状態をSELECTEDや特定のSLOTのみの表示に切り替えることができます。
- THUMBNAIL ボタン、およびPLAY LIST ボタンが消灯しているとき、ENTRY ボタンと同時にこのボタンを押すと、キューアップ点を登録できます。

## 12. ENTRY / CLIP→LISTボタン

プレイリストを作成するときに使用します。

イベント登録モード時(PLAY LIST ボタンおよびEVENT ボタンが点灯状態のとき)に、IN / OUT / SPLIT ボタンのいずれかはこのボタンを同時に押すと、イベントのIN点、OUT点、スプリット点を設定できます。

- プレイリストモード時にSHIFT ボタンと同時にこのボタンを押すと、サムネール表示中に選択したクリップをプレイリストに追加できます。

## 13. OUT / ALL CLIPボタン

プレイリストを作成するときに使用します。イベント登録モード時(PLAY LIST ボタンとENTRY ボタンが点灯状態のとき)、ENTRY ボタンとこのボタンを同時に押すと、イベントのOUT点が設定できます。

このボタンを押しながらRESET ボタンを押すと、選択しているイベントのOUT点を削除できます。

→「プレイリストの利用」(56ページ)を参照。

- THUMBNAIL ボタン、およびPLAY LIST ボタンが消灯しているときは、ENTRY ボタンと同時にこのボタンを押してキューアップ点として登録することができます。
- サムネール表示中にSHIFT ボタンと同時にこのボタンを押すと、クリップの表示状態をALLへ戻すことができます。

## 14.EXIT / CANCEL ボタン

---

PLAY LISTボタン	このボタンを押すことで、プロパティからサムネール表示へ戻ることができます。また、メニューの「EXIT」で、SETボタンを押すことと同じ動作をします。
THUMBNAILボタン 点灯中:	SHIFT ボタンとこのボタンを同時に押すと、操作をキャンセル(たとえば選択状態を解除)した状態になります。

---

PLAY LISTボタン	他のボタンを押す前に再度このボタンを押すと、このモードはキャンセルされます。
THUMBNAILボタン 消灯中:	

---

## 15.DIAGボタン

このボタンを押すと、本機の情報が表示されます。再度ボタンを押すと、元の表示に戻ります。ただし、サムネール表示中は動作しません。

本機の情報には「HOURS METER」情報、「WARNING」情報、「UMID」情報があります。これらの情報は、SETボタンを押して、表示を切り替えます。

---

「WARNING」画面:	ワーニングの内容が表示されます。
「HOURS METER」 画面:	本機のシリアルNo.、通電時間、電源の入切回数などが表示されます。
「UMID」画面:	現在の映像のUMID情報が表示されます。

---

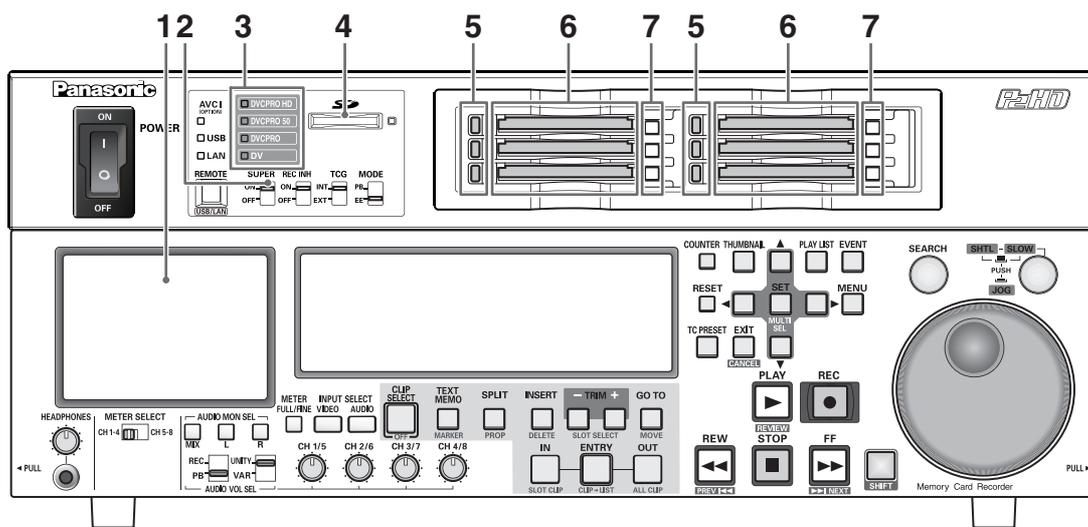
※ UMIDとは、映像を記録した機器を特定する情報、およびその映像がオリジナルかコピーかを示す情報を含むメタデータです。

UMIDはSMPTE-330Mとして規格化されています。

## 16.SHIFTボタン

FF / NEXT ボタン、REW / PREV ボタンなど、他のボタンと同時に押して使用します。

# パネル制御部とカードスロット



## 1. 3.5型液晶モニター

サムネール画面表示などにより、映像・音声の検索・確認ができます。

## 2. SUPERスイッチ

スーパーの出力を次のように切り替えるスイッチです。

ON： 液晶モニターおよびSD SDI MON端子、ANALOG VIDEO MON端子にタイムコードなどのスーパーを出力します。

OFF： スーパーを出力しません。

## 3. フォーマット表示部

記録フォーマットやP2カードに記録されているファイルフォーマットを表示します。

DVCPROHD： DVCPROHD(100Mbps)の記録および再生モードを表します。

DVCPRO50： DVCPRO50(50Mbps)の記録および再生モードを表します。

DVCPRO： DVCPRO(25Mbps)の記録および再生モードを表します。

DV： DVの記録および再生モードを表します。

## 4. SD/SDHCメモリーカードスロット

SD/SDHCメモリーカードを装着するスロットです。挿入するときは、カードのラベル面を上にしてコーナーカット側から入れ、ロックされるまで挿入します。取り出すときは、ランプが点灯していないことを確認し、カードを挿入した方向に押しつけてロックを解除します。

### ◆NOTE:

〈SD/SDHCメモリーカード使用上の注意〉

- SD/SDHCメモリーカード以外は、挿入しないでください。
- 本機で使用するSD/SDHCメモリーカードは、SD/SDHC規

格に準拠したものをお使いください。マルチメディアカードは使用できません。また、miniSDカードを使用するときは、必ずminiSD専用のアダプターを装着してご使用ください。

※マルチメディアカード(MMC)は、Infineon Technologies AG社の登録商標です。

※SDHCカードは、2006年にSDアソシエーションにより策定された、2GBを超える大容量メモリーカードの新規格です。

- フォーマットは、必ず本機で行ってください。
- 本機では、以下の容量のSD/SDHCメモリーカードが使用できます。  
SD(8MB～2GBまで)：8MB、16MB、32MB、64MB、128MB、256MB、512MB、1GB、2GB  
SDHC(4GB～16GBまで)：4GB、8GB、16GB
- 取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、下記のウェブサイトより、P2のサポートページをご覧ください。  
日本語：<http://panasonic.biz/sav/>  
英語：<https://eww.pavc.panasonic.co.jp/pro-av/>
- 本ページ以降においては、SDおよびSDHCメモリーカードを総称し、SDメモリーカードと表記いたします。

## 5. P2カードアクセスLED

P2カードの状態を示すLEDです。

→「P2カードアクセスLEDとP2カードの状態について」(29ページ)を参照。

## 6. P2カードスロット

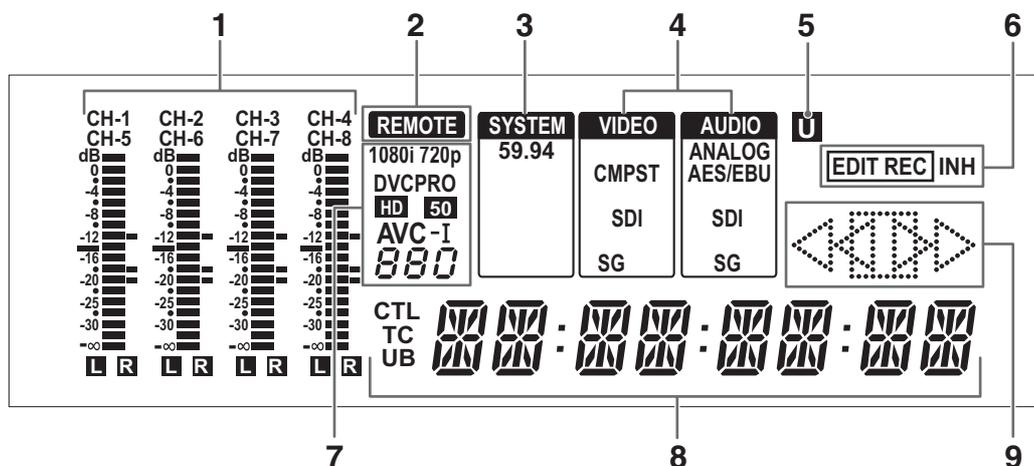
P2カードを装着するスロットです。

カードは、EJECTボタンが飛び出すまで、しっかり挿入します。カード挿入後は、EJECTボタンを倒しておいてください。

## 7. EJECTボタン

P2カードスロットに挿入したP2カードを取り出すときに使用します。ボタンを起し、強く押します。P2カードアクセスLEDがオレンジで点滅しているときは操作しないでください。

→「P2カードアクセスLEDとP2カードの状態について」(29ページ)を参照。



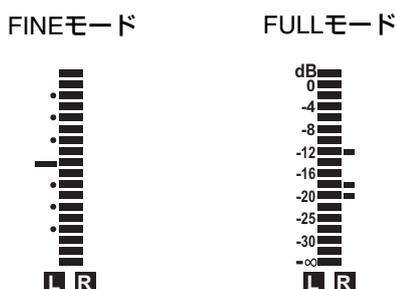
## 1. レベルメーター

オーディオ信号のCH1/CH2/CH3/CH4(METER SELECTスイッチがCH1-4の時)の各レベルが表示されます。

METER SELECTスイッチが、CH5-8の時は、CH5/CH6/CH7/CH8の各レベルが表示されます。

オーディオ信号は、記録時およびEE選択時には入力信号の各レベルが表示され、再生時には出力信号の各レベルが表示されます。

オーディオレベル表示は、METER FULL / FINE 切り替えボタンでFULLモードとFINEモードに切り替わります。



## 2. REMOTEランプ

REMOTE ボタンで、REMOTE 状態にしたときに点灯します。

## 3. TVシステム表示部

TVシステムの周波数が表示されます。

59.94: 59.94Hzのシステム周波数を意味します。

## 4. INPUT SELECT表示部

VIDEOとAUDIOの入力選択状態が表示されます。アナログオーディオを除き、選択された入力信号がないときは、点滅します。

SDI入力選択時は、システムフォーマットと合っていない信号が入力されているときに点滅します。

### VIDEO

CMPST:	アナログ・コンポジット・ビデオ入力信号
SDI:	シリアル・デジタル・ビデオ入力信号
SG:	内部基準信号

### AUDIO

ANALOG:	アナログオーディオ入力信号
AES/EBU:	8チャンネルデジタルオーディオ入力信号
SDI:	シリアル・デジタル・オーディオ入力信号
SG:	内部基準信号

※ AES/EBUは、システム設定により記録可能な入力がない場合に点滅します。

## 5. U表示

EEモードのときは、入力信号にUMID情報が存在しているときに点灯します。

再生時は、UMID情報が記録されているときに点灯します。

## 6. REC / REC INHランプ

P2カードの記録選択状態が表示されます。

RECランプ点灯のとき: 記録状態の時に点灯します。

とき:

REC INHランプ点灯のとき: 記録禁止状態(フロントREC INHスイッチがONか、すべてのP2カードが書き込み禁止状態)のときに点灯します。  
このときにはP2カードへの記録はできません。

## 7. フォーマット表示

記録フォーマットや挿入されているP2カードに記録されているフォーマットが表示されます。

## 8. カウンター表示

カウンターやタイムコードなどが、CTL/TC/UBで表示されます。

CTL: 先頭からの相対位置を表わします。

TC: 読み出したタイムコードを表わします。

UB: 読み出したタイムコードのユーザーズビットを表わします

## 9. 動作モード表示

本機の動作状態を表示します。

 : 通常再生と記録

 : 1倍速より遅い速度の再生

 : 1倍速より速い速度の再生

 : FF

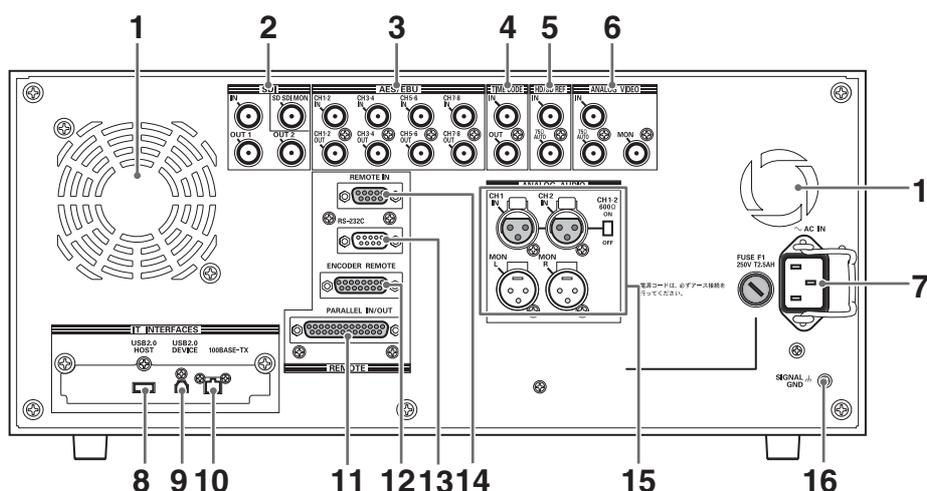
 : 1倍速の逆再生

 : 1倍速よりも遅い速度の逆再生

 : 1倍速よりも速い速度の逆再生

 : REW

 : STILL



## 1. ファン

本機冷却用のファンです。通風を妨げないように設置してください。

ファンが異常停止したときは、カウンター表示部に“E-10”が表示されます。ファンが停止しても本機は動作しますが、すみやかに使用を中止してください。

## 2. SERIAL DIGITAL COMPONENT AUDIO VIDEO IN/OUT端子

デジタル・コンポーネント・オーディオ/ビデオの入出力端子です。

SD-SDI-MONITOR端子は、スーパーを重畳したビデオ信号出力ができます。

スーパーのON/OFFは、フロントパネル上部のSUPERスイッチで選択します。

### ◆NOTE:

- SD-SDI-MONITOR端子は、常に480/59.94 i 信号で出力します。

## 3. DIGITAL AUDIO IN/OUT端子

AES/EBU規格に準拠したデジタル・オーディオ信号の入出力端子です。

### ◆NOTE:

- 入力するデジタル・オーディオ信号は、ビデオ入力信号に同期している必要があります。同期していないときは、オーディオ出力信号にノイズが発生します。

## 4. TIME CODE IN/OUT端子

タイムコードの入出力端子です。

TIME CODE IN: 外部タイムコードを、P2カードに記録するための端子です。

TIME CODE OUT: 再生時は再生タイムコードを出力する端子です。

記録時は、タイムコードジェネレーターから発生するタイムコードを出力します。

## 5. REF VIDEO IN端子

HD/SDリファレンス・ビデオ信号の入力端子と、ループスルー出力端子です。

### ◆NOTE:

- リファレンス・ビデオ信号を入力しないとき、映像や音声の出力信号が乱れることがありますので、リファレンス・ビデオ信号を入力するシステムで使用することをお勧めします。
- HDリファレンスとして使用するとき、正負両極性の3値同期信号を入力してください。また、入力信号やフォーマットにあった信号を入力してください。
- SDリファレンスとして使用するとき、SMPTE170M、ITU624-4に準拠したブラックバースト信号を入力してください。
- REF VIDEO ループスルー端子にケーブルを接続しないとき、REF VIDEO IN端子は自動的に75Ω終端になります。ケーブルを接続すると、75Ω終端は解除されます。REF VIDEO ループスルー端子にケーブルを接続したときは、ケーブルの他方の端子をオープンのままにしないでください。
- 720Pでは、HDリファレンスを入力する、またはリファレンスを入力せずに記録を行うと、入力信号に対して位相がずれて記録されることがあります。

## 6. ANALOG VIDEO IN/MON端子

IN端子: アナログ・コンポジット・ビデオ信号を入力します。  
ループスルー端子にケーブルを接続しないときは、IN端子は自動的に75Ω終端になります。ケーブルを接続すると、75Ω終端は解除されます。

MON端子: アナログ・コンポジット・モニタービデオ信号を出力します。

## 7. AC INコネクタ

付属の電源コードを使って、電源コンセントに接続します。

## 8. USB2.0端子(Type A)

USBホストモードで使用します。  
P2 storeやUSB2.0対応のハードディスクドライブなどと接続できます。  
→「USB端子を利用する」(87ページ)を参照。

## 9. USB2.0端子(Type B)

USBデバイスモードで使用します。  
パーソナルコンピューターなどと接続できます。  
→「USB端子を利用する」(87ページ)を参照。

### ◆NOTE

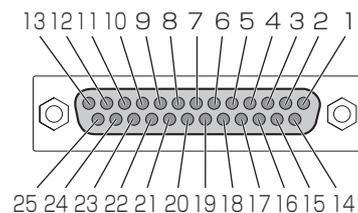
- USB2.0端子に接続するケーブルは、ダブルシールド付きのものをご使用ください。

## 10. LAN端子

100BASE-TX/10BASE-Tでネットワーク接続することができます。

## 11. PARALLEL IN/OUT端子

25pinパラレルリモート端子です。



ピンNo. 信号内容

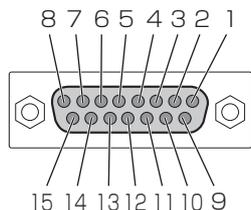
1	PLAY COMMAND
2	STOP COMMAND
3	FF COMMAND
4	REW COMMAND
5	REC COMMAND
6	—
7	—
9	—
10	CLIP SELECT OFF COMMAND
11	—
12	+10V以上、最大+300mA
13	PLAY STATUS
14	STOP STATUS
15	FF STATUS
16	REW STATUS
17	REC STATUS
18	EJECT STATUS
19	STAND BY ON STATUS
20	—
21	—
22	OPERATION ENABLE STATUS
23	CLIP SELECT STATUS
24	—
25	GND

### ◆NOTE

- COMMAND は TTL レベル、アクティブ LOW、エッジは100msec以上の電気信号を流して下さい。
- STATUSはオープンコレクタ、シンク電流は最大6mAで出力されます。
- OPERATION ENABLE STATUSはセットアップメニュー213 EXTENDED CMDがONの時は、PARALLEL REMOTEからの再生操作が可能な時にアクティブとなります。
- OPERATION ENABLE STATUSはセットアップメニュー213 EXTENDED CMDがOFFの時は、REMOTE状態の時にアクティブとなります。

## 12. ENCODER REMOTE端子

ビデオ出力信号の各設定を外部から調整するときに、外部のエンコーダリモートコントローラーを接続します。



ピンNo.	信号内容
1	FRAME GROUND
4	REM(G)
7	REM RX(X)REMOTE CONTROL PROTOCOL RECEIVE
8	REM COMMANDREMOTE CONTROL PROTOCOL TRANSMIT
14	REM RX(Y)REMOTE CONTROL PROTOCOL RECEIVE
15	REM TX(Y)REMOTE CONTROL PROTOCOL TRANSMIT

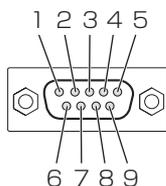
### ◆NOTE

- エンコーダリモートコントローラーは AJ-ER50、および MT-200(MUSASHI 製)のご使用を推奨します。また、ENCORDER REMOTE 端子はデジタルにのみ対応しています。

## 13. RS-232C端子

パーソナルコンピュータ等を接続して、本機を操作することができます。

ピンNo.	信号内容
1	—
2	TXD
3	RXD
4	DSR
5	SG
6	DTR
7	CTS
8	RTS
9	—

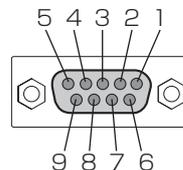


## 14. REMOTE IN端子

本機と外部コントローラーを接続して、外部から本機を操作することができます。

### RS-422A REMOTE(9P)

ピンNo.	信号内容
1	FRAME GROUND
2	TRANSMIT A
3	RECEIVE B
4	RECEIVE COMMON
5	—
6	TRANSMIT COMMON
7	TRANSMIT B
8	RECEIVE A
9	FRAME GROUND



## 15. ANALOG AUDIO端子

アナログオーディオ信号を入出力します。

CH1/CH2 IN端子: アナログオーディオの入力端子です。

CH1/CH2の入カインピーダンスの切り替えをスイッチで行うことができます。

MON L/R端子: アナログオーディオ出力端子です。

再生時にはオーディオ信号(CH1/CH2/CH3/CH4/CH5/CH6/CH7/CH8)の中からAUDIO MON SEL ボタンで切り替えた信号を出力します。

## 16. SIGNAL GND端子

ノイズ軽減のため接続機器の信号アース端子と接続します。

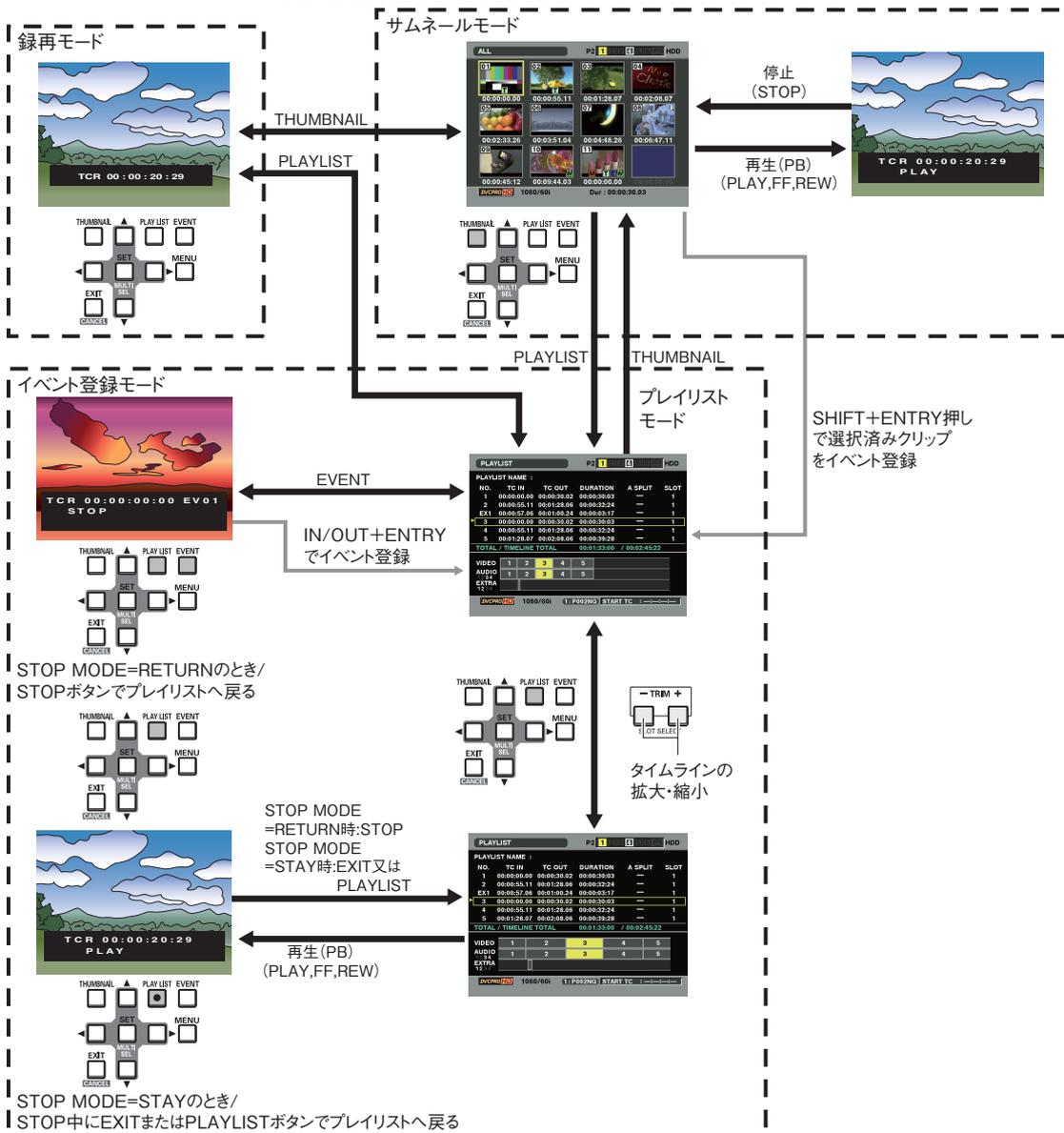
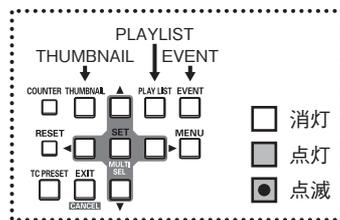
安全アースではありません。

# 画面の切り替えとメニューの操作について

## 操作モードについて

本機には、次の3種類の操作モードがあります。これらのモードは、THUMBNAILボタン、PLAY LISTボタンを押して切り替え、ランプの点灯状態で区別できます。

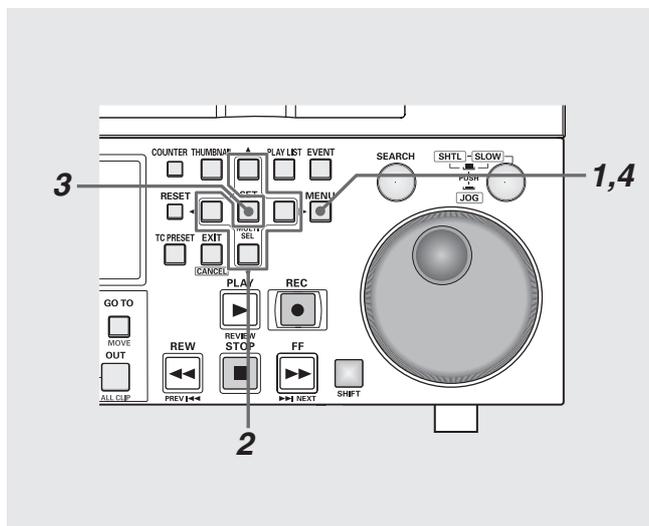
録再モード	映像を表示し、記録や再生を行います。
サムネールモード	クリップのサムネールを表示し、クリップを管理します。
プレイリストモード	プレイリストを作成します。プレイリストモードには、イベントを登録するイベント登録モード画面(PLAY LISTおよびEVENTランプが点灯)もあります。



## メニューの操作

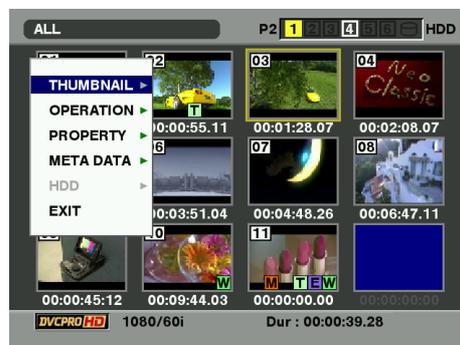
それぞれのモードでMENUボタンを押すと、メニューが表示されます。

メニューは、次のように操作します。



### 1 MENUボタンを押し、メニューを表示する

### 2 十字カーソルボタンで該当のメニュー項目にカーソルを合わせる



#### ◆NOTE:

- ▲、▼ボタンを押すとカーソルが上下します。
- ▶を押すと、下位のメニューが開きます。
- ◀またはEXITボタンで上の階層へ戻ります。

### 3 SETボタンを押す

#### ◆NOTE:

- メニュー項目によっては、確認画面が表示されます。
- 十字カーソルボタンで処理を選択し、SETボタンを押します。

### 4 MENUボタンを押してメニューでの処理を終了する

#### ◆NOTE:

- メニュー項目によっては、自動的に元の画面に戻ります。

# 記録・再生とP2カードの取り扱いについて

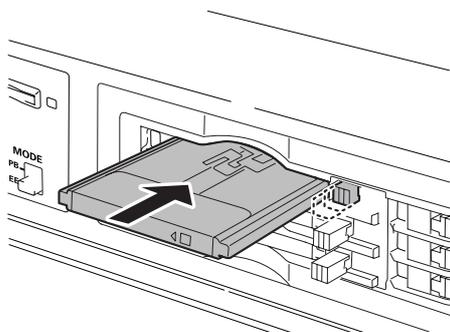
## P2カードの挿入

### ◆NOTE:

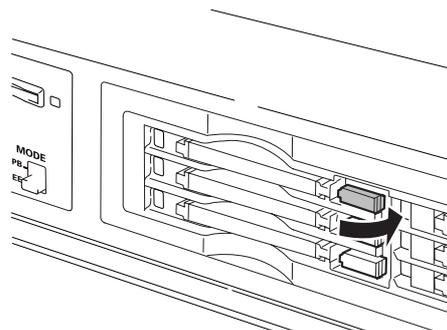
- 本機を最初で使用するときには、必ず内蔵の時計の設定を、セットアップメニューNo.069(CLOCK SET)で先に行ってください。

**1** 本機のPOWERスイッチをONにする

**2** P2カードスロットにP2カードを挿入し、EJECTボタンが飛び出てくるまで押し入れる



**3** 飛び出たEJECTボタンを右に倒す



- 本機にP2カードを挿入すると、P2カードアクセスLEDによりP2カードの状態表示を行います。  
→ P2カードの状態表示については「P2カードアクセスLEDとP2カードの状態について」(29ページ)を参照。

## 記録と再生

録再モード中にストップモードでREC  ボタン とPLAY  ボタン を同時に押すと、オレンジ色に点灯しているP2カードに記録が始まります。STOP  ボタンを押すと記録が終了します。

PLAY  ボタンを押すと再生が始まります。

サムネイル/プレイリストモードからの記録はできません。

→「各部の名称と機能」(12ページ)のボタンの説明を参照。

### ◆NOTE:

- 再生中は、他のスロットにP2カードを挿入しても、P2カードアクセスLEDは消灯のまま、P2カードは認識されません。再生終了後に認識されます。
- クリップセレクト中にP2カードを挿入すると、P2カード認識中のままとなります。クリップセレクト状態を解除するまでカード認識が継続されます。
- 記録中は、他のスロットにP2カードを挿入すると、P2カードアクセスLEDが点滅しP2カードを認識します。認識中はP2カードを取り出さないでください。

- 記録中に、記録対象でないP2カードの挿入または取り出しを行うと記録終了後のEEの音声が途切れることがありますが、記録内容には問題ありません。
- P2カードは、スロット1→2→3→4→5→6→1の順にアクセスします。
- 電源をONにしたときに、前回電源をOFFにしたときの記録対象スロットに、同一のP2カードが挿入されているときは前回の記録対象スロットが記録対象に、P2カードが挿入されていないとき、または違うP2カードが挿入されているときは、もっとも若い番号の記録可能スロットが記録対象となります。
- 記録中に記録対象のP2カードがフルになったときは、フルになったP2カードが挿入されているスロットの次の番号の記録可能なスロットが記録対象となります。  
<P2カード使用上の注意>
- P2カードは、必ずP2機器でフォーマットしてご使用ください。

## P2カードの取り出し

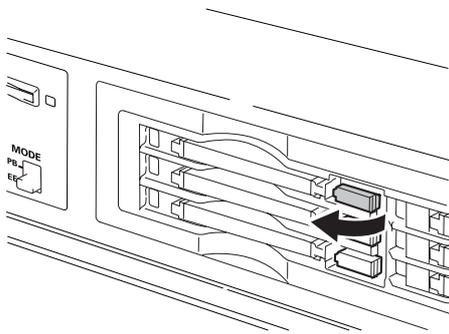
### ◆NOTE:

- アクセス中や、挿入後の認識中(P2カードアクセスLEDがオレンジ色に点滅時)には、P2カードを取り出したり電源を切ったりしないでください。

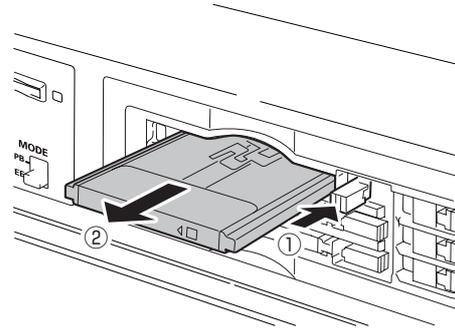
### 1 STOP ■ ボタンを押す

取り出したいP2カードのアクセスLEDがオレンジ色に点滅しているときは、STOP ■ ボタンを押して点滅を停止させてください。

### 2 EJECTボタンを起こす



### 3 EJECTボタンを押し込んで、P2カードを取り出す

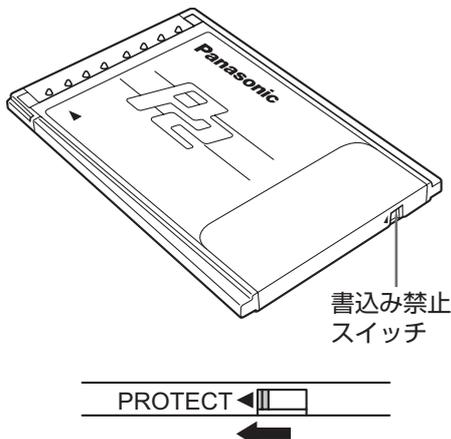


### ◆NOTE:

- サムネール画面表示中にP2カードを抜くと、自動的にサムネール画面から抜け出します。
- P2 カードの故障の原因となりますので、アクセス中や、挿入後の認識中(P2カードアクセスLED がオレンジ色に点滅時)に、P2カードを取り出したり電源を切ったりしないでください。  
万一、アクセス中のP2カードを取り出したとき、液晶モニターには「E-30」の表示、表示パネルには「AUTO OFF」の警告表示を行います。また、P2カードアクセスLEDは、すべてオレンジ色の早い点滅となります。一度、電源を切ってください。
- アクセス中に取り出されたP2カードのクリップが、不正規の状態になることがあります。クリップをご確認の上、修復を行ってください。  
→「不良クリップの修復」(44ページ)を参照。
- フォーマット中にP2カードが抜かれたときは、フォーマットが保証されません。再起動後、再度フォーマットを行ってください。
- 記録中に、記録対象でないP2カードの挿入または取り出しを行うと記録終了後のEEの音声が途切れることがありますが、記録内容には問題ありません。

## 誤消去を防ぐには

P2カードの記録内容を誤って消してしまうのを防ぐには、P2カードの書き込み禁止スイッチを「PROTECT」側にします。



### ◆NOTE:

- 書き込み禁止スイッチは、記録中や再生中などのアクセス中に切り替えても、再生や記録を終了してアクセス状態が終わるまで有効になりません。
- フロントパネル上部のREC INHスイッチをONにすると、すべてのP2カードへの記録を禁止しますが、フォーマット、クリップ削除、ショットマークのON/OFFなどは可能です。
- P2カードの書き込み禁止スイッチを「PROTECT」側にすると、記録、フォーマット、クリップ削除などすべての書き込みを禁止することができます。

## P2カードアクセスLEDとP2カードの状態について

P2カードアクセスLED	P2カードの状態
緑色に点灯	書き込み／読み出しとも可能です。
オレンジ色に点灯	書き込み／読み出しとも可能で、現在記録の対象になっています。
オレンジ色の点滅	現在、書き込み／読み出し中です。
オレンジ色の早い点滅	P2カード認識中です。
緑色の点滅	P2カードのメモリー残量がありません。読み出しのみ可能です。 P2カードのライトプロテクトスイッチが「PROTECT」側になっています。読み出しのみ可能です。
消灯	P2カードが正規のフォーマットをされていません。本機でフォーマットをやり直してください。 本機では使用できないカードです。カードを交換してください。 P2カードが挿入されていません。 USB DEVICE モードでP2カードにアクセスしていません。

### ◆NOTE:

- P2カードの状態を詳細に確認することができます。  
「カードの状態を確認する」(54ページ)をご覧ください。
- クリップセレクト状態では、P2 カードの挿入を行ったとき、クリップセレクトが解除された後にカードが認識されます。

## 4GB超でのクリップ分割について

本機で8 GB以上のP2カードを使用したとき、1回の連続記録時間が下表に示す時間を超えると、自動的に別のクリップとして記録を継続します。なお、P2機器にてクリップのサムネール操作(表示、削除、修復、コピーなど)を行うときは、1つのクリップとして操作できます。

ノンリニア編集ソフトおよびパーソナルコンピューターなどでは、別々のクリップとして表示されることがあります。

記録フォーマット	記録時間
DVCPRO HD	約5分
DVCPRO50	約10分
DVCPRO / DV	約20分
AVC-Intra50*	約10分
AVC-Intra100*	約5分

\*AVC-IntraコーデックボードAJ-YBX200G(オプション)装着時

## P2カードおよびSDメモリーカードの最新情報について

P2カードおよびSDメモリーカードの取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、下記のウェブサイトより、P2のサポートページをご覧ください。

日本語：<http://panasonic.biz/sav/>

英語：<https://eww.pavc.panasonic.co.jp/pro-av/>

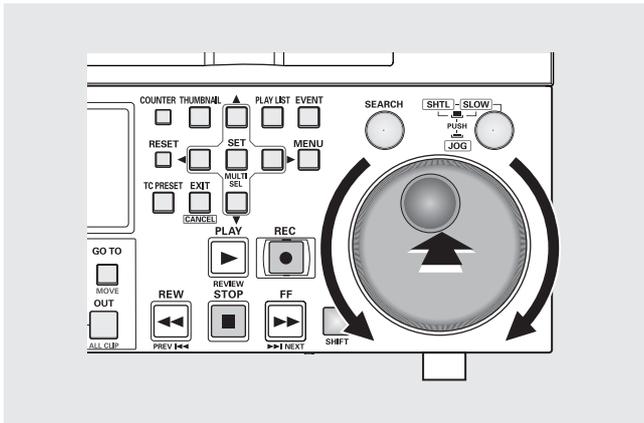
# サーチダイヤルによるジョグ／シャトル操作

サーチダイヤルは、映像の確認、検索のためのダイヤルです。

ダイヤルは、押す毎にSHTLモード/SLOWモードとJOGモードが交互に切り替わります。

電源を入れた直後は、一度ダイヤルをSTILLの位置に戻さないと動作しません。

## ジョグモード (JOGモード)



### 1 サーチダイヤルを押し込む

ジョグモードになります。

### 2 サーチダイヤルを回す

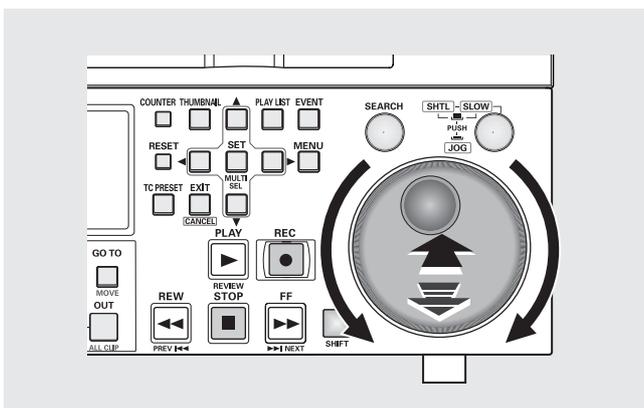
ダイヤルにクリック感がなくなり、ダイヤルの回転速度に応じたスピード(-1~+1倍速)で再生が行われます。ダイヤルの回転を止めると、静止画になります。

### 3 ジョグモードから他のモードに移行するときは、移行するモードのボタンを押す

#### ◆NOTE:

- 工場出荷時には、サーチダイヤルを回すと、シャトルモードまたは、ジョグモードに移行するダイレクトサーチモードに設定されています。
- セットアップメニューNo.100(SEARCH ENA)の設定を「KEY」にすることで、SEARCHボタンを押さないとサーチモードに移行しないように設定することができます。

## シャトルモード/スローモード (SHTLモード/SLOWモード)



### 1 サーチダイヤルを押して、押し込まれたダイヤルを元に戻す

シャトルモードになります。

電源を入れた直後は、サーチダイヤルを回して、センターの位置にしてください。

### 2 SHTL/SLOWボタンを押して、必要に応じSHTL (シャトル)モードとSLOW(スロー)モードを切り替える

### 3 サーチダイヤルを回す

ダイヤルの位置に応じて、再生画のスピードが0~±32倍速まで変化します。

セットアップメニューNo.101(SHTL MAX)でシャトルモードの最大速度の設定を±8、±16、±32、±60、±100倍速に変更できます。

ダイヤルをセンター位置でクリックすると、静止画になります。

### 4 シャトルモードから他のモードに移行するときは、STOP ■ ボタンまたは、他のボタンを押す

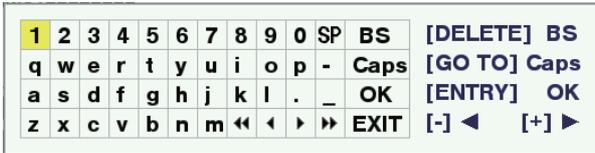
#### ◆NOTE:

- オーディオモニター出力からは、-10~+10倍速の範囲で再生音を聞くことができます。
- サーチモードでの再生音にはノイズが含まれます。
- 複数のP2カードにまたがったクリップを±1倍速より早い速度で再生するとき、再生音が一瞬途切れることがありますが、故障ではありません。
- 10倍速再生するとき、再生音が途切れることがありますが、故障ではありません。
- AVC-Intra 1080/23.98p記録されたクリップをサーチモードで再生すると、再生画の動きが不自然になることがあります。

# キーボードを利用する

## フルキーボードを利用する

フルキーボードは、必要なときに表示されます。  
 入力したい文字にカーソルを移動し、SET ボタンを押すと文字が入力されます。  
 カーソルの移動は十字カーソルボタンで行います。



次のキーボード上のキーは、対応する機能を実行します。

キー	機能	ショートカット
BS	1文字削除	SHIFT+INS
Caps	大文字小文字切り替え	GO TO
OK	入力保存しソフトキーボードを閉じる	ENTRY
EXIT	入力破棄しソフトキーボードを閉じる	EXIT
<<<	カーソル位置を先頭文字に移動	SHIFT+REW
<	カーソル位置を1文字分戻す	—
>	カーソル位置を1文字分進める	+
>>>	カーソル位置を最終文字の次の入力位置に移動	SHIFT+FF

### ◆NOTE

- ネットワークのユーザ登録画面などにおいては、MOVE(SHIFT + GOTO)で次の項目にカーソルを移動します。

## テンキーボードを利用する

テンキーボードは、必要なときに表示されます。  
 入力したい文字にカーソルを移動し、SET ボタンを押すと文字が入力されます。  
 カーソルの移動は十字カーソルボタンで行います。

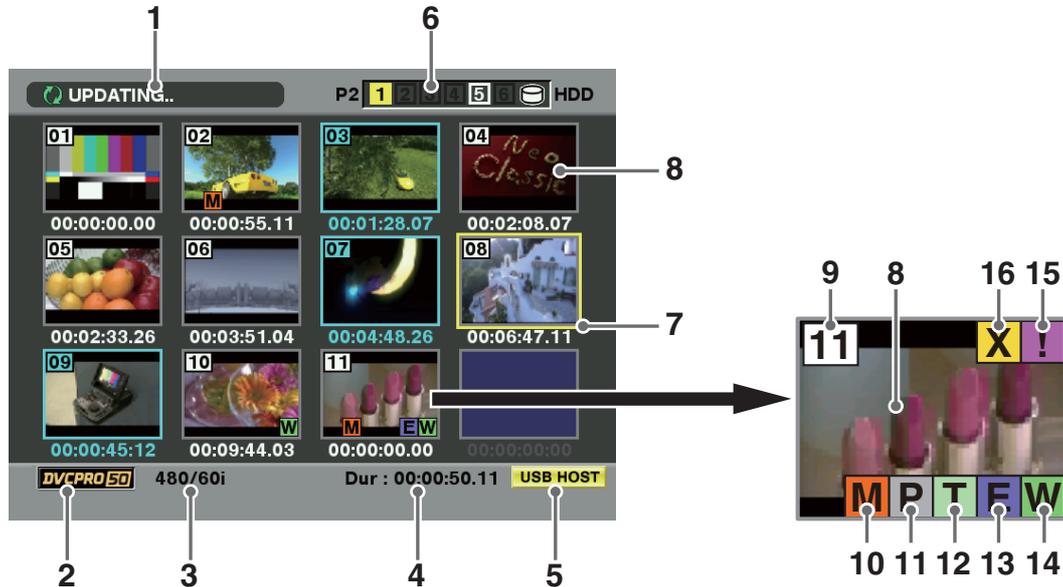


次のキーボード上のキーは、対応する機能を実行します。

キー	機能	ショートカット
BS	1文字削除	SHIFT+INS
OK	入力保存しソフトキーボードを閉じる	ENTRY
EXIT	入力破棄しソフトキーボードを閉じる	EXIT
<	<10進数入力時> カーソル位置を1文字分戻す <タイムコード入力時> カーソル位置を1項目戻す	—
>	<10進数入力時> カーソル位置を1文字分進める <タイムコード入力時> カーソル位置を1項目進める	+

# クリップの管理

## サムネールとクリップの管理について



本機にはクリップを管理するためのサムネール画面があります。クリップとは、画像、音声、メタデータなどの付加情報を含む、ひとかたまりのデータのことです。通常は記録を開始して停止するまでの、1回の記録によって生成される1ショットが1クリップになります。ただし、複数のP2カードにまたがったショットは、各カードの映像が独立したクリップとして扱われます。

サムネール画面には、デフォルトでは各クリップにある最初のフレームの画像が、そのクリップの代表画像として一覧表示されます。このサムネールを確認しながら、次の操作を行ってクリップを管理できます。

- クリップの再生、削除、修復
- クリップにテキストメモを挿入
- テキストメモの確認と削除
- テキストメモを利用した再生とコピー
- マーカーの表示と消去
- P2カードのフォーマット
- クリップのプロパティ表示
- P2カードの状態表示
- サムネール画像の変更

### ◆NOTE:

- サムネールは実際の映像の一部成分から生成されています。そのため実際の映像より荒いものとなります。
- サムネール表示用フィルターを変更することができます。  
→「表示する項目を設定する」(36ページ)を参照。

# サムネール画面各部の名称とはたらき

## 1. 表示状態/状態メッセージ

- 画面に表示されている情報の種類が、次のように示されま

ALL:	すべてのクリップ
SAME FORMAT:	システムフォーマットと同じフォーマットのクリップ
SELECT:	SETボタンで選択したクリップ
MARKER:	ショットマークが付加されたクリップ
TEXT MEMO:	テキストメモデータがあるクリップ
SLOT n:	n番スロットのP2カード内のクリップ
PROPERTY:	クリップの詳細情報
P2 / REMAIN:	メディア情報(残量表記)
P2 / USED:	メディア情報(使用量表記)
META DATA:	設定されたメタデータ

→表示の切り替え方法は「サムネール画面の表示の変更」(35ページ)を参照。

- 処理状態を示すメッセージが表示されます。たとえば、画面更新中には「UPDATING」の文字と回転するアイコンが表示されます。

## 2. 記録モード

カーソル位置のクリップの記録モードが表示されます。

## 3. システムフォーマット

カーソル位置のクリップの記録フォーマットが表示されま

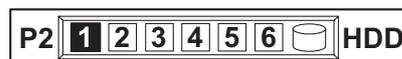
## 4. デュレーション

カーソル位置のクリップのデュレーションが表示されます。

## 5. USBホストモードインジケータ

USBホストモードのときに表示されます。

## 6. P2カードスロット番号・HDD状態



P2カードおよびUSBハードディスクドライブの状態が、次のように表示されます。

 P2カードが挿入されているP2カードスロット番号が白色で表示されます。

 カーソル位置のクリップが記録されているP2カードスロット番号が、黄色で表示されます。クリップが複数のP2カードにまたがって記録されているときは、そのクリップが記録されたカードのスロット番号すべてが表示されます。

### ◆NOTE:

挿入されたP2カードが以下のような場合に、枠がピンク色になります。

- 「RUN DOWN CARD」  
P2カードの規定の書き換え回数を超えた場合
- 「DIR ENTRY NG CARD」  
P2カードのディレクトリ配置が不正規の場合

 USBホストモード以外か、USBホストモードになっているがハードディスクドライブが非接続のとき、灰色で表示されます。

 USBホストモードになっていて、ハードディスクドライブが使用可能のとき、白色で表示されます。

 USBホストモードになっていて、ハードディスクドライブのクリップがサムネール表示されているとき、黄色で表示されます。

 USBホストモードになっていて、ハードディスクドライブがコピー可能な状態でないときに赤色で表示されます。

## 7. クリップ情報表示

クリップの記録開始時のTC(タイムコード)/UB(クリップ)の記録開始時のユーザズビット)/撮影時刻/撮影日/撮影日時/ユーザークリップ名/スロット名/サムネール位置のタイムコードのいずれかが表示されます。

→「サムネール画面の表示の変更」(35ページ)を参照。

## 8. サムネール

各クリップにある最初のフレームの画像が、そのクリップの代表画像として表示されます。

## 9. クリップ番号

記録日時が早い順に、P2カード上のクリップに割り当てた番号が表示されます。再生できないクリップは、クリップ番号が赤色で表示されます。

メニューでSORTをSLOTにした場合はまずスロットの順で、次に同一スロット内のクリップは記録時間が早い順に表示されます。

→「表示する項目を設定する」(36ページ)を参照。

## 10. **M**ショットマークインジケーター

ショットマークが付加されたクリップに表示されます。

## 11. **P**プロキシインジケーター

AJ-HPX2100などのカメラで記録したプロキシが付加記録されているクリップに表示されます。

本機ではプロキシを記録・再生はできません。

## 12. **T**テキストメモインジケーター

テキストメモデータが挿入されているクリップに表示されません。

## 13. **E**エディットコピーインジケーター

エディットコピーしたクリップに表示されます。

## 14. **W**ワイドインジケーター

16:9の画角で記録されたクリップに表示されます。ただしHDフォーマットのクリップのときは表示されません。

## 15. **!**不完全クリップインジケーター

複数のP2カードにまたがって記録されているにもかかわらず、その内のいずれかのP2カードが、P2カードスロットに挿入されていないときなどに表示されます。

## 16. **X**不良クリップ・**?**不明クリップインジケーター

記録中に電源が切れるなどの原因で、記録に不具合のあるクリップに表示されます。黄色の不良クリップインジケーターが表示されたクリップは、修復が可能な場合があります。

→「不良クリップの修復」(44ページ)を参照。

赤色の不良クリップインジケーターが表示されたクリップは、修復できませんので削除してください。削除できないときは、P2カードをフォーマットしてください。

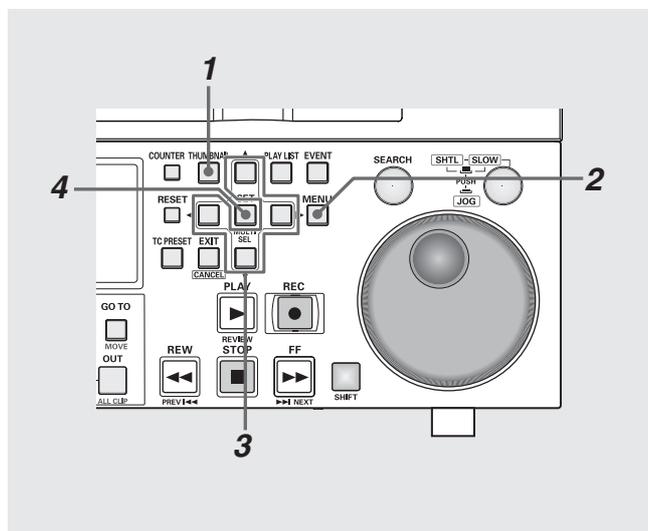
P2規格のフォーマットなどが異なるクリップのときは、

**X**の代わりに**?**が表示されます。

## サムネール画面の表示の変更

使用状況に応じてサムネール画面をカスタマイズし、効率よく操作を行うことができます。

### 表示する情報の種類を切り替える



1 サムネール画面を表示する

2 MENUボタンを押す

3 十字カーソルボタンで[THUMBNAIL]の下位の、表示したいクリップの種類にカーソルを合わせる



ALL CLIP:	すべてのクリップを表示するとき
SAME FORMAT CLIPS:	システムフォーマットと同じフォーマットのクリップを表示するとき
SELECTED CLIPS:	SETボタンで選択したクリップを表示するとき
MARKED CLIPS:	ショットマークが付加されたクリップを表示するとき
TEXT MEMO CLIPS:	テキストメモデータがあるクリップを表示するとき

#### ◆NOTE:

テキストメモクリップの表示時に、下段に表示されるテキストメモ位置のサムネールが表示されずに灰色となる場合があります。

- AVC-Intra コーデックボードオプションがない場合のAVC-Intraクリップ
- 本機のシステム周波数(59.94Hz)と異なるAVC-Intraクリップ

SLOT CLIPS:	n番スロットのP2カード内のクリップを表示するとき
-------------	---------------------------

4 SETボタンを押す

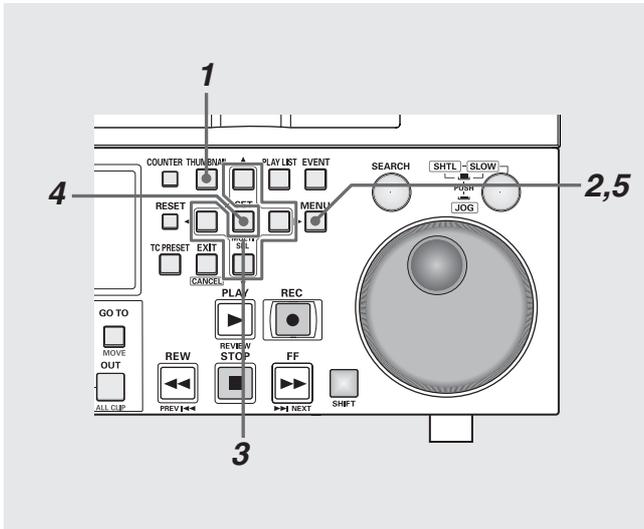
#### ◆NOTE:

〈ボタンを操作しても切り替えることができます〉

- SHIFT + INボタンを押すたびにSELECTED→SLOT1→SLOT2…SLOT6→SELECTED(ただしカードが挿入されているスロットのみ)に切り替えることができます。
- SHIFT + OUTを押してALL CLIPに切り替えることができます。

## 表示する項目を設定する

用途に合わせ、サムネールの表示方法をカスタマイズできます。サムネール表示のインジケータやデータ設定の切り替えを行います。



### 1 サムネール画面を表示する

### 2 MENUボタンを押す

### 3 十字カーソルボタンで [THUMBNAIL] - [SETUP] の下位の設定したい項目にカーソルを合わせる



※XXは工場出荷時の設定です。

ALL HIDE:	ON	インジケータをすべて非表示
	OFF	以下のメニューの設定に従って表示
MARKER IND.:	ON	ショットマークインジケータを表示
	OFF	ショットマークインジケータを非表示
TEXT MEMO IND.:	ON	テキストメモインジケータを表示
	OFF	テキストメモインジケータを非表示

WIDE IND.:	ON	ワイドインジケータを表示
	OFF	ワイドインジケータを非表示
PROXY IND.:	ON	プロキシインジケータを表示
	OFF	プロキシインジケータを非表示
DATA DISPLAY:	時間表示部(→「サムネール画面各部の名称とはたらき」(33ページ)の6を参照)に表示する内容を選択する	
	TC	タイムコード
	UB	ユーザーズビット
	TIME	記録時刻
	DATE	記録日
	DATE TIME	記録日時
	USER CLIP NAME	ユーザークリップ名 の先頭の最大15文字 (英語表示の場合)
	SLOT	スロット番号
	THUMBNAIL TC	サムネール位置の タイムコード
THUMBNAIL SIZE:	モニターに表示されるサムネールの大きさ	
	LARGE	大きい
	NORMAL	標準
HIGH RESOLUTION:	サムネール表示用フィルターを設定する	
	ON	高品質フィルター設定
	OFF	通常品質フィルター設定
THUMBNAIL INIT:	上記設定を、工場出荷状態(初期値)に戻す	
SORT	OFF	標準
	SLOT	スロット番号で表示をソート

### 4 SETボタンを押す

#### ◆NOTE:

- [THUMBNAIL INIT]のときは確認画面が表示されますので、[YES]を選択します。

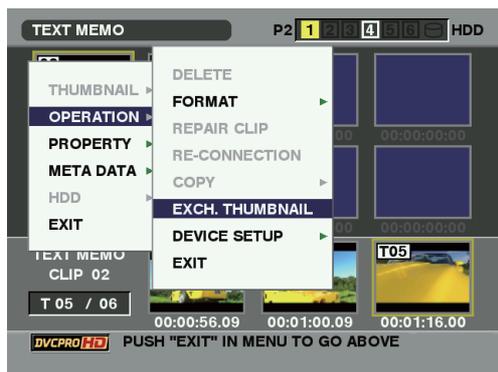
### 5 MENUボタンを押して、処理を終了する

## サムネールの変更

次の方法でサムネールを変更することができます。

### テキストメモを利用したサムネールの変更

- 1 変更したい映像にテキストメモを付加する  
→「テキストメモを付加する」(40ページ)を参照。
- 2 サムネール表示をテキストメモ表示に変更する
- 3 テキストメモ下段へ移動し、変更したいサムネールにカーソルを移動する
- 4 メニューボタンを押す
- 5 十字カーソルボタンで、[OPERATION] - [EXCH. THUMBNAIL]にカーソルを合わせSETボタンを押す



- 6 [YES]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す  
MENUが閉じて、サムネールが変更されます。



#### ◆ NOTE:

- クリップの情報表示の THUMBNAIL 項目で、サムネールの変更位置(先頭からのフレーム数)を見ることができます。通常の先頭フレームのサムネールの場合は0と表示されます。
- サムネールから再生する際の開始位置を変更する場合は、「再生開始位置の変更」(39ページ)を参照してください。

### クリップ再生中のサムネールの変更

- 1 サムネール画面を表示する
- 2 十字カーソルボタンで、サムネールを変更したいクリップにカーソルを合わせる



- 3 クリップを再生する  
→「クリップを再生する」(39ページ)を参照。
- 4 再生中、またはJOG/VAR/SHTLで静止画を表示しているときに、ENTRYボタンとTEXT MEMOボタンを同時に押す  
ボタンを押したときのフレーム画像がサムネールとして予約されます。
- 5 STOPボタンを押し、サムネール画面に戻る
  - サムネールが変更されます。
  - クリップの先頭、または最後まで再生した時もサムネール画面に戻り、サムネールが変更されます。

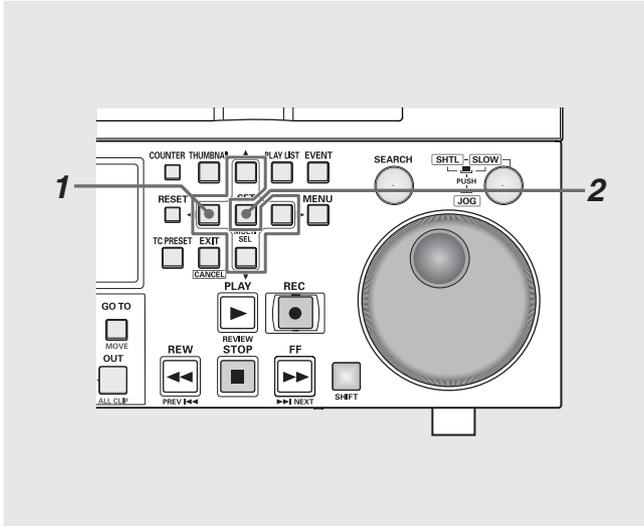


#### ◆ NOTE:

- 手順4でENTRYボタンとTEXT MEMOボタンを同時に押すときは、ENTRYボタンを先に押してください。
- クリップの再生中に複数回ENTRYボタンとTEXT MEMOボタンを同時に押したときは、最後に押した位置のフレーム画像がサムネールとして予約されます。
- ENTRYボタンとTEXT MEMOボタンを同時に押したときは、ボタンを押したときのフレームにテキストメモが設定されます。クリップ中のテキストメモ数が100個に達した場合には、サムネールの変更はできません。
- サムネール変更中は、状態メッセージとしてUPDATINGの文字と回転するアイコンが表示されます。この状態のとき、P2カードを抜かないでください。
- サムネール画面に戻るまでP2カードを抜かないでください。サムネールが変更されません。

# クリップを選択する

サムネイル画面で操作を行うとき、操作の対象となるクリップを次のように選択します。



**1** 十字カーソルボタンで、黄色い枠(カーソル)を対象のクリップに合わせる



◆NOTE:

- SHIFTボタンを押しながらREW / FFボタンあるいは▲▼ボタンを押すと、カーソルを先頭クリップ / 最終クリップへ移動できます。

**2** SETボタンを押す

カーソルを合わせたクリップに水色の枠が表示され、選択状態になったことを表します。

◆NOTE:

- 1~2の操作を繰り返すと、複数のクリップを選択できます。
- クリップを選択した後、別のクリップにカーソルを移動し、SHIFTボタンを押しながらSETボタンを押すと、直前に選択したクリップからカーソル位置までのクリップをまとめて選択できます。

選択を解除するには

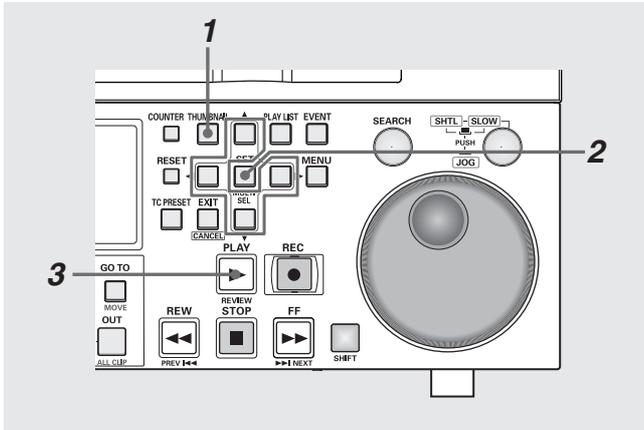
**1** 選択状態のクリップにカーソルを合わせ、再度 SETボタンを押す

選択が解除されます。

◆NOTE:

- SHIFTボタンを押しながらEXITボタンを押すと、選択状態のクリップを一括して選択解除できます。

# クリップを再生する

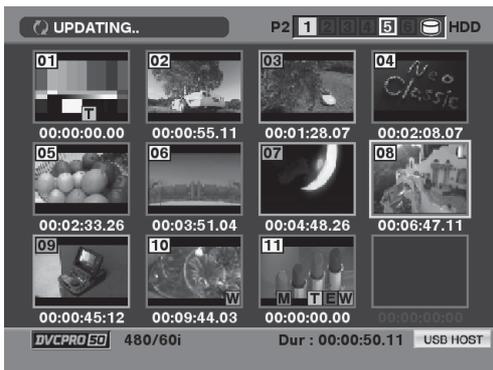


- 再生を停止すると、カーソル位置は停止直前に再生していたクリップに移動します。
- 異なったフォーマット(DVCPRO HD、DVCPRO50、DVCPRO、DV、AVC-Intra50\*、AVC-Intra100\*)を再生すると、クリップとクリップの間で映像・音声が乱れますが故障ではありません。
- THUMBNAILボタンを押してサムネール画面を閉じたとき、ほとんどの場合は再生開始位置が最も記録時刻の古いクリップ(クリップ番号1)に戻ります。
- サムネール画面をテキストメモ表示にすると、テキストメモ位置からの再生を行うことができます。  
→「テキストメモを付加する」(40ページ)を参照。

\*AVC-IntraコーデックボードAJ-YBX200G(オプション)装着時

## 1 サムネール画面を表示する

## 2 十字カーソルボタンで、再生したいクリップにカーソルを合わせる



### ◆NOTE:

- サーチダイヤルでもカーソルを動かすことができます。

## 3 PLAYボタンを押す

カーソルを合わせたクリップから、再生がはじまります。カーソルを合わせたクリップの再生が終わると、それ以降のクリップが順に再生され、最後のクリップの再生が終わるとサムネール画面に戻ります。

### ◆NOTE:

- クリップを再生するときには、クリップを選択(サムネールに水色の枠が表示された状態に)する必要はありません。
- サムネール表示設定を変更して、選択したクリップだけを再生したり、テキストメモが挿入されたクリップだけを再生したりすることができます。
- PLAYボタンの代わりにSEARCHボタンを押すと、クリップの先頭フレームの映像が静止画として表示されます。
- クリップ番号が赤色に表示されたクリップは、再生できません。
- PLAYボタンの代わりに、REW ◀◀ ボタンを押すと早戻し再生、FF ▶▶ ボタンを押すと早送り再生が行えます。
- クリップの再生中にSTOP ■ ボタンを押すと、再生を停止してサムネール画面に戻ります。

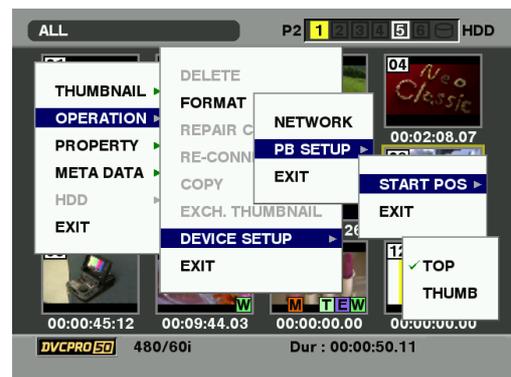
## 再生開始位置の変更

サムネール画面から再生するときは、次の手順で再生開始位置を変更することができます。

## 1 サムネール画面を表示する

## 2 MENUボタンを押す

## 3 十字カーソルで[OPERATION] – [DEVICE SETUP] – [PB SETUP] – [START POS]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す



## 4 再生開始位置をクリップの先頭にするときは TOP を、サムネール位置にするときは THUMB を選択し、SETボタンを押す

## 5 MENUボタンを押す

### ◆NOTE:

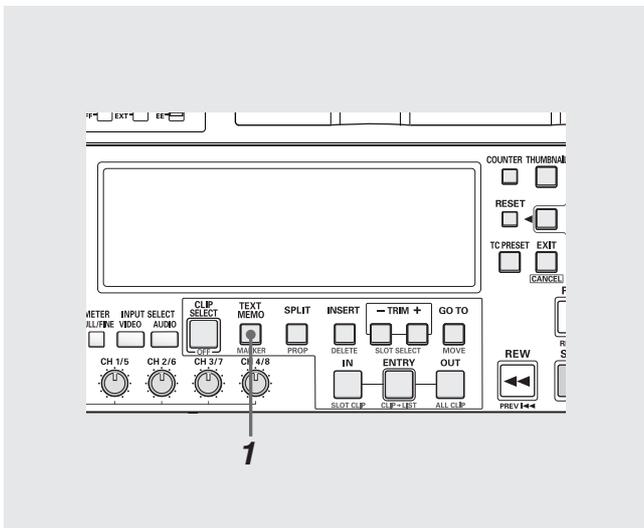
- クリップセレクト時は、セットアップメニューNo.165 CLIPSEL MODEの設定値で頭出し位置が決まります。  
→「セットアップメニューNo.165(CLIPSEL MODE)」(105 ページ)を参照。

# テキストメモやショットマークを付加する

クリップの特定の箇所を区別するために、クリップにテキストメモを付加することができます。また、他のクリップと区別するために、クリップにショットマークを表示することができます。ただし、書き込み禁止スイッチがPROTECTになっているP2カードには付加できません。

## テキストメモを付加する

テキストメモを付加すると、映像を再生中にNEXT / PREVボタンを押して、テキストメモの位置にシークすることができます。



### 1 記録・再生・サムネール表示中にTEXT MEMOボタンを押す

- 記録・再生中にこのボタンを押すと、押したときの位置にテキストメモが付加されます。
- サムネール画面を表示中にこのボタンを押すと、クリップのサムネール(通常は先頭)の位置にテキストメモが付加されます。

#### ◆NOTE:

- テキストメモは、1クリップに最大100個付加できます。
- 再生中にTEXT MEMO ボタンを押したときに、再生画が一瞬止まる場合がありますが故障ではありません。
- ストップ中はテキストメモを付加できません。

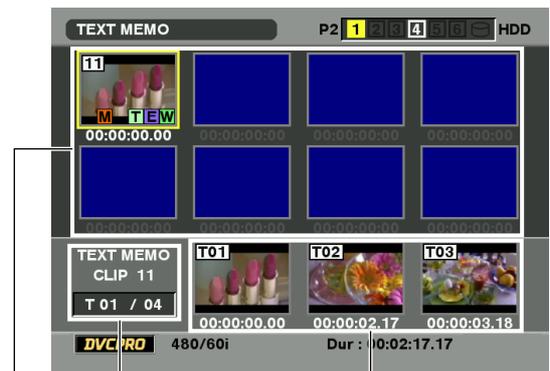
## テキストメモ位置から再生する

### 1 サムネールボタンを押す

液晶モニターにサムネール画面が表示されます。

### 2 サムネールメニューボタンを押し、サムネールメニューより[THUMBNAIL] - [TEXT MEMO CLIPS]を選択する

液晶モニター上段には、テキストメモが付加されたクリップのサムネールが表示されます。液晶モニター下段には、カーソルで選択されているクリップのテキストメモに関する情報が表示されます。



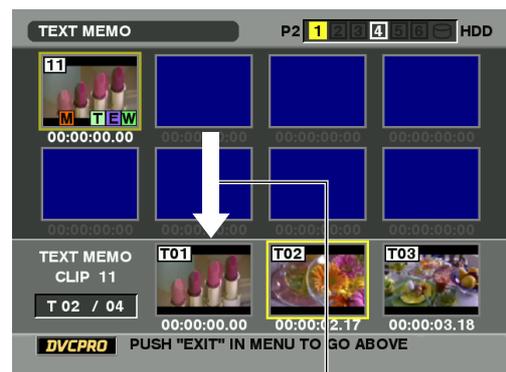
サムネール表示部      クリップに付加されたテキストメモの総数を表示      テキストメモが関連付けられた静止画像を表示

#### ◆NOTE:

- テキストメモクリップの表示時に、下段に表示されるテキストメモ位置のサムネールが表示されずに灰色となる場合があります。
  - AVC-Intra コーデックボードオプションがない場合の AVC-Intraクリップ
  - SYSTEM FREQ設定と異なるAVC-Intraクリップ

### 3 カーソルを、再生したいテキストメモのあるクリップに合わせ、SETボタンを押す

カーソルが液晶モニター下段に移ります。



カーソルが移動します。

**4** カーソルが下段にある状態のまま、十字カーソルボタンの左右(◀ ▶)で、カーソルを再生したいテキストメモのサムネイルに合わせ、PLAYボタンを押す  
カーソルが合わされたテキストメモのタイムコード位置から再生します。

再生中にSTOPボタンを押して止めたり、クリップの終端で再生が終了すると、サムネイル画面に戻り、再生を開始したテキストメモのサムネイルにカーソルは戻ります。サムネイルメニューボタンを押し、EXITを選択するか、EXITボタンを押すと、カーソルがサムネイル画面の上段に戻ります。

## テキストメモを削除する

不要なテキストメモは、次の操作で削除できます。

**1** サムネイル画面を表示する

**2** MENUボタンを押す

**3** 十字カーソルで[THUMBNAIL]–[TEXT MEMO CLIPS]にカーソルを合わせる

**4** カーソルを、削除したいテキストメモのあるクリップに合わせ、SETボタンを押す  
カーソルが液晶モニター下段に移ります。



**5** カーソルが下段にある状態のまま、カーソルを削除したいテキストメモに合わせ、SETボタンを押す



**6** MENUボタンを押す

**7** 十字カーソルで[OPERATION] – [DELETE]にカーソルを合わせる

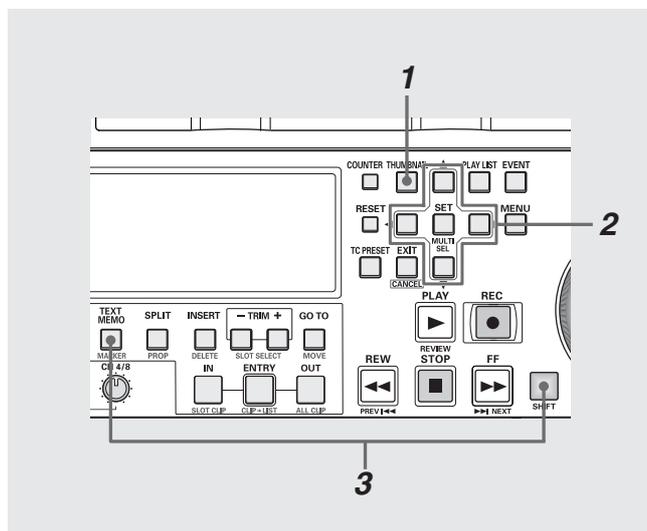
**8** [YES]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す

### ◆NOTE:

- EXIT ボタンを押すことで、カーソルを液晶モニター下段から上段に移動できます。
- カーソルが液晶モニター上段にある場合は、EXIT ボタンを押すことで通常サムネイル画面に移動できます。

## ショットマークを付加する

ショットマークを表示すると、他のクリップと区別することができます。



**1** サムネイル画面を表示する

**2** 十字カーソルボタンで、対象のクリップにカーソルを合わせる

**3** SHIFTを押しながらTEXT MEMOボタンを押す  
ボタンを押すたびにショットマークインジケータのON/OFFが切り替わります。

### ◆NOTE:

- 複数の P2 カードにまたがるクリップに対してショットマークを付加または削除するときは、そのクリップが記録されたすべてのP2カードを挿入した状態で行ってください。

# クリップをコピーする

クリップを、任意のP2カードスロットのP2カードにコピーできます。

## ◆NOTE:

- コピー中に電源をOFFにしたり、カードを抜き差ししたりしないでください。不良クリップができます。不良クリップができてしまった場合は、クリップを削除してから、再度コピーを行ってください。
- 不完全クリップは連結した後でコピーしてください。

## 1 サムネイル画面を表示する

## 2 コピーするクリップを選択する

## 3 MENUボタンを押す

## 4 十字カーソルボタンで [OPERATION] - [COPY] - [SLOT n](コピー先P2カードスロット番号)にカーソルを合わせ、SETボタンを押す

SETボタンを押した後に選択しているクリップ数が表示されます。



## 5 [YES]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す クリップのコピーが開始されます。



## ◆NOTE:

- 途中でコピーを中止するには、SHIFT + EXIT または SET ボタンを押してキャンセルしてください。途中までコピーされたコピー先のクリップは削除されます。
- コピー先に、以前コピーするなどした同一クリップ(GLOBAL CLIP IDが同じ)が存在するときは、「OVER WRITE」と表示されます。上書きを行うときは[YES]を、コピーを行わないときは[NO]を選択し、SETボタンを押してください。

## 6 完了メッセージが表示されたら確認(SETボタン)を押す



## 7 MENUボタンを押して、処理を終了する

## ◆NOTE:

- 次のエラーメッセージが表示されたときは、コピーは行われません。
  - 「LACK OF REC CAPACITY」  
コピー先の記録容量が不足しているため、コピーは行われません。
  - 「CANNOT COPY」あるいは「CANNOT ACCESS」  
選択したクリップに不良クリップが含まれているため、コピーは行われません。
  - 「UNKNOWN CONTENTS FORMAT!」  
選択したクリップに不良クリップが含まれているため、コピーは行われません。
  - 「NO COPY TO SAME CARD!」  
同一カードへコピーしようとしたため、コピーは行われません。
  - 「TOO MANY CLIPS!」  
選択したクリップが多すぎるため、コピーは行われません。
  - 「INCLUDE COLLAPSE CLIPS!」  
コピー先に不良クリップがあるため、コピーは行われません。
- テキストメモ下段でテキストメモ選択中にコピーを行うと、選択したテキストメモ位置とその次にあるテキストメモの区間をコピーします。選択したテキストメモの後にテキストメモがない場合は、クリップの最後までをコピーします。

# クリップを削除する

不要なクリップは、次の操作でP2カードから削除できます。

- 1 サムネール画面を表示する
- 2 削除するクリップを選択する
- 3 MENU ボタンを押す
- 4 十字カーソルボタンで [OPERATION] - [DELETE] にカーソルを合わせる



- 5 [YES]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す  
選択したクリップがすべて削除されます。

- 6 MENUボタンを押して、処理を終了する

## ◆NOTE:

- 3～4の操作の代わりに、SHIFTを押しながらINSERTボタンを押してもクリップを削除できます。
- 途中で削除を中止するには、SHIFT + EXITまたはSETボタンを押してキャンセルしてください。途中まで削除されたクリップはキャンセルしても戻りません。

# クリップを修復する・連結する

## 不良クリップの修復

記録中、急に電源が切れるなどの原因で発生した、不具合のあるクリップには不良クリップインジケータ(黄色の[X])が表示されます。不具合のあるクリップは、次の操作で修復できます。

- 1 サムネール画面を表示する
- 2 修復する不良クリップを選択する
- 3 MENUボタンを押す
- 4 十字カーソルボタンで、[OPERATION] – [REPAIR CLIP]にカーソルを合わせる



- 5 [YES]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す
- 6 MENUボタンを押して、処理を終了する

### ◆NOTE:

- 壊れ方によっては修復できないときがあります。そのときは赤色の[X]が表示されます。

## 不完全クリップの連結

複数のP2カードにまたがって記録されているクリップが連続したクリップとして認識されず、不完全クリップ(□インジケータ)になることがあります。このとき連結機能を使って、連続したクリップ(元の連結したクリップ)に復元することができます。

### ◆NOTE:

不完全クリップは以下のようなときにできます。

- 複数のP2カードに記録されたクリップを、P2カード毎に別々にコピーしたとき。
- 複数カードに記録されたクリップを、カード毎に別々にHDDへコピー後、P2カードへ書き戻したとき。
- DVCPRO HD/AVC-Intra100で約5分以上(DVCPRO50/AVC-Intra50では約10分、DVCPRO、DVは約20分以上)の長いクリップをHDDへコピー後、P2カードに書き戻したとき。

- 1 サムネール画面を表示する
- 2 連結する不完全クリップを選択する

### ◆NOTE:

- 通常、不完全クリップマークのサムネールは、並んで表示されています。

- 3 MENUボタンを押す
- 4 十字カーソルボタンで[OPERATION] – [RE-CONNECTION]にカーソルを合わせる



- 5 [YES]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す
- 6 MENUボタンを押して、処理を終了する

### ◆NOTE:

- 3つ以上に分かれた不完全クリップの一部のクリップだけを連結しても、元のクリップを構成するすべてのクリップを連結するまでは、不完全クリップマークが付いたままになります。

# クリップの情報を表示・修正する

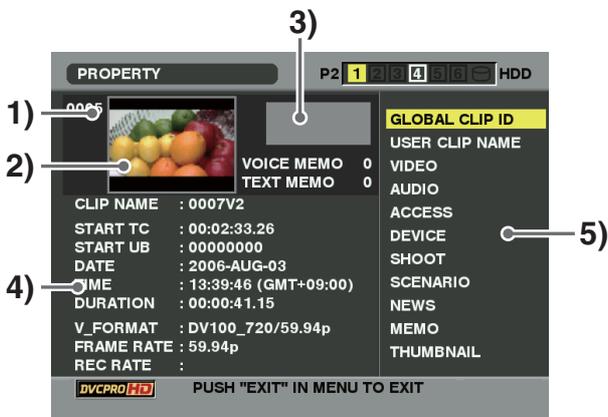
## クリップ情報の表示

クリップの詳細な情報を画面に表示して確認できます。

- 1) サムネール画面を表示する
- 2) 十字カーソルボタンで、対象のクリップにカーソルを合わせる
- 3) MENUボタンを押す  
またはメニューを閉じた状態で、SHIFTボタンを押しながらSPLITボタンを押す
- 4) 十字カーソルボタンで[PROPERTY]→[CLIP PROPERTY]にカーソルを合わせてSETボタンを押す



クリップに関する情報が表示されます。



- 1) クリップ番号
- 2) サムネール
- 3) クリップ付加情報

クリップに付加された各種インジケータ、付加されているテキストメモやボイスメモの数が表示されます。また、クリップが記録されたP2カードに、ライトプロテクトがかけられているとき、マークが表示されます。

### ◆NOTE:

- ボイスメモ／インジケータ  
ボイスメモが付加されたクリップに表示されます。クリッププロパティ表示のときのみ表示されます。
- 本機ではボイスメモの記録／再生は行えません。

- 4) クリップ情報

次の情報が表示されます。

CLIP NAME:	クリップ名
START TC:	記録開始時のタイムコード
START UB:	記録開始時のユーザーズビットの値
DATE:	記録した日付
TIME:	記録開始時の時刻
DURATION:	クリップの長さ
V_FORMAT:	クリップの記録フォーマット
FRAME RATE:	再生フレームレート
REC RATE:	記録フレームレート(カメラレコーダーで特殊な記録をしたクリップで表示される)

- 5) クリップメタデータ

クリップの詳細情報(クリップメタデータ)を参照するための項目が表示されます。

## 5 必要に応じてクリップメタデータの内容を参照する



十字カーソルボタンでクリップメタデータの項目にカーソルを合わせ、SET ボタンを押すと、次の情報が表示されます。

GLOBAL CLIP ID:	グローバルクリップID (同じ番号が他のクリップに付くことがない、世界で唯一の番号)
USER CLIP NAME:	ユーザーが付けることのできるクリップ名 通常はGLOBAL CLIP IDが入っています。
VIDEO:	ビデオ信号方式など (フレームレート、プルダウン、アスペクト比)
AUDIO:	オーディオの各チャンネル方式など (サンプリングレート、ビットレート)
ACCESS:	最終更新日など (作成者、作成日、最終更新日、最終更新者)
DEVICE:	記録した機器のシリアル番号など (機材メーカー名、シリアル番号、モデル名)
SHOOT:	記録開始、終了した日付など (撮影者、撮影開始日、撮影終了日、撮影地情報、高度、経度、緯度、撮影地情報源、撮影地)
SCENARIO:	番組名、シーンNo. など (プログラム名、シーン番号、テイク番号)
NEWS:	レポーター、取材対象など (レポーター、取材目的、取材対象)

MEMO: TEXT MEMO の番号、位置、名前、テキスト内容  
(NO.、記録位置、メモ入力者、テキスト情報)

### ◆NOTE:

- OFFSET については、先頭からのフレーム数で表します。サムネールのテキストメモ表示では、このOFFSETをタイムコードに直して表示しています。
- TEXT 内容は最大 1000 文字添付可能ですが、表示は先頭の100文字を表示します。
- テキスト番号は左右カーソルで動かします。

THUMBNAIL: サムネールの元となる画像のフレーム位置やサイズ(フレームオフセット、高さ、幅)

## 6 MENU ボタン、または EXIT ボタンを押して、処理を終了する

## クリップメタデータの修正

クリップのメタデータを修正することができます。

### 1 クリップのメタデータを表示する

### 2 十字カーソルボタンで、修正したいメタデータにカーソルを合わせSETボタン押す

変更可能なメタデータは、次の図の「テキスト情報」のように表示されています。



### 3 十字カーソルボタンで、変更項目へ移動し、SETボタンを押す

- メタデータ修正の画面(ソフトキーボード)が表示されます。
- ソフトキーボードでメタデータを修正します。



#### ◆NOTE:

- 十字カーソルボタンでキーボード内のカーソルを動かし、BS 位置でSETボタンを押すことで、入力削除などが行えます。
- 入力位置は、◀ ▶で1文字、◀◀ ▶▶で先頭と最後に移動できます。

### 4 修正終了後[OK]を選択する(またはENTRYボタンを押す)

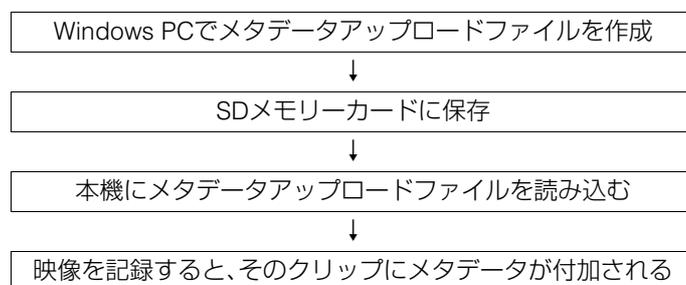
- 修正したメタデータをクリップへ保存し、メタデータの表示へ戻ります。
- EXITを選択すると入力を取り消し、元へ戻ります。

#### ◆NOTE:

- 緯度および経度は単独で削除できません。削除する場合は、高度に空白を設定してください。
- [!]がついたクリップは、メタデータを修正することができませんので、不足クリップの入ったP2カードを挿入してください。
- MEMO 項目は、100 文字以上添付されている場合は修正することができません。

# クリップにメタデータを付加する

撮影者名やレポーター名、撮影場所、テキストメモなどの情報を記述したメタデータアップロードファイルを、SDメモリーカードに保存しておく、それを読み込んで、クリップメタデータとして記録することができます。



## メタデータアップロードファイルの準備

メタデータアップロードファイルは、パーソナルコンピュータ上でP2ビューアーを使用して作成します。

P2ビューアーはP2カードに記録されたクリップを、Windows PCで操作するためのアプリケーションソフトで、下記のURLで無償配布しています。

日本語: <http://panasonic.biz/sav/>

英語: <https://eww.pavc.panasonic.co.jp/pro-av/>

P2ビューアーをパーソナルコンピュータにインストールし、メタデータアップロードファイルを作成してSDメモリーカードに書き込んでください。

### ◆NOTE:

- P2ビューアーは最新アップデート版をご使用ください。
- メタデータアップロードファイルの作成方法については、P2ビューアーのヘルプを参照してください。
- SDメモリーカードについては、134 ページのNOTEを参照してください。

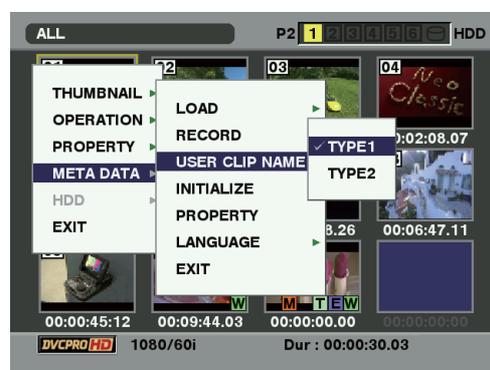
## メタデータを付加するための設定

メタデータアップロードファイルを本機に読み込むための設定を行います。

## USER CLIP NAMEの記録方法の選択

USER CLIP NAMEの記録方法を設定します。

- 1 サムネイル画面を表示する
- 2 MENUボタンを押す
- 3 十字カーソルボタンで[META DATA]—[USER CLIP NAME]にカーソルを合わせる



#### 4 [TYPE1] または [TYPE2] にカーソルを合わせ、SET ボタンを押す

XXは工場出荷時の設定です

記録方法	記録されるUSER CLIP NAME	
クリップメタデータ 利用する	TYPE1	読み込んだメタデータ 設定値
	TYPE2	読み込んだメタデータ 設定値 + COUNT 値(※ 2)
クリップメタデータ 利用しない ※1	TYPE1	GLOBAL CLIP ID と同 じ
	TYPE2	CLIP NAMEと同じ

※1メタデータアップロードファイルを読み込んでいる  
が、[META DATA]-[RECORD]が[OFF]の場合

※2メタデータが最大のときは、末尾4文字となります。

#### 5 MENUボタンを押して、処理を終了する

### メタデータの表示言語を設定する

メタデータを表示するときの表示言語を設定します。

#### 1 サムネイル画面を表示する

#### 2 MENUボタンを押す

#### 3 十字カーソルボタンで[META DATA]- [LANGUAGE]にカーソルを合わせる



#### 4 表示言語にカーソルを合わせ、SETボタンを押す

XXは工場出荷時の設定です

ENGLISH:	英語
JAPANESE:	日本語

#### ◆NOTE:

- 日本語のメタデータを英語で表示したときやメタデータに英語の非表示文字などがあるときは、正しく表示されず、「\*」で表示されます。

#### 5 MENUボタンを押して、処理を終了する

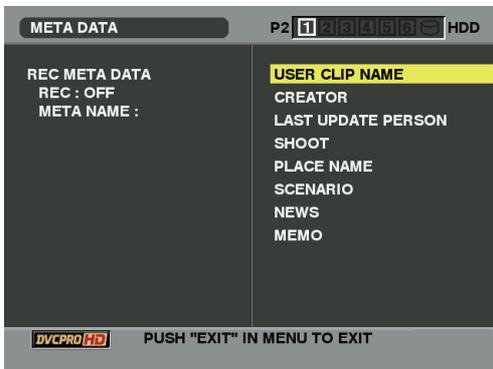
## COUNT値について

COUNT値は、4桁の数字で表示されます。COUNT値は、USER CLIP NAMEの記録方法を[TYPE2]に設定してクリップメタデータファイルを読み込んだとき、記録を行って新しいクリップを生成するたびに1ずつ増加します。

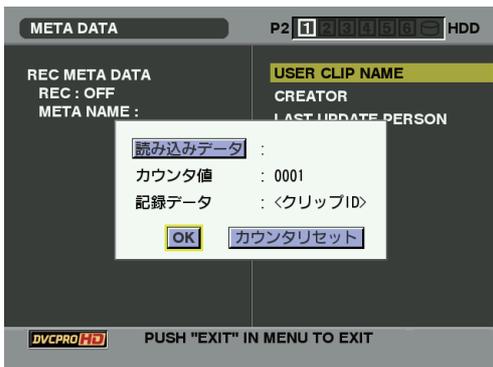
### ■ COUNT値をリセットするには

COUNT値は、次の操作でリセットできます。

1. サムネール画面を表示する
2. MENUボタンを押す
3. 十字カーソルボタンで[META DATA]—[PROPERTY]—[USER CLIP NAME]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す



4. 十字カーソルボタンで[カウンタリセット]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す



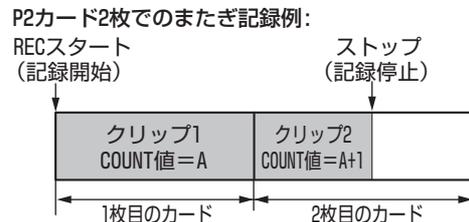
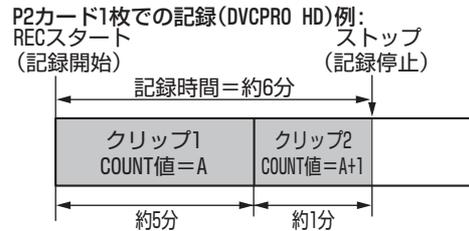
COUNT値が1にリセットされます。

5. MENUボタンまたはEXITボタンを押して、処理を終了する

### ■ 4GB超でのUSER CLIP NAMEのCOUNT値インクリメントについて

次の場合は、1ショットが複数のクリップとして記録され、COUNT値も自動的に1ずつ増加して記録されます。

- 本機で8 GB以上のP2カードを使用して、1回の連続記録時間が一定時間を超えると。  
→詳しくは、「4GB超でのクリップ分割について」(29ページ)を参照。
- 1回の記録がカードをまたいで記録されたとき。



なお、P2機器でクリップのサムネール表示およびプロパティ表示を行ったときは、クリップ1のサムネールおよびCOUNT値が表示されます。

## メタデータ設定値の読み込み

次の操作でSDメモリーカードからメタデータ設定値を読み込みます。

- 1 メタデータアップロードファイルを保存しているSDメモリーカードを本機に挿入する
- 2 サムネール画面を表示する
- 3 MENUボタンを押す
- 4 十字カーソルボタンで[META DATA]→[LOAD]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す



SDメモリーカード内のメタデータアップロードファイルのファイル名が表示されます。

### ◆NOTE:

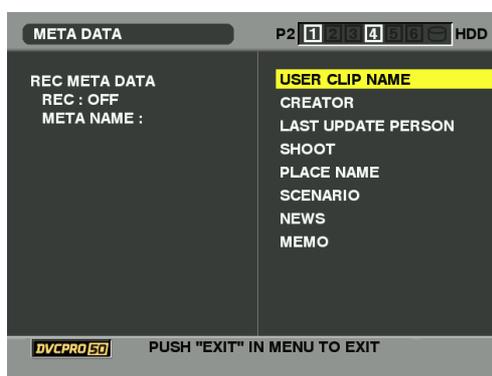
- ファイル名表示中に右カーソルボタンを押すとメタデータ名の表示に切り替えることができます。左カーソルボタンを押すとファイル名の表示に戻ります。

- 5 十字カーソルボタンで、読み込むファイルにカーソルを合わせて、SETボタンを押す
- 6 [YES]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す  
メタデータが読み込まれます。
- 7 MENUボタンを押して、処理を終了する

## 読み込んだメタデータの確認および修正

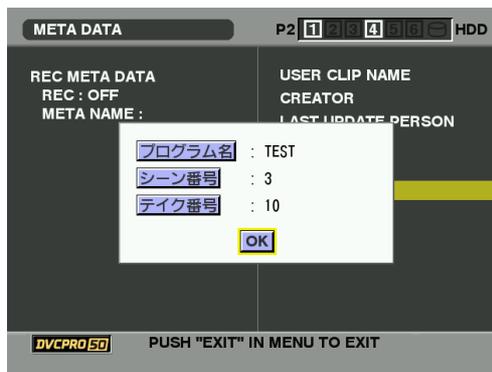
SDメモリーカードから読み込んだメタデータの内容を確認できます。

- 1 左記の手順で、SDメモリーカードからメタデータ設定値を読み込む
- 2 十字カーソルボタンで[META DATA]→[PROPERTY]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す  
下記のような画面が表示されます。



- 3 カーソルボタンでカーソルを動かし、SETボタンを押す

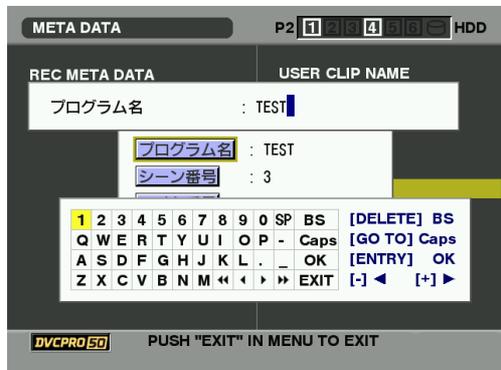
読み込んだメタデータの各設定内容が確認できます。



#### 4 メタデータの各設定内容を確認中に、カーソルボタンでカーソルを動かし、設定内容を変更したい項目に合わせてSETボタンを押す

ソフトキーボード画面が表示され、設定内容を変更することができます。

→「キーボードを利用する」(31ページ)を参照。



#### ◆NOTE:

〈設定できるメタデータの種類〉

- 十字カーソルボタンで確認したいメタデータの項目にカーソルを合わせ、SET ボタンを押すと、情報が表示されます。

USER CLIP	ユーザークリップ名
NAME:	
CREATOR:	作成者
LAST UPDATE	最終更新者
PERSON:	
SHOOT:	撮影者
PLACE NAME:	撮影地
SCENARIO:	プログラム名、シーン番号、テイク番号
NEWS:	レポーター、取材目的、取材対象
MEMO:	メモ入力者、テキスト情報

内容を確認できたら、EXITまたはSETボタンを押します。情報が表示されていた画面が消えます。

#### ◆NOTE:

- 別の項目の情報を確認するときは、手順 4 の操作を繰り返します。

#### 5 MENUボタンを押して、処理を終了する

### メタデータを削除する

次の操作で本機内部に保存されているメタデータを削除できます。

#### 1 サムネール画面を表示する

#### 2 MENUボタンを押す

#### 3 十字カーソルボタンで[META DATA]－[INITIALIZE]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す



#### 4 確認画面で [YES] にカーソルを合わせ、SET ボタンを押す

メタデータが削除されます。

#### 5 MENUボタンを押して、処理を終了する

### メタデータを付加したクリップの記録

クリップを記録するときに、読み込んだメタデータをクリップに付加します。

#### 1 サムネール画面を表示する

#### 2 MENUボタンを押す

#### 3 十字カーソルボタンで[META DATA]－[RECORD]にカーソルを合わせる



#### 4 [ON]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す

この設定により、読み込んだメタデータを映像記録時に同時に記録します。また、USER CLIP NAMEは設定した記録方法に従ってメタデータとして付加されます。

#### 5 MENUボタンを押して、設定を終了する

#### 6 本機で映像を記録する

#### ◆NOTE:

- 手順4で[OFF]に設定したときは、クリップにメタデータは付加されません。

# P2カードをフォーマットする

## 特定のP2カードをフォーマットする

- 1 サムネール画面を表示する
- 2 MENUボタンを押す
- 3 十字カーソルボタンで [OPERATION] – [FORMAT] – [SLOT n] (フォーマットしたいP2カードが挿入されたP2カードスロット番号) にカーソルを合わせ、SETボタンを押す



- 4 [YES]を選択しSETボタンを押す  
フォーマットが開始されます。

### ◆NOTE:

- フォーマットしないときは [NO] を選択し、SET ボタンを押します。

- 5 完了メッセージが表示されたら確認 (SET ボタン) を押す

### ◆NOTE:

- 続けて別のP2カードスロットのP2カードやSDメモリーカードをフォーマットするときは、操作手順3～5の操作を繰り返します。

- 6 MENUボタンを押して、処理を終了する

## 全てのP2カードをフォーマットする

- 1 サムネール画面を表示する
- 2 MENUボタンを押す
- 3 十字カーソルボタンで [OPERATION] – [FORMAT] – [ALL P2] にカーソルを合わせ、SETボタンを押す



- 4 [YES]を選択しSETボタンを押す  
フォーマットが開始されます。

### ◆NOTE:

- フォーマットしないときは [NO] を選択し、SET ボタンを押します。

- 5 完了メッセージが表示されたら確認 (SET ボタン) を押す

- 6 MENUボタンを押して、処理を終了する

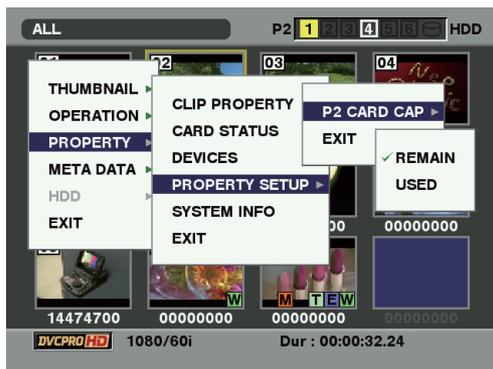
# カードの状態を確認する

P2カードスロットの状態やP2カードの使用状況など、カードの情報を画面に表示して確認できます。

## 表示する情報を指定する

P2カードの情報を表示するときに、残容量と使用済み容量のどちらを表示するかを設定します。

- 1 サムネール画面を表示する
- 2 MENUボタンを押す
- 3 十字カーソルボタンで[PROPERTY]－  
[PROPERTY SETUP]－[P2 CARD CAP]にカーソルを合わせる



- 4 十字カーソルボタンで設定したい項目にカーソルを合わせ、SETボタンを押す

※XXは工場出荷時の設定です。

REMAIN: 残容量表示

USED: 使用済み容量表示

- 5 MENUボタンを押して、処理を終了する

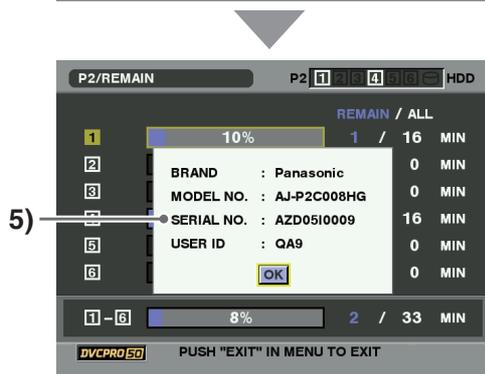
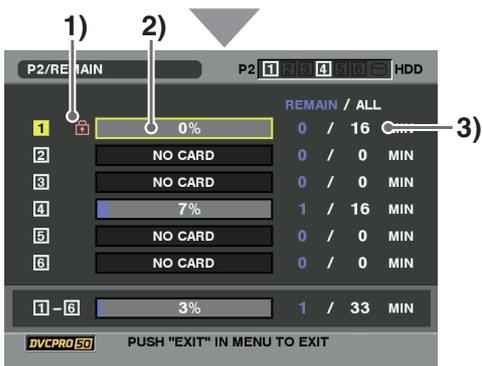
# カードの状態に関する情報を表示する

前ページの操作で表示する情報を設定した後、次の操作で各P2カードスロットのP2カードの状態を確認できます。

## 1 サムネール画面を表示する

## 2 MENUボタンを押す

## 3 十字カーソルボタンで [PROPERTY] - [CARD STATUS]にカーソルを合わせて、SETボタンを押す P2カードの状態が表示されます。



## 1)書き込み禁止マーク

P2カードに、ライトプロテクトがかかっているとき、マークが表示されます。

## 2)P2カード状態

記録残量表示のときは、P2カードの記録残量がメーターとパーセントで表示されます。

使用済み容量表示のときは、P2カードの使用容量がメーターとパーセントで表示されます。

また、カードの状態によって次のように表示されます。

FORMAT ERROR: フォーマットされていないP2カードが挿入されている。

NOT SUPPORTED: 本機に対応していないカードが挿入されている。

NO CARD: P2カードが挿入されていない。

## 3)P2カード残量(または使用容量)／総容量

P2カードの記録残量(または使用容量)／総容量が、分に換算して表示されます。分以下は切り捨て表示のため、P2カード毎の記録残量(または使用容量)の合計と総容量が一致しないことがあります。

## 4)スロット記録残量(または使用容量)合計

6つのP2カードスロットの記録残量(または使用容量)を総合した数値が表示されます。

### ◆NOTE:

- ライトプロテクトがかかっているP2カードの空き容量は、空き容量の合計に含まれません。

## 5)P2カード詳細表示

P2カード状態表示のスロットにカーソルを合わせてSETボタンを押すと、P2カードのモデル番号などの詳細情報が表示されます。

もう一度SETボタンまたはEXITボタンを押すと、詳細情報が消えます。

## 6)警告カードマーク

P2カードが以下の場合にこのマークが表示されます。

- 「RUN DOWN CARD」  
P2カードの規定の書き換え回数を超えた場合
- 「DIR ENTRY NG CARD」  
P2カードのディレクトリ配置が不正規の場合  
警告内容はP2カード詳細表示で確認することができます。

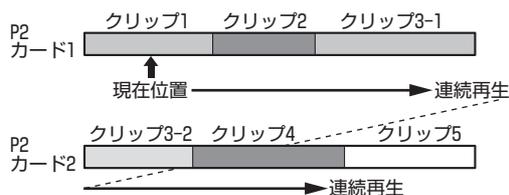
## 4 EXITボタンを押して、処理を終了する

# プレイリストの利用

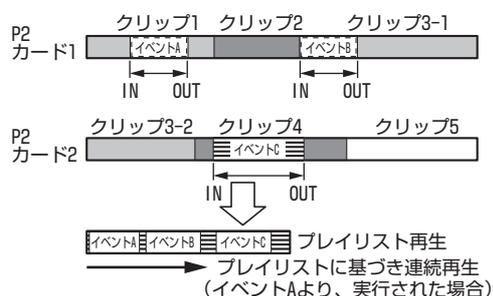
## プレイリスト機能について

プレイリスト機能とは、P2カードに記録されたクリップの再生したい部分を登録したリスト(プレイリスト)を作成し、そのリストの順番に従って連続再生する機能です。

通常の再生では、再生を開始した位置から最後のクリップまでが連続して再生されます。



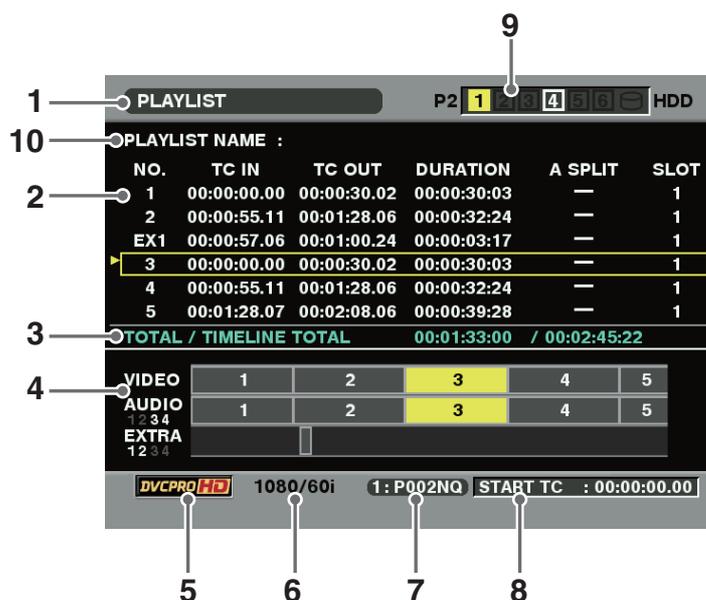
プレイリスト再生では、あらかじめ再生したい部分のIN点(開始位置)とOUT点(終了位置)を設定し、プレイリストを作成します。その後、プレイリスト再生を行うと、そのプレイリストに基づいて必要な部分だけを連続再生できます。



### ◆NOTE:

- プレイリスト機能は、プレイリスト画面(PLAY LISTボタンを押してボタンが点灯した状態)に切り替えて利用します。
- プレイリストは本機メモリーのプレイリスト領域に保存され、プレイリスト画面に切り替えるといつでも利用できます。また、必要に応じてプレイリストをP2カードに保存することができます。
- プレイリスト再生を行うためにプレイリスト画面の各行に設定された処理内容を、イベントと呼びます。
- プレイリスト再生は編集フォーマットとして設定されたフォーマットのみ、再生・登録が行えます。
- ノンリニア編集を行った24PNのクリップは、プレイリストに使用しないでください。編集点が正しく登録されない場合があります。
- AJ-HPM100で作成したプレイリストは、オーディオの上書き時にVol値を覚えることができ、本機で再生時にはその設定にしたがって再生を行います。

# プレイリスト画面各部の名称とはたらき



## 1. 表示状態

画面に表示されているイベント画面の種類が次のように表示されます。

PLAY LIST:	イベントのリスト
EVENT PROPERTY:	イベントの詳細情報
P2 / USED (REMAIN):	メディア情報 (使用量 / 残量)

## 2. プレイリスト

イベントが一覧表示されます。イベント数は最大100イベント(追加オーディオイベント数も最大100)です。

現在のカーソル位置は、黄色で囲まれて表示されます。選択されたイベントは、水色の文字で表示されます。

NO:	イベントの通し番号
TC IN:	IN点のタイムコード
TC OUT:	OUT点のタイムコード
DURATION:	イベントの長さ
A SPLIT:	オーディオ IN 点スプリットのスプリット量
SLOT:	イベントのクリップが入っているP2カードスロット番号

再生できないイベント以降はイベント番号が赤色で表示されます。

AJ-SPD850で作成されたプレイリストは読み込むことはできますが、編集はできません。そのときは、7. ファイル名が灰色で表示されます。

## 3. プレイリスト総合計時間

## 4. タイムライン表示

カーソル位置のイベントを中心としたイベントがタイムラインで表示されます。TRIM + / - ボタンで表示の拡大(右) / 縮小(左)ができます。

VIDEO:	ビデオのタイムライン
AUDIO	オーディオのタイムライン
1 2 3 4:	EXTRA オーディオ以外のチャンネル番号
EXTRA	EXTRAオーディオのタイムライン
1 2 3 4:	

## 5. 記録モード表示

## 6. システムフォーマット

→「サムネイル画面各部の名称とはたらき」(33ページ)を参照。

## 7. ファイル名

現在のプレイリストが保存されている、P2カードスロット番号およびファイル名が表示されます。

P2カードスロット番号:	ファイル名
P2カードスロット、 ファイル名とも白色:	正常
ファイル名が灰色:	読み込みはできるが、 編集はできないファイル。 編集するときは、一度P2カードに保存すると編集可能になります。
P2カードスロット番号が赤:	保存したファイルのカードが挿入されていないとき P2カード内に保存したファイルが存在しないとき

## 8. スタートTC

再生時にタイムコードを付け替えるときのスタートTC値が表示されます。

## 9. P2カードスロット番号

P2カードの状態が表示されます。

→「サムネイル画面各部の名称とはたらき」(33ページ)を参照。

## 10. PLAYLIST NAME

プレイリストに名称をつけることができ、それを表示します。

## ストップモードの設定

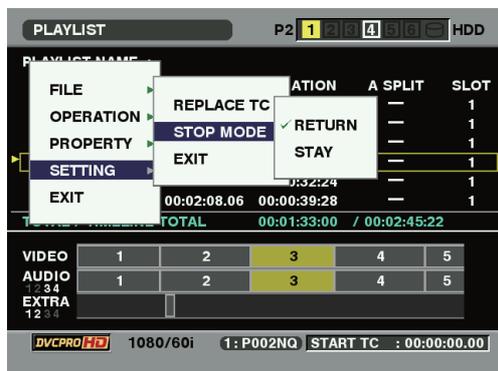
プレイリストの再生などの操作でSTOP  ボタンを押したときに、再生モードからプレイリストに戻るか戻らないかを設定できます。

操作の状況に合わせて、設定を変更してください。

### 1 プレイリスト画面を表示する

### 2 MENUボタンを押す

### 3 十字カーソルボタンで[SETTING] - [STOP MODE]にカーソルを合わせる



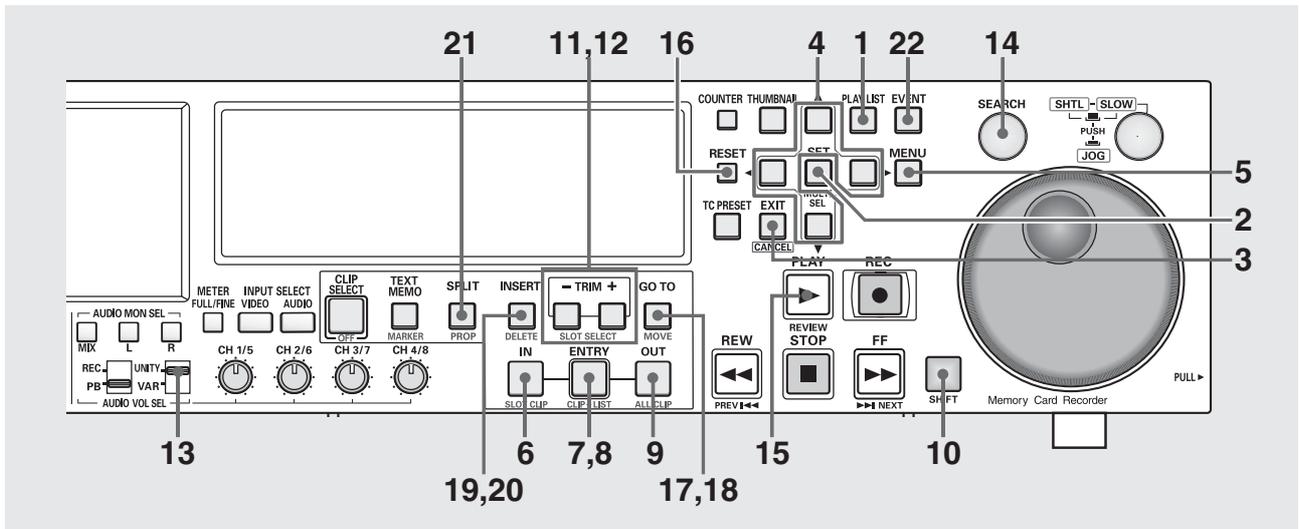
### 4 [RETURN]または[STAY]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す

RETURN: STOP  ボタンを押したとき(または全イベントの先頭、最後で自動停止したときなど)にプレイリスト画面に戻る。このときカーソル位置は停止操作を行ったときのイベントに移動する。

STAY: STOP  ボタンを押したとき(または全イベントの先頭、最後で自動停止したときなど)にもプレイリスト画面には戻らず、静止画出力が継続する。  
この設定時にイベントリストへ戻るには、PLAY LISTボタンまたはEXITボタンを押す。

### 5 MENUボタンを押して、設定を終了する

# プレイリストの操作で使用するボタンとその組み合わせ



## 1. PLAY LISTボタン

プレイリストモードに切り替えるボタンです。プレイリストモード中はこのボタンが点灯します。ストップモードやサムネール表示中にこのボタンを押すと、プレイリスト画面が表示されます。プレイリストモードを終えるときは、点灯中のこのボタンを押すとストップモードに戻り、ボタンは消灯します。USBモード中はプレイリストモードには切り替えられません。

## 2. SET / MULTI SELボタン

イベントの選択および複数選択に使用します。最初にSETボタンを押してイベントを選択した後、カーソルを移動して、SHIFTボタンを押しながらこのボタンを押すと、最初に選択したイベントからカーソル位置までの全イベントを一括して選択できます。

## 3. EXIT / CANCELボタン

- EXITボタン  
メニュー表示中のEXIT選択と同等の処理を行います。
- CANCELボタン  
イベントの選択の一括解除を行うときなどに、SHIFTボタンを押しながらEXITボタンを押します。

## 4. 十字カーソルボタン

プレイリスト表示中にこのボタンを押すと、プレイリストおよびタイムラインのポインター位置が移動します。SHIFTボタンを押しながら[▲] / [▼]ボタンを押すとEVENTの先頭/最終にポインターが移動します。

## 5. MENUボタン

MENUが表示されます。再度押すと元に戻ります。

## 6. INボタン

7.ENTRYボタン、12.TRIM + / -ボタン、16.RESETボタン、18.GO TOボタンの説明をご覧ください。

## 7. ENTRYボタン

**7[ENTRY]+6[IN] / 9[OUT]ボタン**  
プレイリストのイベントを作成するときに使用します。イベント登録モード(EVENTボタン点灯中)で、ENTRYボタンを押しながらIN / OUTボタンを押すと、ボタンを押した時点の位置がそれぞれイベントのIN点、OUT点として登録されます。また、イベントの新規登録時にOUT点を登録すると、自動的に次のイベントを登録できる状態になります(イベント自動インクリメント機能)。IN点を登録せずOUT点を先に登録したときは、そのクリップの先頭が自動的にIN点となります。

### 7[ENTRY]+21[SPLIT]ボタン

オーディオスプリットを行うときに使用します。イベント登録モード(EVENTボタン点灯中)でSPLITボタンを押しながらENTRYボタンを押すと、ボタンを押した時点の位置をイベントのオーディオスプリットのIN点として登録できます。

## 8. CLIP→LISTボタン

サムネール画面で選択したクリップをプレイリストに取り込むときに使用します。サムネール表示中にクリップを選択(複数選択も可)し、プレイリスト表示に切り替えて、SHIFTボタンを押しながらENTRYボタンを押すと、プレイリストのカーソル位置にクリップの先頭をIN点、最後をOUT点とするイベントが登録されます。

## 9. OUTボタン

7.ENTRYボタン、12.TRIM + / -ボタン、16.RESETボタン、18.GO TOボタンの説明をご覧ください。

## 10.SHIFTボタン

## 11.+ / -ボタン

プレイリスト表示中にこのボタンを押すと、タイムライン表示を拡大(+)/縮小(-)できます。

## 12.TRIM + / -ボタン

プレイリストのイベントを修正するときを使用します。プレイリストの修正したいイベントにカーソルを合わせ、IN / OUT / SPLITボタンを押しながらTRIM + / -ボタンを押すと、IN点、OUT点、スプリット点の色が変わり、IN点、OUT点、スプリット点を1フレームずつ増加(+)/減少(-)させることができます。その後ENTRYを押すと、元の色に戻り、変更が反映されます。

### ◆NOTE:

- 24PNのときは4フレーム単位で変更できます。

## 13.UNITY / VAR / チャンネル選択スイッチと

### オーディオ再生レベル調整ボリューム

オーディオの再生をするときに、再生信号のチャンネルの選択とレベルコントロールを行います。

## 14.SEARCHボタン

## 15.REVIEWボタン

カーソル位置のイベントのレビューを行うときに、SHIFTボタンを押しながらPLAYボタンを押します。IN点前(3秒)からOUT点後(1秒)が再生され、停止します。

## 16.RESETボタン

### 16[RESET]+6[IN] / 9[OUT] / 21[SPLIT]ボタン

イベント登録画面でIN / OUT / SPLITボタンを押しながらRESETボタンを押すと、それぞれ選択したイベントのIN点、OUT点、スプリット点を削除できます。

### 10[SHIFT]+16[RESET]ボタン

プレイリスト画面でSHIFTボタンを押しながらRESETボタンを押すと、新規プレイリストファイルを作成([FILE]-[NEW]と同じ操作)できます。

## 17.MOVEボタン

プレイリスト表示中に、イベントを別の行へ移動したいときに使用します。プレイリスト表示中に移動したいイベントをSETボタンにより選択します。その後、移動したい行へカーソルを移動し、このボタンを押すと、選択していたイベントをカーソル位置の1つ前へ移動することができます。

## 18.GO TOボタン

### 18[GO TO]+6[IN] / 9[OUT] / 21[SPLIT]ボタン

イベント登録モード(EVENTボタン点灯中)で、IN点、OUT点、スプリット点にシークするときに使用します。再生・静止などの再生動作中に、IN / OUT / SPLITボタンを押しながらGO TOボタンを押すと、IN点、OUT点、スプリット点に移動し、動作が継続されます。

## 19.DELETEボタン

プレイリスト表示中に、イベントを削除したいときに使用します。対象のイベントにカーソルを合わせてSETボタンを押して選択し、SHIFTボタンを押しながらINSERTボタンを押すと、選択したイベントを削除できます。

## 20.INSERTボタン

プレイリスト表示中に、新規にイベント行を追加したいときに使用します。プレイリスト中の挿入したい行にカーソルを合わせてこのボタンを押すと、その行にイベントを追加する画面に切り替わり、イベントを登録できます。

## 21.SPLITボタン

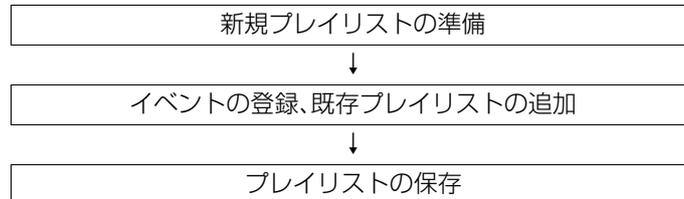
7.ENTRYボタン、12.TRIM + / -ボタン、16.RESETボタン/18.GO TOボタンの説明をご覧ください。

## 22.EVENTボタン

プレイリスト表示中に、このボタンを押すとイベント登録モードとなります。このとき画面は映像出力となります。

# プレイリストを作成する

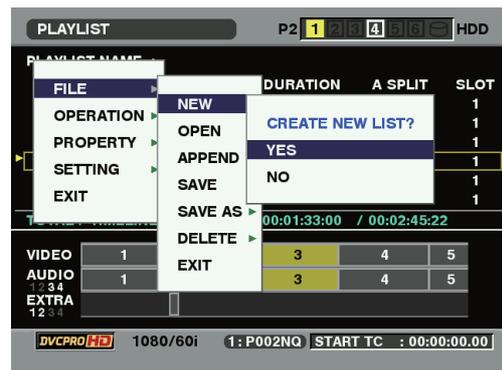
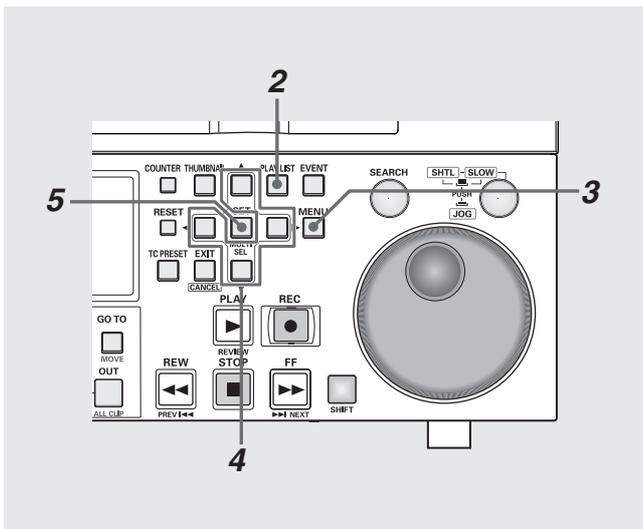
次の流れでプレイリストを作成します。  
プレイリストのトータル時間が、24時間以上のリストは作成できません。



## 新規プレイリストの準備

本機メモリーのプレイリスト領域に保存されているプレイリストを削除し、新しいプレイリストを準備します。

### 4 十字カーソルボタンで[FILE] - [NEW]にカーソルを合わせる



### 1 セットアップメニューで編集フォーマットを設定する

- 編集フォーマットを設定します。設定したフォーマットのみ再生できます。

#### ◆NOTE:

編集フォーマットは以下のセットアップメニューの設定内容により決まります。

- 020 SYS FORMAT (→「102 ページ」参照)
- 024 REC FMT (SD) (→「102 ページ」参照)
- 025 REC FMT (HD) (→「102 ページ」参照)
- 026 PLY LST FMT (→「102 ページ」参照)

### 2 プレイリスト画面を表示する

### 3 MENUボタンを押す

#### ◆NOTE:

SHIFTボタンを押しながらRESETボタンを押しても[FILE] - [NEW]と同等の操作ができます。

### 5 [YES]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す

表示中のプレイリストが削除され、何もイベントの設定されていない新しいプレイリストが表示されます。

#### ◆NOTE:

- セットアップメニューにて編集フォーマットを変更した後は、必ず[FILE] - [NEW]を行ってください。行わないと編集フォーマットが変更されません。

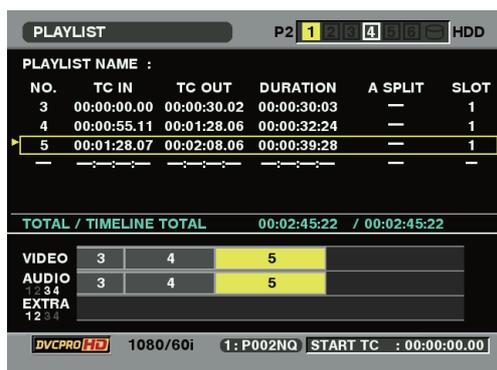
## 選択クリップのイベント登録

選択したクリップをプレイリストに追加します。この操作では、クリップの先頭をIN点、最後をOUT点とするイベントとして登録されます。

### 1 サムネイル画面でプレイリストに登録したいクリップを選択する



### 2 プレイリスト画面を表示する



### 3 十字カーソルボタンで、イベントを追加したい位置にカーソルを合わせる

### 4 MENUボタンを押す

### 5 十字カーソルボタンで [OPERATION] - [APPEND SELECTED CLIPS]にカーソルを合わせる



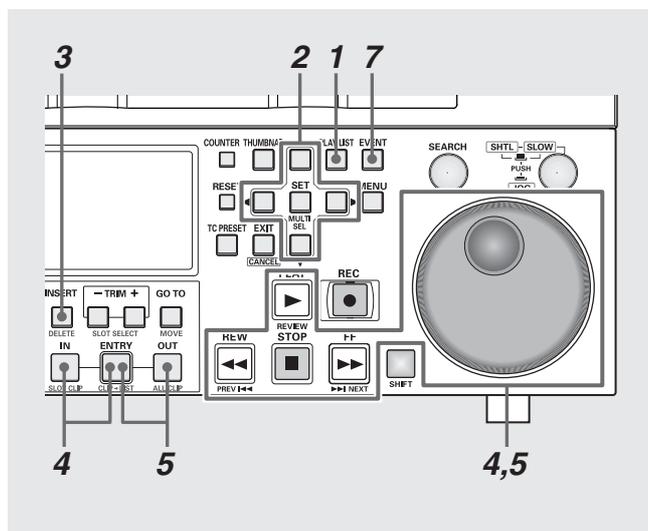
### 6 [YES]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す 選択したクリップの先頭をIN点、最後をOUT点とするイベントが登録されます。

#### ◆NOTE:

- 選択したクリップが現在のプレイリストのフォーマットと異なる場合はエラーが表示され登録できません。
- プレイリスト画面でSHIFTボタンを押しながらENTRYボタンを押しても、クリップをイベントとして追加できます。
- 追加した結果、イベント数が100を超えるときは、追加できません。

## 映像からのイベント登録

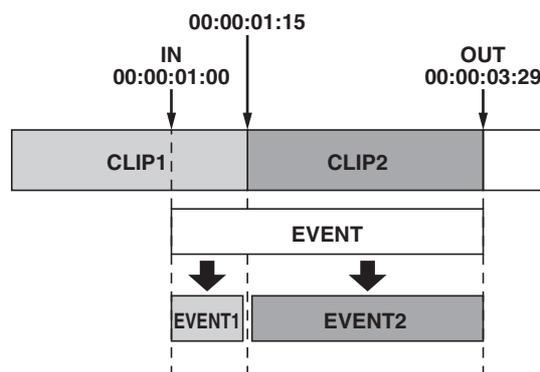
映像を再生しながらIN点とOUT点を指定して、イベントを登録できます。



## 7 EVENTボタンを押し、登録を終了する

### ◆NOTE:

- 各イベントのデュレーションが10フレーム以上になるように、IN点、OUT点を設定してください。短いイベントが続くと正しく再生できないことがあります。
- カーソル位置の次のイベントが未登録のときは、自動インクリメント機能でイベント番号が1ずつ増加します。
- 登録イベントが複数クリップにまたがっているときは、複数のイベントとして登録されます。



### 1 プレイリスト画面を表示する

### 2 十字カーソルボタンで、イベントを挿入したい位置もしくはイベントの登録されていない行にカーソルを合わせる

### 3 INSERTボタンを押す

イベント登録モードに切り替わります。

### 4 IN点を登録する

操作ボタン/サーチダイヤルを操作してイベントを開始したい位置を探し、INボタンを押しながらENTRYボタンを押します。

### 5 OUT点を登録する

操作ボタン/サーチダイヤルを操作してイベントを終了したい位置を探し、OUTボタンを押しながらENTRYボタンを押します。

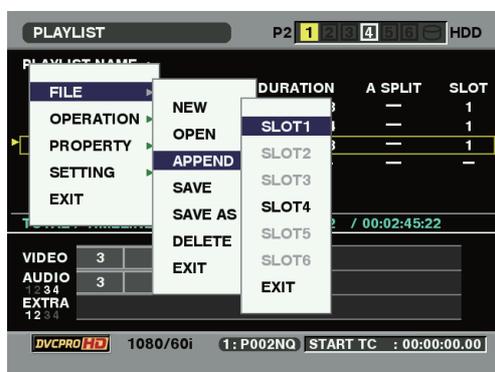
### 6 必要に応じて手順4～5を繰り返し、別のイベントを登録する

- 映像からのイベント登録中に本機の電源を切ると、登録した内容は反映されません。
- IN点とOUT点の位置が逆になったときは、クリップの先頭がIN点として登録されます。

## 既存のプレイリストファイルの追加取り込み

P2カードに保存しているプレイリストを取り込んで、カーソル位置にイベントを追加します。

- 1 プレイリスト画面を表示する
- 2 十字カーソルボタンで、イベントを挿入したい位置にカーソルを合わせる
- 3 MENUボタンを押す
- 4 十字カーソルボタンで [FILE] - [APPEND] にカーソルを合わせる



- 5 十字カーソルボタンで取り込み元のP2カードスロット番号にカーソルを合わせ、SETボタンを押す
- 6 ファイル取り込み画面でファイルを指定し、SETボタンを押す



指定したプレイリストのイベントがカーソル位置に追加されます。

### ◆NOTE:

- 取り込むプレイリストファイルのフォーマットが現在のプレイリストのフォーマットと異なるときは、取り込めません。
- イベント数が100を超えるとき、100を超えた分のイベントは取り込めません。
- ファイル取り込み画面で右カーソル(▶)ボタンを押すとプレイリスト名を表示します。その後左カーソル(◀)ボタンを押すとファイル名表示に戻ります。
- 追加記録されたオーディオデータ(他のP2機器で作成したもの)を現在のプレイリストに追加取り込みする場合は、あらかじめ現在のプレイリストをP2カードに保存しておく必要があります。

# プレイリストを保存する

## プレイリストに名称をつける

プレイリストに名称を付けることができます。

- 1 プレイリスト画面を表示する
- 2 MENUボタンを押す
- 3 十字カーソルボタンで[OPERATION]–[CHANGE PLAYLIST NAME]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す



- 4 ソフトキーボードから名前を入力しOKを押す



- 5 メニューを閉じPLAYLIST NAMEに入力した文字が登録される

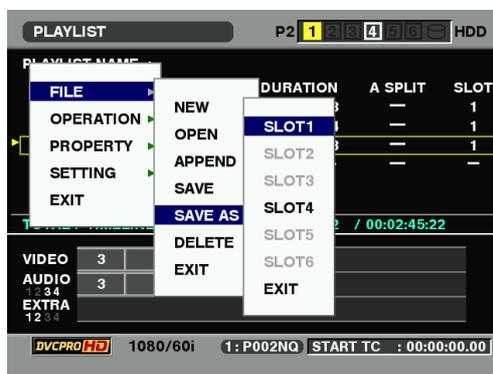
### ◆NOTE:

- [FILE]–[SAVE]あるいは[FILE]–[SAVE AS]メニューで保存しないと、名称はファイルには反映されません。

## プレイリストをP2カードに保存する

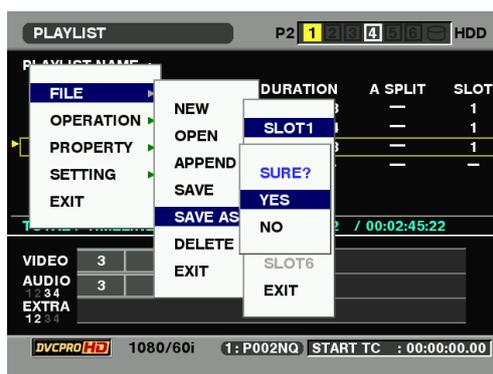
本機メモリーのプレイリスト領域に保存されているプレイリストを、次の操作でP2カードに保存できます。

- 1 プレイリスト画面を表示する
- 2 MENUボタンを押す
- 3 十字カーソルボタンで[FILE]–[SAVE AS]にカーソルを合わせる



- 4 十字カーソルボタンで保存先の P2 カードスロット番号にカーソルを合わせ、SETボタンを押す

- 5 [YES]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す



プレイリストが保存されます。

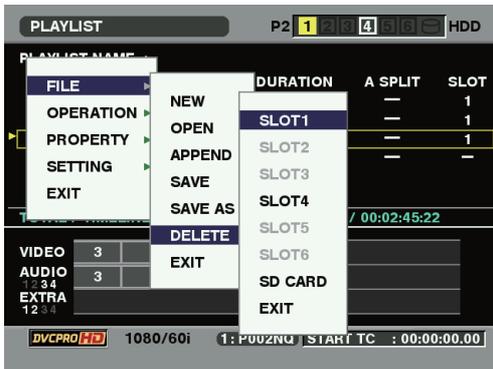
### ◆NOTE:

- ファイル名は自動で生成され、変更することはできません。パーソナルコンピューターなどで変更すると、読み込むことができなくなります。
- ファームウェアアップデート後のプレイリストファイルは古いバージョンや機器では読み込めません。また古いバージョンのプレイリストは本機器で読み取り後一度保存してから使用してください。読み込んだ状態では編集は行えません。

# プレイリストを削除する

P2カード内に保存されているプレイリストを、次の操作で削除できます。

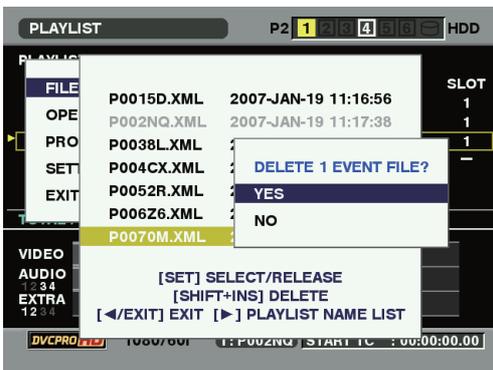
- 1 プレイリスト画面を表示する
- 2 MENUボタンを押す
- 3 十字カーソルボタンで [FILE] – [DELETE] にカーソルを合わせる
- 4 十字カーソルボタンで削除するプレイリストが格納されているP2カードスロット番号にカーソルを合わせ、SETボタンを押す



- 5 削除対象のプレイリストにカーソルを合わせ、SETボタンを押す

プレイリストが選択され、黄色で表示されます。  
必要に応じてこの操作を繰り返し、複数のプレイリストを選択します。

- 6 [SHIFT]+[INSERT]ボタンを同時に押し、[YES] にカーソルを合わせ、SETボタンを押す



プレイリストが削除されます。

# プレイリストを編集する

プレイリストにさまざまな編集を行うことができます。

## 既存のプレイリストファイルを開く

プレイリスト画面を表示すると、本機メモリーのプレイリスト領域のプレイリストが表示されます。

次の操作で、P2カードやSDメモリーカードに保存している既存のプレイリストを読み込んで、本機メモリーのプレイリスト領域のプレイリストと置き換えることができます。

### 1 プレイリスト画面を表示する

### 2 MENUボタンを押す

### 3 十字カーソルボタンで [FILE] - [OPEN] にカーソルを合わせる



### 4 十字カーソルボタンで取り込み元のP2カードスロット番号または[SD CARD]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す

### 5 ファイル取り込み画面で取り込むファイルにカーソルを合わせ、SETボタンを押す



### 6 確認画面で [YES] にカーソルを合わせ、SETボタンを押す



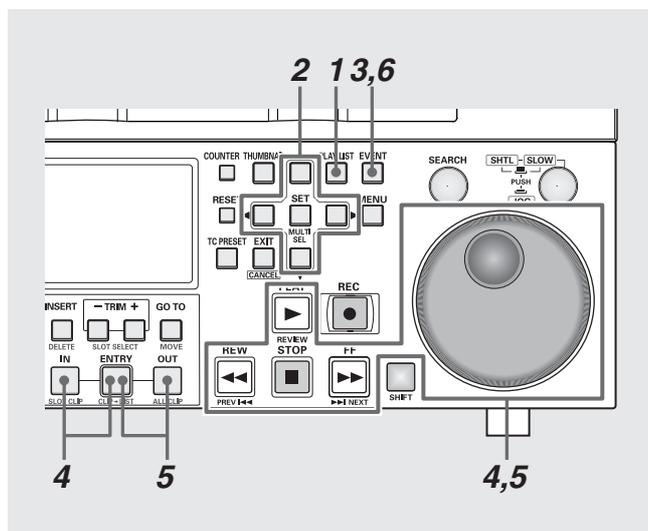
プレイリストが読み込まれます。

#### ◆NOTE:

- イベント数が 100 を超えるプレイリストファイルを開いたときは、100 を超えた分のイベントは取り込まず、プレイリストも読み取り専用となります。
- AJ-SPD850 で作成されたプレイリストファイルは本機では編集できないため、読み取り専用で開きます。編集するときには、一度保存をした後で行ってください。
- ファイル取り込み画面で右カーソル(▶)ボタンを押すとプレイリスト名を表示します。その後左カーソル(◀)ボタンを押すとファイル名表示に戻ります。

## イベントのIN点、OUT点の修正

映像を再生しながら、プレイリストのイベントのIN点、OUT点を修正できます。



### 1 プレイリスト画面を表示する

### 2 修正対象のイベントにカーソルを合わせる

### 3 EVENTボタンを押す

イベント修正モードに切り替わります。

### 4 IN点を再登録する

操作ボタン/サーチダイヤルを操作してイベントを開始したい位置を探し、INボタンを押しながらENTRYボタンを押します。

### 5 OUT点を再登録する

操作ボタン/サーチダイヤルを操作してイベントを終了したい位置を探し、OUTボタンを押しながらENTRYボタンを押します。

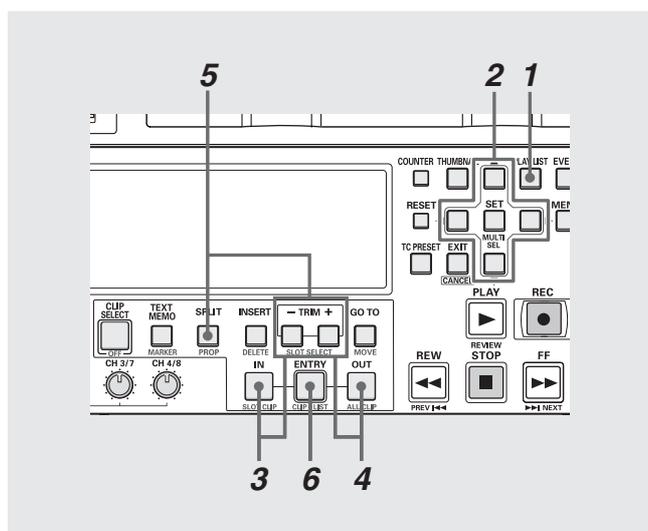
### 6 EVENTボタンを押し、修正を終了する

#### ◆NOTE:

- 操作手順4と5は、必要に応じて一方だけを行ってもかまいません。
- 修正したIN点が、登録済みのOUT点よりも後になるときは、既存のOUT点はリセットされます。そのままプレイリスト画面に戻ると、OUT点はそのクリップの最後に自動登録されます。
- 修正したOUT点が、登録済みのIN点よりも前になるときは、プレイリスト画面へ戻ると、IN点はそのクリップの先頭に自動修正されて登録されます。
- オーディオが追加記録(ボイスオーバー)されたイベントは修正できません。ボイスオーバーを削除してからイベントを修正してください。
- 映像からのイベント登録中に本機の電源を切ると、登録した内容は反映されません。

## イベントのトリミング修正

イベントのIN点、OUT点をフレーム単位(24PNのときは4フレーム単位)で修正できます。



### 1 プレイリスト画面を表示する

### 2 修正対象のイベントにカーソルを合わせる

### 3 IN点を修正する

INボタンを押しながらTRIM+またはTRIM-ボタンを押します。IN点が1フレーム単位(24PNのときは4フレーム単位)で増減します。  
修正後、ENTRYボタンを押すと確定します。

### 4 OUT点を修正する

OUTボタンを押しながらTRIM+またはTRIM-ボタンを押します。OUT点が1フレーム(24PNのときは4フレーム)単位で増減します。  
修正後、ENTRYボタンを押すと確定します。

### 5 スプリット点を修正する

SPLITボタンを押しながらTRIM+またはTRIM-ボタンを押します。スプリット点が1フレーム(24PNのときは4フレーム)単位で増減します。  
修正後、ENTRYボタンを押すと確定します。

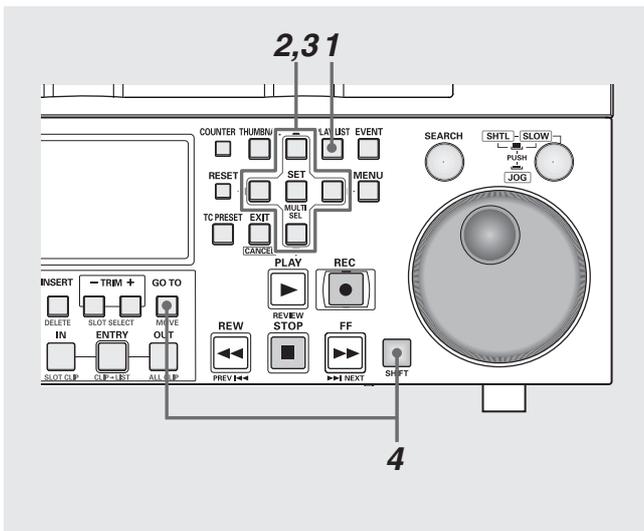
◆NOTE:

- 次のボタンを押しても変更を確定できます。
  - ・カーソルボタンを押す
  - ・SETボタンを押す
- 次のいずれかの操作を行うと、変更内容を破棄してプレイリスト画面に戻ります。
  - ・EXITボタンを押す
  - ・SHIFTボタンを押しながらEXITボタンを押す
  - ・PLAY LISTボタンを押す

- クリップの先頭と最後を越えて修正することはできません。
- IN点、OUT点が逆転するような修正はできません。
- EXTRAトラックのあるイベントは修正できません。EXTRAトラックを削除してからイベントを修正してください。
- イベント登録画面でも IN/OUT/SPRIT ボタンを押してタイムコードを表示中に TRIM +/- を押すことでトリミングが行えます。

## イベントの順序の変更

プレイリストのイベントを移動して、順序を変更できます。



◆NOTE:

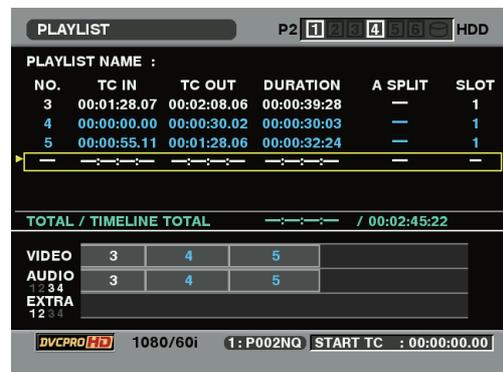
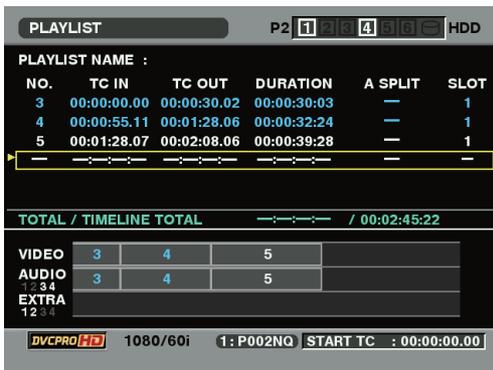
- 連続した行をすばやく選択するには  
SHIFT ボタンを押しながらSET ボタンを押す (MULTI SEL) と、前回SET ボタンを押して選択したイベントからMULTI SEL ボタンを押したカーソル位置までの全イベントを選択することができます。
- 選択を解除するには  
選択状態のイベントにカーソルを合わせて、SET ボタンを押すとその行の選択が解除されます。
- 選択を全解除するには  
SHIFT ボタンを押しながらEXIT ボタンを押す (CANCEL) と、すべての行の選択状態が解除されます。

**3** 十字カーソルボタンで、移動先の位置にカーソルを合わせる

**4** SHIFTボタンを押しながらGO TOボタンを押す

**1** プレイリスト画面を表示する

**2** 移動対象のイベントにカーソルを合わせ、SET ボタンを押す



選択したイベントがカーソル位置の1つ前へ移動し、カーソル位置以下のイベントは下に移動します。

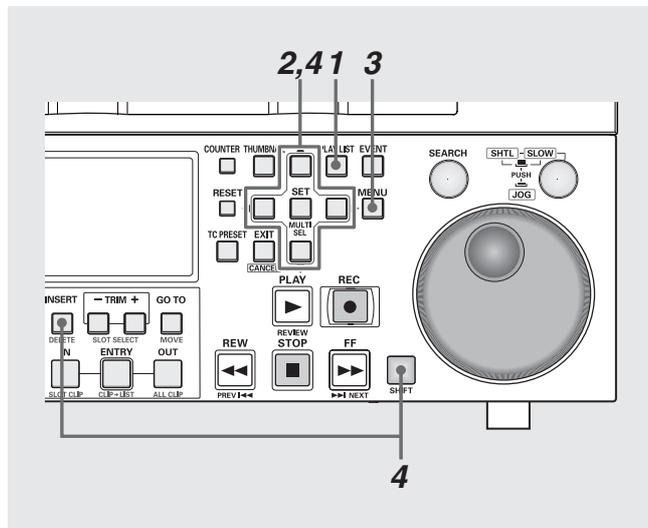
◆NOTE:

- EXTRAトラックのあるイベントのみを移動することはできません。EXTRAトラックとまとめて移動してください。

イベントが選択され、水色で表示されます。必要に応じてこの操作を繰り返し、複数のイベントを選択します。

## イベントの削除

プレイリストから次の操作でイベントを削除できます。



### 1 プレイリスト画面を表示する

### 2 削除対象のイベントにカーソルを合わせ、SETボタンを押す

NO.	TC IN	TC OUT	DURATION	A SPLIT	SLOT
1	00:00:00.00	00:00:30.02	00:00:30:03	—	1
2	00:00:55.11	00:01:28.06	00:00:32:24	—	1
EX1	00:00:57.06	00:01:00.24	00:00:03:17	—	1
3	00:00:00.00	00:00:30.02	00:00:30:03	—	1
4	00:00:55.11	00:01:28.06	00:00:32:24	—	1
5	00:01:28.07	00:02:08.06	00:00:39:28	—	1

TOTAL / TIMELINE TOTAL 00:01:33:00 / 00:02:45:22

VIDEO	1	2	3	4	5
AUDIO	1	2	3	4	5
EXTRA	1	2	3	4	5

DVCPRO 1080/60i 1: P002NQ START TC : 00:00:00.00

イベントが選択され、水色で表示されます。

必要に応じてこの操作を繰り返し、複数のイベントを選択します。

#### ◆NOTE:

- 連続した行をすばやく選択するには  
SHIFTボタンを押しながらSETボタンを押す(MULTI SEL)と、前回SETボタンを押して選択したイベントから、MULTI SELボタンを押したカーソル位置までの全イベントを選択することができます。
- 選択を解除するには  
選択状態のイベントにカーソルを合わせて、SETボタンを押すとその行の選択が解除されます。
- 選択を全解除するには  
SHIFTボタンを押しながらEXITボタンを押す(CANCEL)と、すべての行の選択状態が解除されます。

### 3 MENUボタンを押す

### 4 十字カーソルボタンで、[OPERATION] - [DELETE SELECTED EVENT]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す

### 5 削除の確認画面で [YES] にカーソルを合わせ、SETボタンを押す



選択したイベントが削除されます。

#### ◆NOTE:

- 手順3でSHIFTボタンを押しながらINSERTボタンを押しても(DELETE)、選択イベントの削除ができません。
- EXTRAトラックのあるイベントのみを削除することはできません。EXTRAトラックを削除してから削除、もしくはまとめて削除してください。

## 全イベントをまとめて削除するには

オペレーションメニューからイベントを一括削除できます。

- 1 プレイリスト画面を表示する
- 2 MENUボタンを押す
- 3 十字カーソルボタンで [OPERATION] – [DELETE ALL EVENT]にカーソルを合わせる



- 4 SETボタンを押す

- 5 削除の確認画面で [YES] にカーソルを合わせ、SETボタンを押す

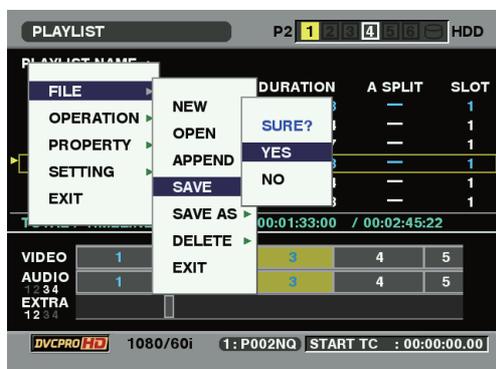
プレイリストのイベントがすべて削除されます。

## イベントの上書き保存

プレイリストファイルを読み込んで編集しているときや、編集集中にすでに[FILE]–[SAVE AS]で保存を行っているときは、次の操作で上書き保存できます。

一度も保存していないときは、SAVE ASで保存を行ってください。

- 1 プレイリスト画面を表示する
- 2 MENUボタンを押す
- 3 十字カーソルボタンで[FILE]–[SAVE]にカーソルを合わせる



- 4 SETボタンを押す

- 5 確認画面で [YES] にカーソルを合わせ、SETボタンを押す

プレイリストが上書き保存されます。

# オーディオスプリットを設定する

プレイリストにおいてビデオのIN点を基準とし、オーディオのIN点をずらす(オーディオのIN点スプリット)ことができます。このとき、オーディオのチャンネルを指定することはできません。全チャンネルをまとめてずらすのみとなります。

プレイリストの例1

新規スプリットイベント **6**  
オーディオ先行 **6**

6/A-

NO.	TC IN	TC OUT	DURATION	A SPLIT	SLOT
3	00:00:00.00	00:00:30.02	00:00:30:03	—	1
4	00:01:14.26	00:01:28.06	00:00:13:11	-00:00:02:10	4
5	00:00:55.11	00:01:28.06	00:00:32:24	—	1
6	00:01:28.07	00:02:08.06	00:00:39:28	—	1

TOTAL / TIMELINE TOTAL 00:01:46:11 / 00:02:59:03

VIDEO	3	4	5	6
AUDIO	3	4	5	6
EXTRA	12	34		

DVCPRO HD 1080/60i 1: P002NQ START TC : 00:00:00.00

プレイリストの例2

新規スプリットイベント **6**  
オーディオ遅延 **6**

6/A+

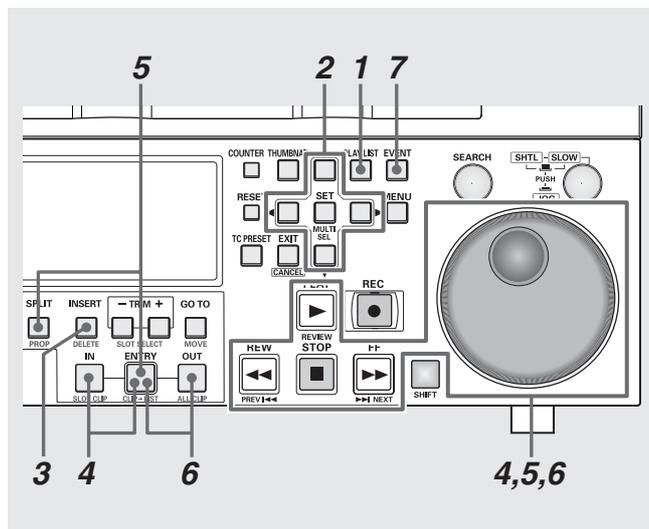
無音となります

## 映像からの登録

オーディオスプリットを設定したイベントを新規に登録するときは、次のように操作します。

### ◆NOTE:

- すでに登録しているイベントにオーディオスプリットを追加するときは、「オーディオスプリット点の追加登録」の方法で行います。



### 1 プレイリスト画面を表示する

### 2 十字カーソルボタンで、イベントを挿入したい位置にカーソルを合わせる

### 3 INSERTボタンを押す

イベント登録モードに切り替わります。

### 4 IN点を登録する

操作ボタン/サーチダイヤルを操作してイベントを開始したい位置を探し、INボタンを押しながらENTRYボタンを押します。

### 5 オーディオのスプリット点を登録する

操作ボタン/サーチダイヤルを操作してオーディオのスプリット点にしたい位置を探し、SPLITボタンを押しながらENTRYボタンを押します。

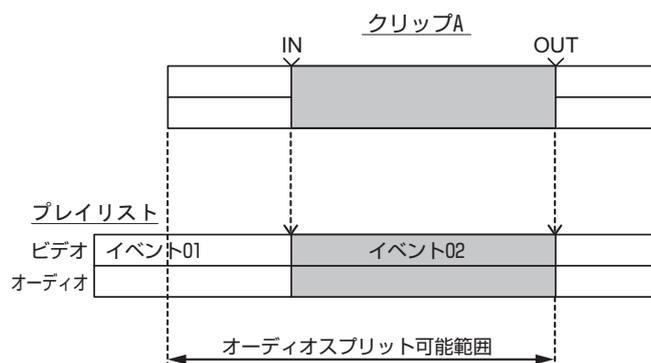
### 6 OUT点を登録する

操作ボタン/サーチダイヤルを操作してイベントを終了したい位置を探し、OUTボタンを押しながらENTRYボタンを押します。

## 7 EVENTボタンを押し、登録を終了する

### ◆NOTE:

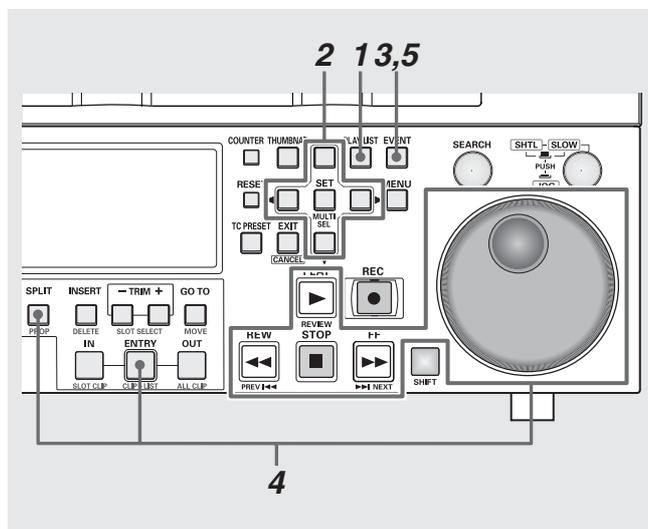
- スプリット表示で、-は前方向、+は後ろ方向にずれていることを表します。
- スプリットの登録範囲は、元のクリップの先頭からイベントのOUT点までとなります。



- IN点はスプリット点より先に決めてください。
- クリップの先頭がIN点のイベントは、オーディオ先行のスプリットはできません。
- INSERTボタンによるイベントの新規登録のとき、あるいは最後のイベントへのEVENTボタン押しによるイベント登録のときは、OUT点を登録すると次のイベントの登録へ移るため、スプリット点はOUT点より先に登録してください。

## オーディオスプリット点の追加登録（登録点修正）

プレイリストに登録されているイベントにオーディオスプリットの設定の追加や、オーディオスプリット点の修正を行うことができます。



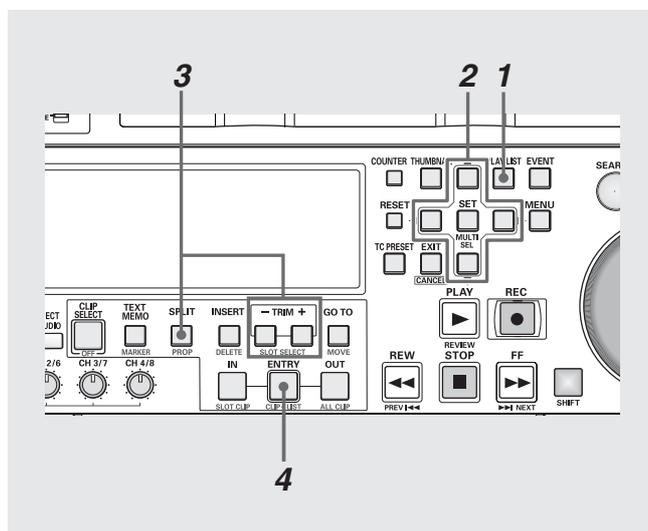
- 1 プレイリスト画面を表示する
- 2 十字カーソルボタンで、オーディオのスプリット点を追加(または修正)したいイベントにカーソルを合わせる
- 3 EVENTボタンを押す  
イベント修正モードに切り替わります。
- 4 オーディオのスプリット点を登録する  
操作ボタン/サーチダイヤルを操作してオーディオのスプリット点にしたい位置を探し、SPLITボタンを押しながらENTRYボタンを押します。
- 5 EVENTボタンを押し、登録を終了する

### ◆NOTE:

- 手順4の前にIN点の変更操作を行ったり、手順4の後でOUT点の変更操作を行っても追加できます。

## オーディオスプリット点のトリミング

オーディオスプリット点をフレーム単位(24PNのときは4フレーム単位)で修正できます。



- 3 オーディオのスプリット点を修正する

PLAYLIST					
PLAYLIST NAME :					
NO.	TC IN	TC OUT	DURATION	A SPLIT	SLOT
3	00:00:00.00	00:00:30.02	00:00:30:03	—	1
4	00:01:14.26	00:01:28.06	00:00:13:11	-00:00:02:10	4
5	00:00:55.11	00:01:28.06	00:00:32:24	—	1
6	00:01:28.07	00:02:08.06	00:00:39:28	—	1
TOTAL / TIMELINE TOTAL			00:01:46:11 / 00:02:59:03		
VIDEO					
2	3	4	5	6	
AUDIO					
2	3	4	5	6	
EXTRA					
12	34				

SPLITボタンを押しながらTRIM+ボタンまたはTRIM-ボタンを押します。IN点が1フレーム単位(24PNのときは4フレーム単位)で増減します。

### ◆NOTE:

- トリミング中は、プレイリスト画面のイベントリスト表示でスプリット部分が黄色地に黒色の数字で表示されます。

- 1 プレイリスト画面を表示する
- 2 十字カーソルボタンで、オーディオのスプリット点を修正したいイベントにカーソルを合わせる

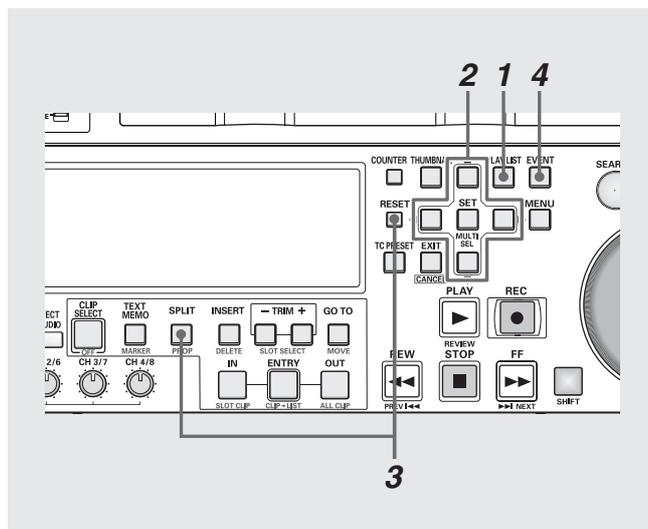
- 4 ENTRYボタンを押し、修正を確定する

### ◆NOTE:

- 元のクリップの記録開始点を超えてのトリミングはできません。
- イベント登録/修正画面でもIN/OUT/SPLITボタンを押してタイムコードを表示中にTRIM+/-を押すことでトリミングが行えます。

## オーディオスプリット設定の解除

オーディオスプリットの設定を、次の操作で解除できます。



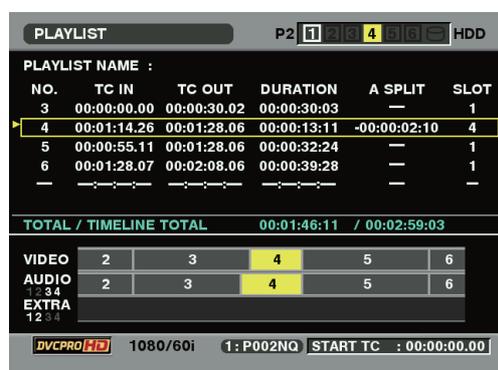
**3** SPLITボタンを押しながらRESETボタンを押す  
オーディオスプリットの設定が解除されます。

◆NOTE:

- スプリット設定の解除は、プレイリスト画面とイベント登録モードのどちらでも行うことができます。
- イベントの IN 点を削除、または異なるクリップへ移動したときにも、オーディオスプリットが解除されます。

**1** プレイリスト画面を表示する

**2** 十字カーソルボタンで、オーディオスプリット設定を解除したいイベントにカーソルを合わせる



# 追加記録されたオーディオを編集する

他のP2機器で追加記録された音声を優先して再生できます。

## 追加記録されたオーディオのイベント表示について

追加記録されたオーディオは、プレイリスト画面では、次のように表示されます。

1) →

PLAYLIST					
PLAYLIST NAME :					
NO.	TC IN	TC OUT	DURATION	A SPLIT	SLOT
1	00:00:00.00	00:00:30.02	00:00:30:03	—	1
2	00:00:55.11	00:01:28.06	00:00:32:24	—	1
EX1	00:00:57.06	00:01:00.24	00:00:03:17	—	1
3	00:00:00.00	00:00:30.02	00:00:30:03	—	1
4	00:00:55.11	00:01:28.06	00:00:32:24	—	1
5	00:01:28.07	00:02:08.06	00:00:39:28	—	1
TOTAL / TIMELINE TOTAL / 00:02:45:22					

2) →

VIDEO	1	2
AUDIO	1	2
EXTRA		EX1

DVCPRO 1080/60i 1: P002NQ START TC : 00:00:00.00

### ◆NOTE:

- イベント情報表示中に、十字カーソルボタンで前後のイベント表示へ移動することができます。

### 1) プレイリスト部

- オーディオの記録開始点のあるイベントの次の行に追加されます。
- NO.には、イベント番号ではなく「EX\*」が表示されます。
- SLOTには、オーディオデータを記録したP2カードスロット番号(プレイリストを保存したP2カードスロットと同じ)が表示されます。

### 2) タイムライン部

- 拡張トラックとしてEXTRA部に表示されます。
- 記録したチャンネル番号を合わせて表示します。

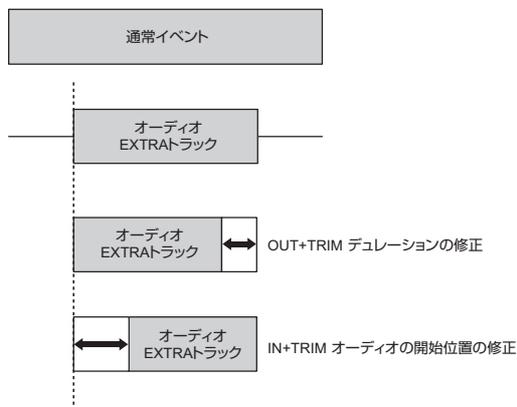
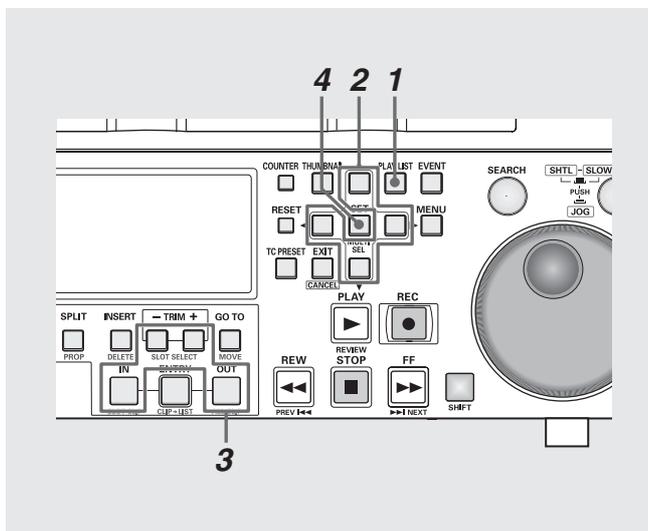
### ◆NOTE:

- TRIMボタンで拡大(+)/縮小(-)表示ができます。
- 追加したオーディオの記録されたカードが挿入されていないとき(NONE表示)、プレイリストファイルの保存、そのEXTRAオーディオイベントの削除はできません。

# オーディオの記録位置のトリミング修正

追加記録されたオーディオの記録位置を1フレーム単位 (24PNのときは4フレーム単位) で調整できます。

## 3 次の操作でオフセットとデュレーションを修正する



### 1 プレイリスト画面を表示する

### 2 修正対象のイベントにカーソルを合わせる

PLAYLIST					
P2 1 2 3 4 5 6 HDD					
PLAYLIST NAME :					
NO.	TC IN	TC OUT	DURATION	A SPLIT	SLOT
1	00:00:00.00	00:00:30.02	00:00:30:03	—	1
2	00:00:55.11	00:01:28.06	00:00:32:24	—	1
EX1	00:00:57.06	00:01:00.24	00:00:03:17	—	1
3	00:00:00.00	00:00:30.02	00:00:30:03	—	1
4	00:00:55.11	00:01:28.06	00:00:32:24	—	1
5	00:01:28.07	00:02:08.06	00:00:39:28	—	1
TOTAL / TIMELINE TOTAL			/ 00:02:45:22		
VIDEO	1	2			
AUDIO	1	2			
EXTRA	12 3 4	EX1			
DVCPRO 1080/60i 1: P002NQ START TC : 00:00:00.00					

開始位置の修正: INボタンを押しながらTRIM+ボタンまたはTRIM-ボタンを押します。IN点が1フレーム(24PNのときは4フレーム)単位で増減します。

終了位置の修正: OUTボタンを押しながらTRIM+ボタンまたはTRIM-ボタンを押します。OUT点が1フレーム(24PNのときは4フレーム)単位で増減します。

### 4 ENTRYボタンを押し、修正を確定する

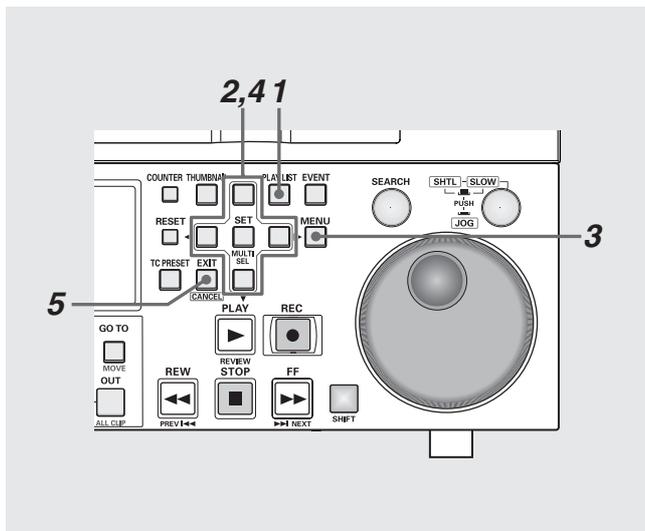
#### ◆NOTE:

- ENTRYボタン以外に、SETボタンや十字カーソルボタンでカーソルを移動させても修正は確定します。

# イベントの情報を表示する

## イベントのプロパティの表示

イベントの各種情報を表示して、内容を確認できます。



イベントの情報が表示されます。

### ◆NOTE:

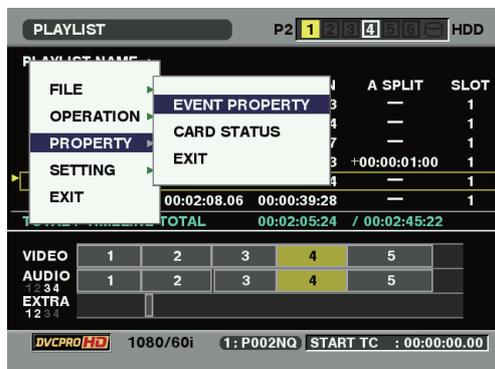
- イベント情報画面は、手順2のときにSHIFTボタンを押しながらSPLITボタンを押しても表示されます。
- イベント情報表示中に、十字カーソルボタンで前後のイベント表示へ移動することができます。

### 1 プレイリスト画面を表示する

### 2 十字カーソルボタンで、情報を表示するイベントにカーソルを合わせる

### 3 MENUボタンを押す

### 4 十字カーソルボタンで[PROPERTY]→[EVENT PROPERTY]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す



### 1) イベントの情報

- イベント番号
- IN点、OUT点のサムネールとタイムコード値
- TOTAL(1番イベント先頭から現在のイベントの最後までまでの長さ)
- DURATION(イベント長)
- A SPLIT(オーディオスプリット長)
- TRACK(トラック状態: AV=オーディオとビデオ / CH\* =CH\*オーディオのみ)

### 2) イベントの元クリップ情報

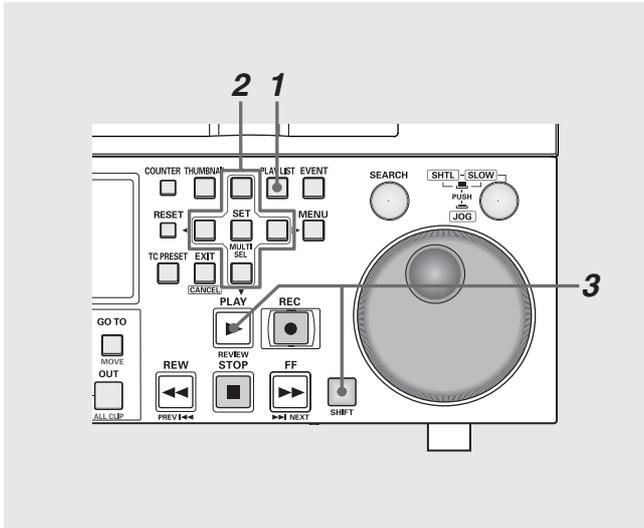
- クリップの番号(サムネール表示時の番号と同じ)
- クリップのサムネール
- 各種インジケータとライトプロテクト状態
- CLIP NAME(クリップ名)
- START TC(タイムコード開始値)
- START UB(ユーザーズビット開始値)
- DATE(記録日付)
- TIME(記録時間)

### 3) タイムライン

### 5 EXITボタンを押して、情報の表示を終了する

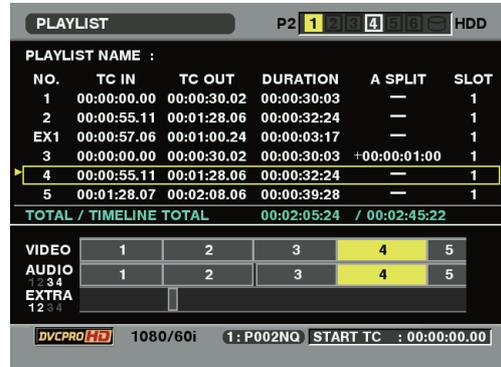
# イベントのレビュー

イベントのIN点とOUT点の間を再生し、内容を確認できます。



## 1 プレイリスト画面を表示する

## 2 十字カーソルボタンで、レビューしたいイベントにカーソルを合わせる



## 3 SHIFTボタンを押しながらPLAY▶ボタンを押す

IN点前(プリロール時間は3秒)からOUT点後(ポストロール時間は1秒)の間が再生されます。

### ◆NOTE:

- 先頭および最後のクリップでは、それぞれプリロール時間、ポストロール時間は0秒となります。
- レビュー終了あるいは STOP ■ ボタンを押したときは再生が停止し、プレイリスト画面に戻ります。  
レビュー中、STOP ■ ボタン以外は無効になります。
- レビュー実行中に、再度レビューを行うこともできます。
- セットアップメニューNo.160 REPEAT PLAYがONの場合は、STOPボタンが押されるまでレビュー動作を繰り返します。  
(105 ページを参照)

# プレイリストを再生する

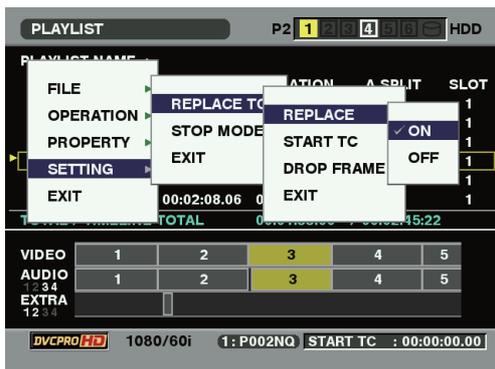
## 再生時のタイムコード (TC) の設定

プレイリスト再生時に、タイムコードを連続した値に付け替えて出力するのか、各クリップのタイムコードをそのまま出力するのかを切り替えることができます。タイムコードを付け替えて出力するとき、タイムコードの開始値を設定することもできます。

### 1 プレイリスト画面を表示する

### 2 MENUボタンを押す

### 3 十字カーソルボタンで[SETTING]→[REPLACE TC]→[REPLACE]にカーソルを合わせる



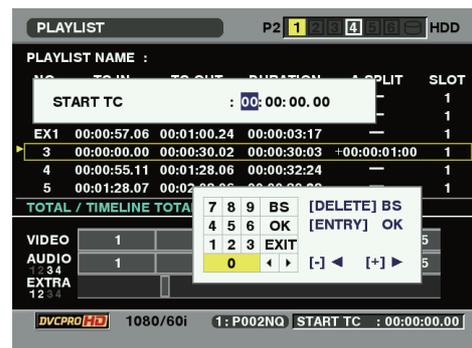
### 4 [ON]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す

この設定により、再生時にタイムコードの付け替えが行われます。

#### ◆NOTE:

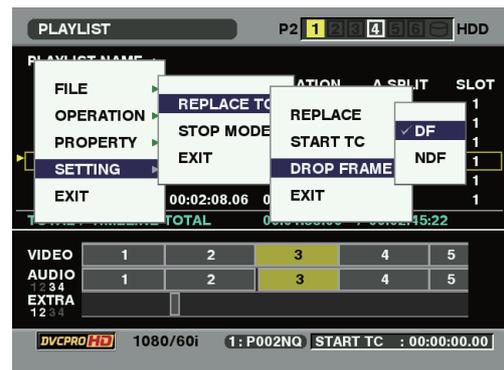
- [OFF] にすると、付け替えは行われず、各クリップのタイムコードがそのまま出力されます。
- [OFF]に設定したときは、手順7に進んで、設定を終了します。

### 5 十字カーソルボタンで[SETTING]→[REPLACE TC]→[START TC]にカーソルを合わせてSETボタンを押し、タイムコードの開始値を入力する



付け替えるタイムコードの開始値の初期値は00:00:00:00です。

### 6 十字カーソルボタンで[SETTING]→[REPLACE TC]→[DROP FRAME]にカーソルを合わせてSETボタンを押し、[DF](ドロップフレーム)または[NDF](ノンドロップフレーム)を設定する



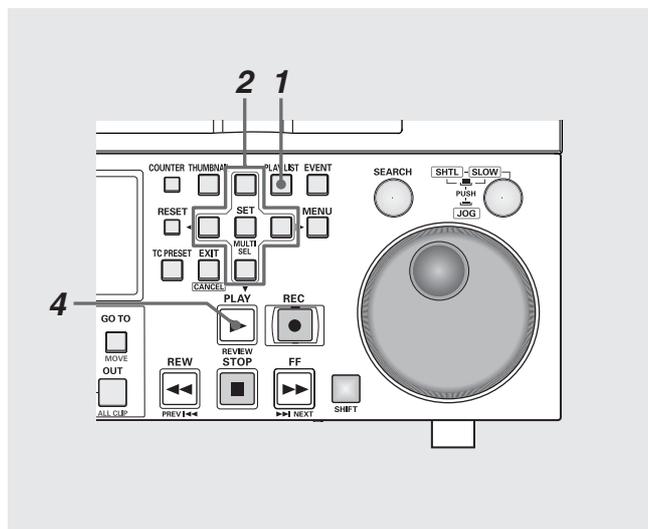
#### ◆NOTE:

- 24PNのときは、[DF]の設定はできません。

### 7 MENUボタンを押して、設定を終了する

## プレイリストの再生

次の操作でプレイリストを再生できます。



### 1 プレイリスト画面を表示する

### 2 十字カーソルボタンで、再生を開始したいイベントにカーソルを合わせる

PLAYLIST						P2 1 2 3 4 5 HDD	
PLAYLIST NAME :							
NO.	TC IN	TC OUT	DURATION	A SPLIT	SLOT		
1	00:00:00.00	00:00:30.02	00:00:30:03	—	1		
2	00:00:55.11	00:01:28.06	00:00:32:24	—	1		
EX1	00:00:57.06	00:01:00.24	00:00:03:17	—	1		
3	00:00:00.00	00:00:30.02	00:00:30:03	+00:00:01:00	1		
4	00:00:55.11	00:01:28.06	00:00:32:24	—	1		
5	00:01:28.07	00:02:08.06	00:00:39:28	—	1		
TOTAL / TIMELINE TOTAL			00:02:05:24	/	00:02:45:22		
VIDEO	1	2	3	4	5		
AUDIO	1	2	3	4	5		
EXTRA	1	2	3	4	5		
DVCPRO 1080/60i 1: P002NQ START TC : 00:00:00.00							

### 3 必要に応じて再生時のタイムコードの設定を行う

→「再生時のタイムコード(TC)の設定」(80ページ)を参照。

### 4 PLAY ボタンを押す

カーソル位置からプレイリストの最後、あるいは再生可能なイベントまでを連続再生します。

#### ◆NOTE:

- プレイリストの再生を行うときは、プレイリストを構成するすべてのP2カードを挿入してください。プレイリスト再生が正しくできません。再生できないイベント以降はイベント番号が赤色になります。
- 再生中はSTOP ボタンで再生を中断することができます。
- プレイリストの再生中に STOP ボタンを押すか、または全イベントの先頭または最後で自動停止したときには、本機の初期設定ではストップモードがRETURNになっているので、プレイリスト画面に戻ります。このときカーソル位置は停止操作を行ったときのイベントに移動します。
- メニューのストップモードをSTAYに設定すると、再生を停止してもプレイリスト画面には戻らず、静止画出力を継続することができます。
- メニューのストップモードがSTAYのときは、再生停止後にPLAY LISTボタンまたは、EXITボタンを押してプレイリスト画面に戻ります。
- プレイリスト再生中でもリモート切り替えが可能です。RS-422Aで制御するときは、ストップモードをSTAYにしておくと、停止時にプレイリスト画面へ移動しないので便利です。
- フォーマットが24PNのときは、編集単位は24フレーム/秒ですが、再生するタイムコードは30フレーム/秒となります。
- セットアップメニューNo.160 REPEAT PLAYがONの場合は、STOPボタンが押されるまでプレイリスト再生を繰り返します。(105 ページを参照)

# プレイリストから新しいクリップを作成する（エディットコピー）

プレイリストを元に、新たに1つのクリップを作成することができます。

この機能をエディットコピーと呼びます。

## ◆NOTE:

- 再生時のタイムコードの設定により、エディットコピー後のタイムコードを、設定した値から始まるようにすることができます。必要に応じてあらかじめ再生時のタイムコードの設定を行ってください。  
→「再生時のタイムコード(TC)の設定」(80ページ)を参照。
- エディットコピーでは、複数のカードにまたがったクリップは作成できません。1枚のカード内に作成されますので、コピー先のカードの残量を確認してから開始してください。
- AJ-SPD850 で作成したプレイリストファイルは、読み込むことはできますが、エディットコピーはできません。ただし、一度SAVE ASによりプレイリストファイルを別名で保存を行った後にエディットコピーを行うことは可能です。

## ◆NOTE:

- エディットコピー先の P2 カードの空き容量が足りないときは「WARNING : LACK OF REC CAPACITY!」と表示され、エディットコピーは開始されません。
- エディットコピー中は進行状況の目安が表示されます。
- エディットコピー中にSETボタン、またはCANCELボタンを押すと、エディットコピーが中止されます。
- エディットコピーしたクリップの編集点(各イベントの先頭)にはテキストメモが自動的に挿入されます。
- エディットコピー時にはユーザークリップネーム以外の情報はコピーされません。
- アスペクトが混在しているときは、エラーになります。
- 再生できないイベントがあるときは、再生できる範囲でエディットコピーを行います。
- 実行中は関係する P2 カードスロットのLED が点滅しますので、抜かないでください。

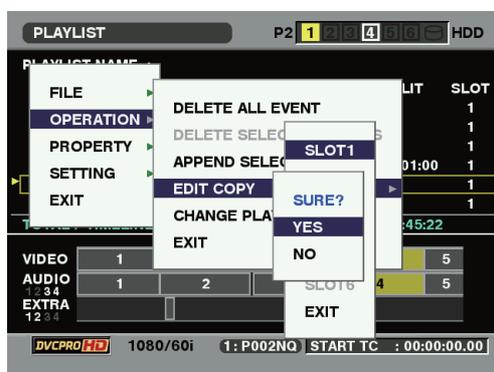
## 1 プレイリスト画面を表示する

## 2 MENUボタンを押す

## 3 十字カーソルボタンで[OPERATION]→ [EDIT COPY]にカーソルを合わせる

## 4 エディットコピー先のP2カードスロット番号に カーソルを合わせ、SETボタンを押す

## 5 [YES]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す



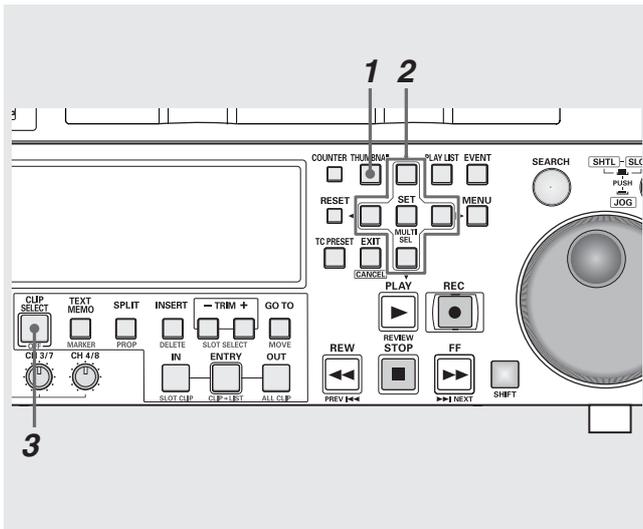
エディットコピーが開始されます。

# クリップセレクト機能

## クリップセレクト機能について

CLIP SELECT機能を用いると、一つのクリップのみ再生対象とすることができます。

### クリップセレクトの設定



#### 1 サムネール画面を表示する

USB HOSTモードでないことを確認してください。

#### 2 再生したいクリップにカーソルを合わせる

#### 3 CLIP SELECT ボタンを押す。

CLIP SELECT ボタンが点灯し、クリップの先頭もしくはサムネール位置\*で頭出しを行います。再生方法は通常の場合と変わりません。再生を行うと、CLIP SELECT ボタンは点滅に変わりますがクリップセレクト状態のままです。CLIP SELECT ボタンが点滅中にCLIP SELECT ボタンを押すと点灯に変わります。CLIP SELECT ボタンが点灯中は、PB/EE MODE の設定にかかわらずPB モードとなります。

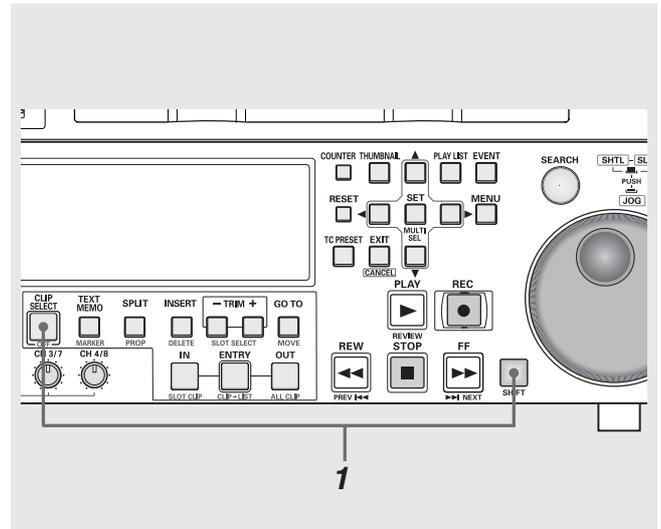
頭出しの位置を変更した場合には、CLIP SELECT ボタンが点滅し、固定遅延が解除されますが、CLIP SELECT ボタンを押すことで固定遅延になります。

\* SETUP MENU の165 CLIPSEL MODE の設定値によります(105 ページを参照)

#### ◆NOTE:

- クリップセレクト状態では、記録、プレイリスト、サムネール画面、デバイス切り替えなど使えない機能があります。
- CLIP SELECT ボタンが点灯中は、PLAY ボタンを押して再生が開始されるまでの時間は、常に同じ遅延時間となります。(固定遅延)

### クリップセレクトの解除



#### 1 SHIFT と CLIP SELECT ボタンを同時に押してください。

CLIP SELECT ボタンが消灯します。

# ネットワークの設定

## 本機をネットワークに接続して利用する

100BASE-TX/10BASE-Tイーサネット端子を利用し、ネットワークに接続して本機から外部機器へのファイルの転送を行うことができます。

### ネットワークの設定

本機をネットワークに接続して利用する場合には、ネットワークの設定が必要です。

#### ◆NOTE:

- ネットワークの設定を行うと、その設定内容は保存されます。

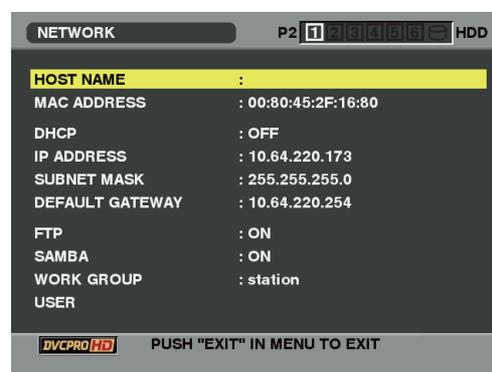
#### 1 サムネール画面を表示する

#### 2 MENU-ボタンを押す

#### 3 十字カーソルボタンで、[OPERATION]–[DEVICE SETUP]–[NETWORK] にカーソルを合わせ、SET ボタンを押す

#### 4 ネットワーク画面が表示される

現在の設定値が表示されます。設定したい項目に十字カーソルボタンでカーソルを合わせ、SET ボタンを押すことで設定を行うことができます。



#### ◆NOTE:

- MAC ADDRESSは設定できません

項目	内容	設定方法	工場出荷時の設定
HOSTNAME	ホスト名	フルキーボードを用いて入力します (最大15文字)	AJ-HPS1500
MAC ADDRESS	マックアドレス(固有ID)	カーソルを合わせることはできず、変更 できません。	設定値(変更不可)
DHCP	DHCPサーバ設定	ON:DHCPを利用します OFF:DHCPを利用しません	OFF
IP ADDRESS	IPアドレス	テンキーボードを用いて入力します	192.168.0.2
SUBNET MASK	サブネットマスク	テンキーボードを用いて入力します	255.255.255.128
DEFAULT GATEWAY	デフォルトゲートウェイ	テンキーボードを用いて入力します	192.168.0.1
FTP	FTPサーバ設定	ON:FTPサーバを起動します OFF:FTPサーバを起動しません	ON
SAMBA	SAMBA設定	ON:SAMBAサービスを起動します OFF:SAMBAサービスを起動しません	ON
WORK GROUP	ワークグループ	フルキーボードを用いて入力します	WORKGROUP
USER	ユーザ設定	ユーザの設定を行います →「ユーザの設定」(85ページ)を参照。	ユーザ設定なし

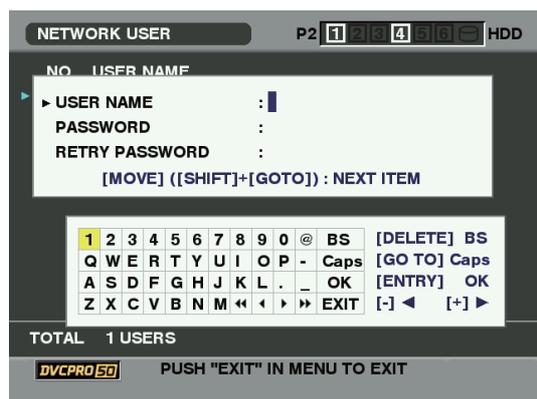
## ユーザの設定

### ユーザ登録

- 1 ネットワーク画面を表示する
- 2 [USER]にカーソルを合わせSETボタンを押し、ユーザ設定画面を表示する



- 3 MENUボタンを押す。
- 4 [NEW USER]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す
- 5 フルキーボードを用いて各項目を入力する  
MOVEボタンを押して各項目間の移動を行います。  
→「フルキーボードを利用する」(31ページ)参照



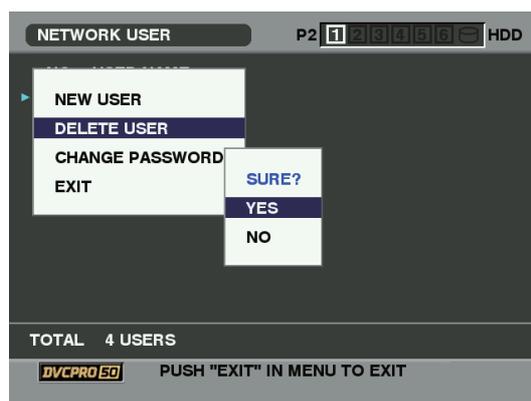
USER NAME	ユーザ名
PASSWORD	パスワード
RETRY PASSWORD	パスワード(上の項目と同じパスワードを入力して下さい)

#### ◆NOTE:

- 登録できるユーザは16名までです。
- ユーザー名として利用可能な文字は英数字のみです。

### ユーザ削除

- 1 ネットワーク画面を表示する
- 2 [USER]にカーソルを合わせSETボタンを押し、ユーザ設定画面を表示する
- 3 削除したいユーザにカーソルを合わせる
- 4 MENUボタンを押す
- 5 [DELETE USER]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す
- 6 YESにカーソルを合わせ、SETボタンを押す

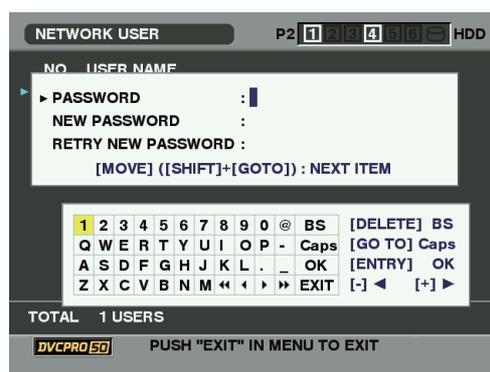


## パスワード変更

- 1 ネットワーク画面を表示する
- 2 [USER]にカーソルを合わせSETボタンを押し、ユーザ設定画面を表示する
- 3 パスワードを変更したいユーザにカーソルを合わせる
- 4 MENUボタンを押す
- 5 [CHANGE PASSWORD] にカーソルを合わせ、SETボタンを押す

## 6 フルキーボードを用いてパスワードを変更する

→「フルキーボードを利用する」(31ページ)を参照。



PASSWORD	現在のパスワード
NEW PASSWORD	新しいパスワード
RETRY NEW PASSWORD	新しいパスワード(上の項目と同じ パスワードを入力して下さい)

## LANモードへの切り替え

- 1 停止状態のときに SHIFT ボタンと REMOTE ボタンを同時に押す
- 2 選択画面で、[LAN] にカーソルを合わせ、SET ボタンを押す



モニターのLANの文字が点滅してモードが切り替わります。モードが切り替わると、モニターの画面上にLANと表示されます。

### ◆NOTE:

- クリップセレクト中は、LANモードに切り替えできません。
- リモート中は、手動での切り替えはできません。

## 3 LANモードでの操作を行う

本機は設定により、FTPサーバおよびSAMBAサーバとして動作します。

## 4 SHIFTボタンとREMOTEボタンを同時に押して、通常のモードに戻る

### ◆NOTE:

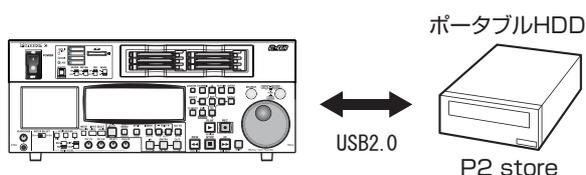
- LANモードでは、録画・再生を含むほとんどの操作はできません。
- LANモード中に、電源をOFFにし、再度電源をONにすると、通常のモードに戻ります。

# USB端子やSD/SDHCメモリーカードを利用する

## USB端子を利用する

本機のUSB2.0端子にハードディスクやパーソナルコンピューターを接続し、クリップの保存や管理を効率よく行うことができます。

### USBホストとして利用する

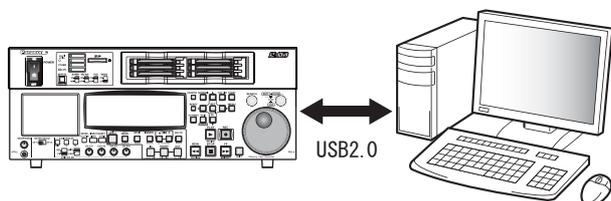


USB2.0対応のハードディスク1台と接続して、P2カードデータの保存や、保存したクリップサムネールの閲覧、P2カードへのインポートを行うことができます。

#### ◆NOTE:

- P2 STOREはUSB経由で読み込みはできますが、書き込みはできません。

### USBデバイスとして利用する



パーソナルコンピューターなどとUSB2.0で接続することにより、本機のP2カードスロットに挿入されたP2カードをマスタストレージとして扱うことができます。このとき、パーソナルコンピューターには、USB専用ドライバーをインストールする必要があります(USB2.0でご使用ください)。

また、弊社が下記のURLで無償配布しているP2ビューアーを使用すると、P2カードに記録されたクリップを、Windows PCで操作できます。

日本語：<http://panasonic.biz/sav/>

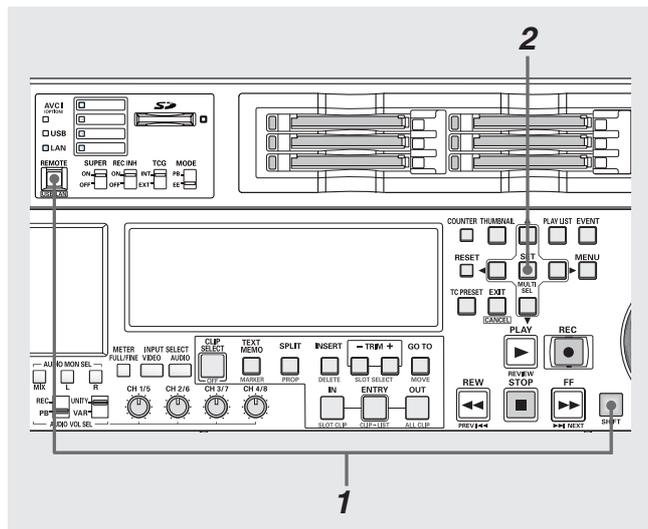
英語：<https://eww.pavc.panasonic.co.jp/pro-av/>

#### ◆NOTE:

- この接続での操作については、利用するコンピューターやアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。
- P2カード内のデータをパーソナルコンピューターなどに転送したり、PCに格納したデータをP2カードに書き戻す際は、情報の欠落を防ぐために、必ずP2ビューアーをお使いください。他のツールを用いてデータを転送した場合、P2データの情報の一部分をあやまって変更、または削除されると、P2データとして認識できない、もしくはP2カードがP2機器で使えなくなるおそれがあります。

# 本機にパーソナルコンピューターを接続して利用する

## USBデバイスモードへの切り替え



1 停止状態のときに SHIFT ボタンと REMOTE ボタンを同時に押す

2 選択画面で、[USB DEVICE]にカーソルを合わせ、SET ボタンを押す



モニターのUSB DEVICEの文字が点滅してモードが切り替わります。モードが切り替わると、モニターの画面上にUSB DEVICE DISCONNECTと表示されます。その後パーソナルコンピューターとの接続が完了すると、USB DEVICE CONNECTの表示に切り替わります。

3 USBデバイスモードでの操作を行う

4 SHIFT ボタンとREMOTE ボタンを同時に押して、通常のモードに戻る

### ◆NOTE:

- USBデバイスモードでは、録画・再生を含むほとんどの操作はできません。
- プレイリストモード、リモート中は操作を受け付けません。
- USBデバイスモードでは、表示パネルにUSBと表示され、VIDEO、AUDIOのINPUT SELECT表示が消えます。

# 本機にハードディスクを接続して利用する

## 使用できるハードディスク

次のハードディスクを使用できます。

- Panasonicポータブルハードディスクユニット P2 store(AJ-PCS060G)
- USB2.0で接続できるハードディスク

## ハードディスクのタイプと 利用できる機能について

使用するハードディスクにより、利用できる機能が異なります。ハードディスクのタイプは本機のホストモードでのエクスペローラー画面の左側に「PARTITION:」に続けて表示されます。

ハードディスクタイプ	特徴	利用できる機能
TYPE S	カード単位で高速に書き込み／読み込みするための特殊形式です。本機でフォーマットすると、この形式になります。	カード単位での書き込み／読み込み、サムネール表示、クリップ単位での読み込み、フォーマット
P2STORE	P2 store(AJ-PCS060G)のことです。書き込みはできません。	カード単位での読み込み、サムネール表示、クリップ単位での読み込み
FAT	パーソナルコンピューターなどで先頭の基本パーティションがFAT16またはFAT32になっており、そのパーティションのルートに「CONTENTS」ディレクトリが必要です。	サムネール表示、クリップ単位での読み込み、フォーマット ※本機でフォーマットした後は、「TYPE S」のハードディスクとして扱えます。
OTHER	上記以外のハードディスクです。 ※ルートに「CONTENTS」ディレクトリがない場合やNTFSなどのFAT16、FAT32以外のファイルシステムの場合です。	フォーマット ※本機でフォーマットした後は、「TYPE S」のハードディスクとして扱えます。

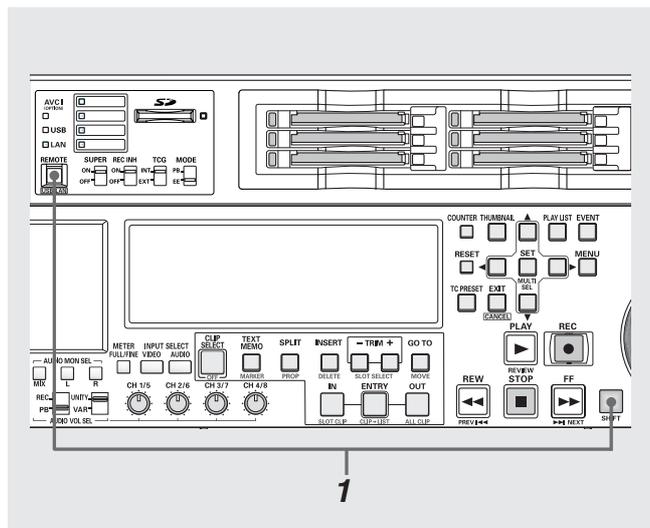
### ◆NOTE:

- ハードディスクは以下の条件でご使用ください。
  - 1) ハードディスクの動作保証範囲内(温度など)で使用します。
  - 2) ハードディスクを振動する場所や不安定な場所に置かない。
- ハードディスクによっては正しく動作しないことがあります。
- コピーに十分な容量のハードディスクをご使用ください。
- 電源が入っていないハードディスクであっても、ハブなどを介した複数台の接続は行わないでください。ハードディスク以外の機器も、ハブなどを介してハードディスクと一緒に接続しないでください。
- フォーマットやコピー中にケーブルを抜いたり、対象のP2カードを取り出したり、本機やハードディスクの電源を切ったりしないでください。本機およびハードディスクの電源の再起動が必要になります。
- ハードディスクは非常に精密な機器ですので、使用状況によってはデータの読み書きができなくなるおそれがあります。  
ハードディスクの故障あるいは何らかの不具合によるデータの損失、ならびにこれらに関するその他の直接・間接の損害につきましては、当社では責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

### ◆NOTE:

- USBバスパワー(5V, 0.5A)にも対応していますが、ハードディスクによっては起動できないものもあります。その場合はハードディスクに別途電力を供給してください。
- 2TB(2048GB)以上のハードディスクには対応していません。

## USBホストモードへの切り替え



### 1 停止状態のときに SHIFT ボタンと REMOTE ボタンを同時に押す

#### ◆NOTE:

- プレイリストモード、リモート中は操作を受け付けません。

### 2 選択画面で、[USB HOST]にカーソルを合わせ、SET ボタンを押す



液晶モニターのUSB HOSTの文字が点滅してモードが切り替わります。モードが切り替わるとサムネール画面が表示され、右下にUSB HOSTと表示されます。

### 3 USBホストモードでの操作を行う

#### ◆NOTE:

- USBホストモードでP2カードの再生を行うと、液晶モニターへの表示は行えますが、VIDEO MON出力、SD SDI MON出力を除く各種入出力は動作しなくなります。
- P2カードへの記録は行えません。
- クリップセレクト中は、USBホストモードに切り替えできません。

### 4 SHIFT ボタンとREMOTE ボタンを同時に押して、通常のモードに戻る

カードにアクセス中は、操作は無効です。

#### ◆NOTE:

〈USB HOSTに切り替えたとき〉

- USBモードでは、プレイリストモードへは切り替わりません。
- USBホストモード時は表示パネルのVIDEO、AUDIOのINPUT SELECT表示が消えます。

## ハードディスクのフォーマット

ハードディスクをTYPE Sで使用できる形式に初期化します。

#### ◆NOTE:

- ハードディスクのフォーマットを行うと、ハードディスクの内容はすべて消去されますので注意してください。

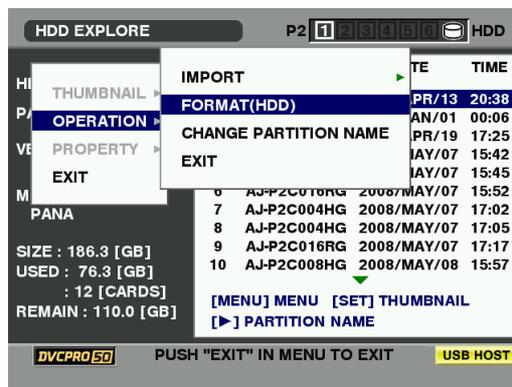
### 1 USBホストモードに切り替える

### 2 USBハードディスクを接続する

### 3 MENUボタンを押す

### 4 十字カーソルボタンで[HDD] – [EXPLORE]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す エクスプローラー画面が開きます。

### 5 MENUボタンを押し、十字カーソルボタンで [OPERATION] – [FORMAT(HDD)]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す



### 6 [YES]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す

### 7 再度確認メッセージが出たら、[YES]にカーソルを合わせてSETボタンを押す ハードディスクがフォーマットされます。

## カード単位でのハードディスクへのエクスポート

TYPE Sのハードディスクの場合、P2カード単位でハードディスクへエクスポート(P2カードからハードディスクへの書き出し)を行うことができます。

ハードディスクは事前に本機でフォーマットを行ってください。最大23枚のカードをハードディスクへ保存することができます。

エクスポートしたデータは、コンピューターなどではエクスポートしたP2カード毎に別々のドライブとして認識されます。

### 1 USBホストモードに切り替える

### 2 USBハードディスクを接続する

ハードディスクを本機でフォーマットしていないときは、ハードディスクをフォーマットします。

→「ハードディスクのフォーマット」(90ページ)を参照。

### 3 P2カードを挿入する

### 4 サムネイル画面を表示する

### 5 MENUボタンを押す

### 6 十字カーソルボタンで[HDD] - [EXPORT]にカーソルを合わせる



### 7 コピー元の P2 カードスロット番号にカーソルを合わせ、SETボタンを押す

ALL SLOTを選ぶと、そのとき挿入されているカードすべてを一括エクスポートします。

### 8 [YES]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す エクスポートが始まります。

#### ◆NOTE:

- エクスポート中は進捗バーが表示されます。
- エクスポートを中断したいときは、SET ボタンを押し、CANCEL の確認表示で[YES]にカーソルを合わせ、SET ボタンを押すと中断できます。
- エクスポート時のベリファイを行わないように設定すると、エクスポート完了までの時間が短くなります。  
設定はメニューの[HDD] - [SETUP] - [VERIFY]を[OFF]にします。  
※工場出荷時のベリファイの設定は[ON]になっています。
- ベリファイ中に処理を中断しても、P2カードのコピーは終了しています。
- ハードディスクをWindows PCに接続したとき、すでに割り当てられているネットワークとドライブが重なって、見えないパーティションがある場合は、弊社が下記のURLで無償配布しているドライブマウントコンバーターをご利用ください。ハードディスクをWindows PCに接続したとき、指定したフォルダーへマウントすることができます。  
日本語 : <http://panasonic.biz/sav/>  
英語 : <https://eww.pavc.panasonic.co.jp/pro-av/>

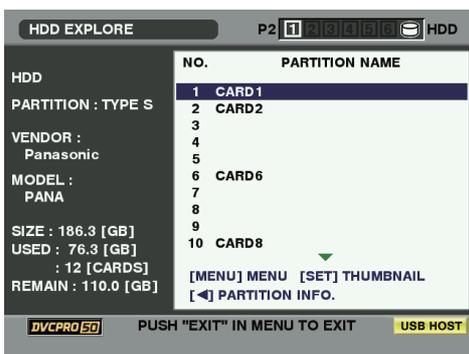
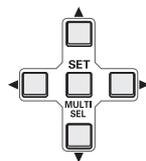
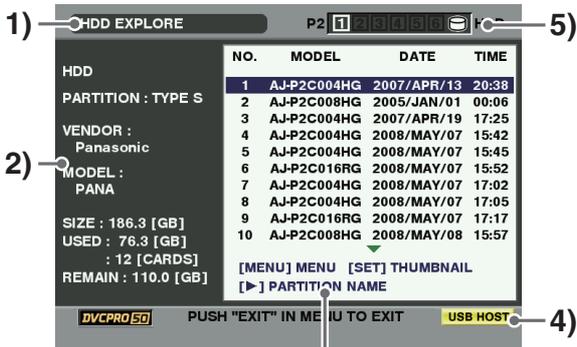
エクスポートを完了すると「COPY COMPLETED!」と表示されます。



## ハードディスクの情報の表示（エクスプローラー画面）

ハードディスクの情報を表示できます。

- 1 USBホストモードに切り替える
- 2 USBハードディスクを接続する
- 3 サムネール画面を表示する
- 4 MENUボタンを押す
- 5 十字カーソルボタンで [HDD] - [EXPLORE] にカーソルを合わせ、SETボタンを押す



### ◆NOTE:

- 左右のカーソルボタンで日時などの一覧表示とパーティションの名称表示を切り替えることができます。

### 1) 表示状態

HDD EXPLORE画面であることを示します。

### 2) ディスク情報

次の情報が表示されます。

カード単位で書き込み／読み出しが可能な特殊形式のハードディスク	PARTITION	TYPE S / P2STORE
	VENDOR	ベンダー名
	MODEL	モデル名
	SIZE	総容量(単位:GB)
	USED	使用量(単位:GB) 使用P2カード領域(単位:枚数)最大23
一般のハードディスク	REMAIN	残量(単位:GB)
	PARTITION	FAT/OTHER
	VENDOR	ベンダー名
	MODEL	モデル名
	SIZE	総容量(単位:GB)

### 3) パーティション情報

→詳細は次ページを参照

### ◆NOTE:

- P2 storeに無効なパーティションがあるときは、パーティション情報がグレーで表示されます。
- FATでフォーマットされたハードディスクのとき、最初の1パーティションのみ情報が表示されます。

### 4) USB HOST

USBホストモードインジケータが表示されます。

### 5) HDD状態

接続／未接続の区別、ハードディスクのタイプが表示されます。

→詳細は「サムネール画面各部の名称とはたらき」(33ページ)を参照。

### ◆NOTE:

- ハードディスクのサムネール表示時およびエクスプローラー表示時に[OPERATION]メニューの[CHANGE PARTITION NAME]を選択することで、そのパーティションに名称(最大20文字)を付けることができます。

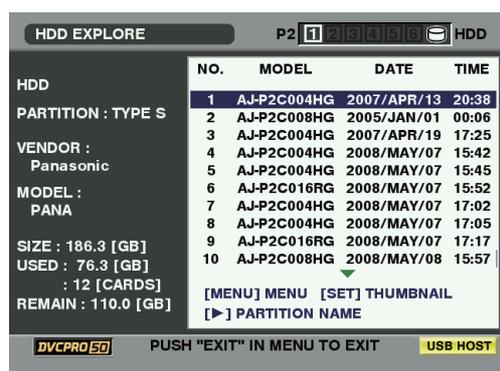


## ハードディスクのクリップのサムネール表示

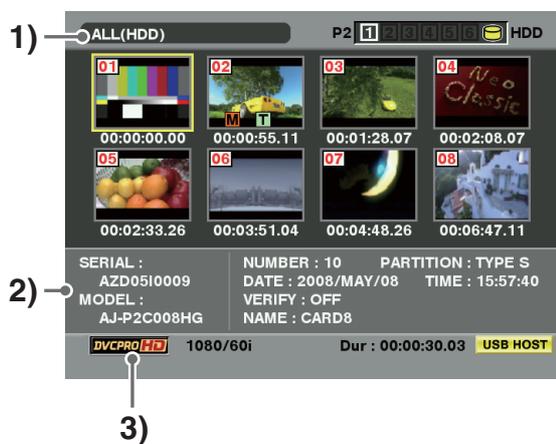
ハードディスクに保存したクリップも、本機に装着したP2カードと同様にサムネール表示して管理できます。

### 1 エクスプローラー画面を表示する

2 十字カーソルボタンでサムネール表示したいパーティションにカーソルを合わせ、SETボタンを押す  
そのパーティションのクリップがサムネール表示されます。



SET      EXIT



### 1) 表示状態

ハードディスクのクリップのサムネール表示状態を示します。

### 2) パーティション情報

次の情報が表示されます。

SERIAL: P2カードのシリアル番号

MODEL: P2カードのモデル名

NUMBER パーティション番号(1~)  
(NO.):

DATE / パーティション記録日時

TIME:

VERIFY: 記録時のベリファイの設定とベリファイ結果

ON: FINISHED ベリファイ実施し、一致

ON: FAILED ベリファイ実施したが不一致

OFF ベリファイしていない

※P2 storeのときは「-」と表示します。

NAME: ユーザーがつけたパーティションの名称

PARTITION: ハードディスクタイプ(89ページ参照)

### 3) 記録モード、システムフォーマット

カーソル位置クリップの記録モード、システムフォーマットが表示されます。

#### ◆NOTE:

- EXITボタンを押すと、エクスプローラー画面に戻ります。
- 必要に応じてサムネール画面の表示の変更を行うことができます。操作はP2カードのサムネール表示と同じです。→「サムネール画面の表示の変更」(35ページ)を参照。
- 「FAT」タイプのハードディスクであっても、1001個目以降のクリップは表示されません。
- TRIM+ / - ボタンを使うと、前後のパーティションのサムネール表示へ移動できます。

## ハードディスクのクリップの情報を表示する

ハードディスクに保存したクリップの各種メタ情報を表示できます。操作方法はP2カードのクリップのプロパティ情報表示と同じです。

### 1 ハードディスクのサムネール画面で、対象のクリップを選択する

クリップの詳細な情報を画面に表示して確認できます。

### 2 MENUボタンを押す

### 3 十字カーソルボタンで[PROPERTY]-

[CLIP PROPERTY]にカーソルを合わせて、SETボタンを押す

→詳細は「クリップの情報を表示・修正する」(45ページ)を参照。

## ハードディスクからP2カードへのインポート

### TYPE SのハードディスクやP2 storeからパーティション単位でインポートする

パーティション単位(カード単位)で、元のカードと同じ品番のP2カードへ高速にインポート(ハードディスクからP2カードへの読み込み)することができます。

- 1 インポート先となるP2カードを挿入する
- 2 P2のサムネール画面を表示する
- 3 MENUボタンを押す
- 4 十字カーソルボタンで [HDD] – [EXPLORE] にカーソルを合わせ、SETボタンを押す
- 5 コピー元のパーティションにカーソルを合わせ、SETボタンを押す
- 6 MENUボタンを押す
- 7 十字カーソルボタンで [OPERATION] – [IMPORT] – [ALL CLIP] にカーソルを合わせ、SETボタンを押す



- 8 フォーマット済のP2カードを挿入したインポート先のP2カードスロット番号にカーソルを合わせ、SETボタンを押す
- 9 [YES]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す  
インポートが始まります。  
インポートが完了すると「COPY COMPLETED!」と表示されます。

#### ◆NOTE:

- 元のP2カードとは異なる容量のP2カードにインポートしたとき、クリップによっては不完全(!インジケータ付き)クリップになることがあります。この場合、連結機能を使ってクリップを再構成してください。→「不完全クリップの連結」(44ページ)を参照。

- メニュー設定により、コピー時にベリファイを行うかどうかを切り替えることができます。
- 異なる品番のP2カードへ、パーティション単位でのインポートはできません。クリップ単位でインポートを実施してください。

### クリップ単位でP2カードへのインポート

ハードディスクのクリップを指定して、P2カードにインポートできます。

- 1 インポート先となるP2カードを挿入する
- 2 P2のサムネール画面を表示する
- 3 MENUボタンを押す
- 4 十字カーソルボタンで [HDD] – [EXPLORE] にカーソルを合わせ、SETボタンを押す
- 5 コピー元のパーティションにカーソルを合わせ、SETボタンを押す
- 6 コピーするクリップを選択する
- 7 MENUボタンを押す
- 8 十字カーソルボタンで [OPERATION] – [IMPORT] – [SELECTED CLIPS]にカーソルを合わせる
- 9 インポートするP2カードスロット番号にカーソルを合わせ、SETボタンを押す
- 10 [YES]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す  
インポートが始まります。  
インポートが完了すると「COPY COMPLETED!」と表示されます。

#### ◆NOTE:

- クリップ単位でインポートするときは、ベリファイは行われません。
- 「クリップ単位でのインポート」動作は、「クリップのコピー」と類似の動作です。  
→クリップ単位でのインポート時の注意事項は「クリップをコピーする」(42ページ)を参照。

# SD/SDHCメモリーカードを利用する

本機ではSD/SDHCメモリーカードも利用できます。

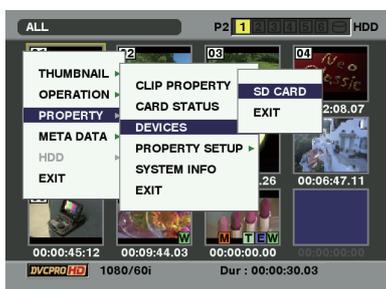
## ◆NOTE:

- 現在のSETUPメニューの設定をSDメモリーカードに保存および読み込むことができます。詳細は115ページを参照してください。

## SDメモリーカードの各種情報を表示する

SDメモリーカードの使用状況を画面に表示して確認できます。

- 1 サムネール画面を表示する
- 2 MENUボタンを押す
- 3 十字カーソルボタンで [PROPERTY] – [DEVICES] – [SD CARD]にカーソルを合わせて、SETボタンを押す



カードの状態が、次のように表示されます。



SD STANDARD:	SDメモリーカードがSD準拠でフォーマットしているが表示する。
	SUPPORTED: SD準拠
	NOT SUPPORTED: SD非準拠
USED:	使用済み容量[バイト]
BLANK:	空き容量[バイト]
TOTAL:	全容量[バイト]

NUMBER OF CLIPS: プロキシやP2カムにてSDメモリーカードへクリップコピーを行ったときに、SDメモリーカードに入っているクリップ数

PROTECT: 書き込み禁止状態

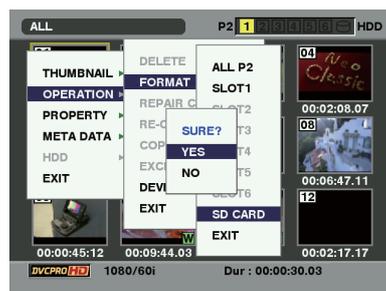
- 本機ではプロキシの記録、再生はできません。

- 4 SETボタンを押した後、MENUボタンを押して、処理を終了する

## SDメモリーカードをフォーマットする

次の操作でSDメモリーカードスロットのSDメモリーカードをフォーマットできます。

- 1 サムネール画面を表示する
- 2 MENUボタンを押す
- 3 十字カーソルボタンで [OPERATION] – [FORMAT] – [SD CARD]を選択する
- 4 [YES]を選択しSETボタンを押す



フォーマットが開始されます。

## ◆NOTE:

- フォーマットしないときは [NO] を選択し、SETボタンを押します。

- 5 完了メッセージが表示されたら確認 (SETボタン) を押す

## ◆NOTE:

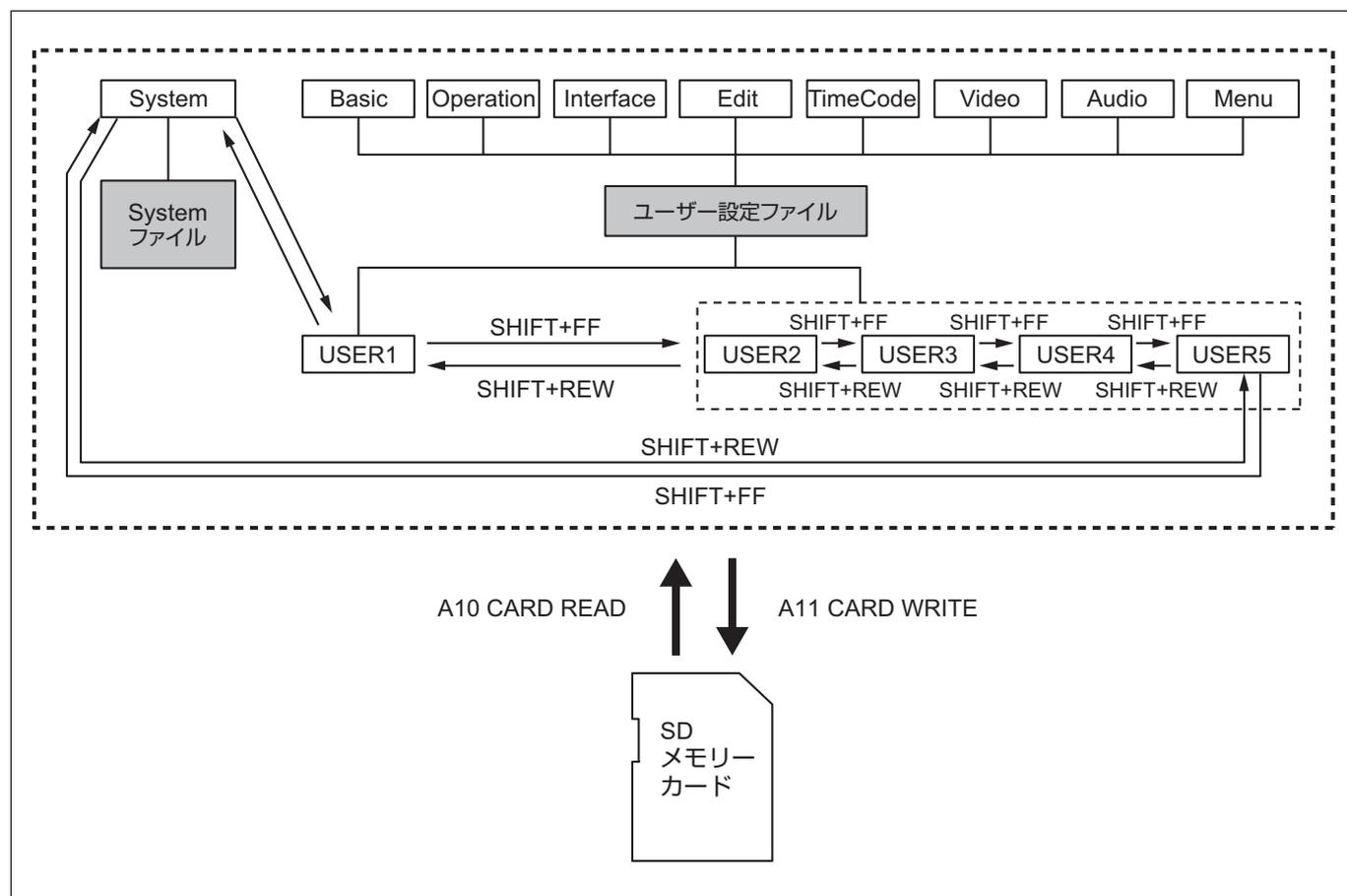
- 続けて別のP2カードスロットのP2カードをフォーマットするときは、操作手順2~4の操作を繰り返します。

- 6 MENUボタンを押して、処理を終了する

# セットアップ

## 本機の設定について

本機の設定項目は、SYSTEM、BASIC、OPERATION、INTERFACE、EDIT、TIME CODE、VIDEO、AUDIO、MENUに分かれています。このうち、SYSTEMの設定項目の設定値はSYSTEMファイルに保存されます。また、それ以外の設定項目は、ユーザー設定ファイルに保存できます。ユーザー設定ファイルは、USER1～USER5の5つまで保存できます。これらの設定値はSDメモリーカードへも書き出しや読み込み(4ファイル)をすることができます。



5つのユーザーファイルを持つことができ、それぞれ異なるメニュー設定の中からいずれかを選択して使用することができます。

必要に応じて設定値を変更できます。  
→「変更の操作」(次ページ)を参照。

変更後、USER1の内容をUSER2～USER5へセーブ(複写)することができます。

→「セットアップメニューNo.A01(SAVE)」(114ページ)を参照。

### 電源を入れたときのユーザー設定ファイルの自動ロードについて

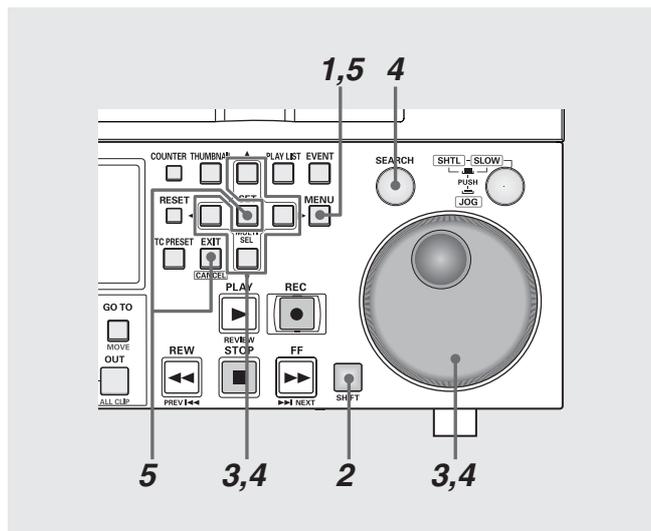
電源を入れたときに、USER1へロードするユーザー設定ファイルを指定しておくことができます。また、前回の設定をそのまま使用するように設定することもできます。

→「セットアップメニューNo.A03(MENU LOCK)」(114ページ)を参照。

# 設定の変更

設定の変更は、液晶モニターまたはANALOG COMPOSITE MONITOR OUT端子またはSD-SDI-MONITOR OUT端子に接続したモニター(SUPER スイッチが「ON」のとき)の画面にメニューを表示して行います。

## 変更の操作



### 1 MENUボタンを押す

液晶モニターにセットアップメニューの画面が表示され、カウンター表示部にセットアップメニューの項目No.が表示されます。

### 2 変更対象ファイルを選ぶ

SHIFT ボタンを押しながらFF▶▶ボタンまたは、REW◀◀ボタンを押すと、次のファイルまたは、前のファイルに切り替わります。

### 3 変更項目を選ぶ

サーチダイヤルを回すか、または上(▲)下(▼)ボタンを押して、カーソル(\*)を変更する項目に移動します。

- サーチダイヤルは、なるべく JOG モードで使用してください。
- 右に回すと項目No.が001→002→003→004→のように増加し、左に回すと減少します。
- PLAY▶▶ボタンを押しながら FF▶▶ボタンまたは、+ボタンを押すと次の項目に、PLAY▶▶ボタンを押しながら REW◀◀ボタンまたは-ボタンを押すと、前の項目に切り替わります。

### 4 設定値を変更する

変更する項目で、SEARCHボタンを押しながらサーチダイヤルを回すか、または、左(◀)右(▶)ボタンを押して、設定値を変更します。

- ダイヤルを右に回す(または右(▶)ボタンを押す)と設定No.が増加し、左に回す(または左(◀)ボタンを押す)と減少します。
- 変更後は、SEARCHボタンを放します。
- サーチダイヤルがSHTLモードのときは、中央位置にしないと項目が移動します。
- 他に変更する項目があるときは、手順3～4を繰り返します。

### 5 変更を確定する

MENUボタンを押します。

確認メッセージが表示されますので、変更するときはSETボタン、キャンセルするときはEXITボタンを押すと、MENUが閉じて変更が終了します。

## ロックによるユーザー設定ファイルの保護

システムファイルおよびユーザー設定ファイル(USER2～USER5)が誤って変更されないように、ロックすることができます。

→システムファイルのロックの設定および解除は、「セットアップメニューNo.30(MENU LOCK)」(100 ページ)を参照。

→ユーザーファイルのロックの設定および解除は、「セットアップメニューNo.A03(MENU LOCK)」(114 ページ)を参照。

### ◆NOTE:

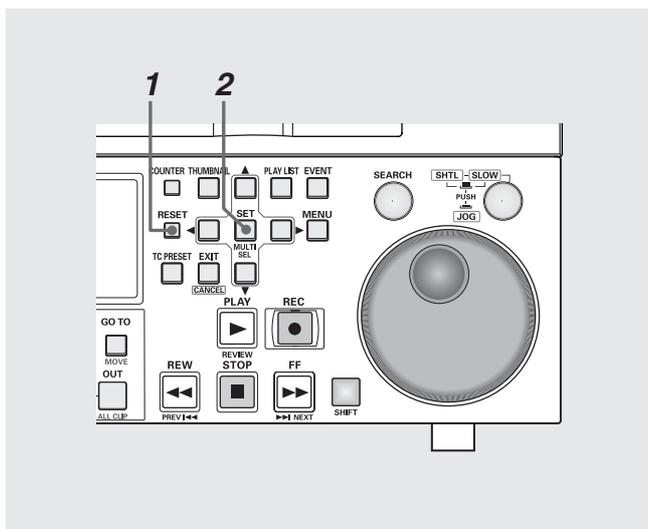
- ロックされている場合でも SD カードからの設定の読み込みを行うことができます。読み込み後のロックの状態は読み込んだ設定に従います。

## 工場出荷時の設定（初期設定）に戻すには

メニューが表示されているときに、画面に表示されているユーザー設定ファイルの内容を工場出荷時の設定に戻すことができます。

### ◆NOTE:

- 画面に表示されているユーザー設定ファイルの内容が工場出荷時の設定に戻ります。他のユーザー設定ファイルには影響を与えません。
- システムファイルが画面に表示されているとき、システム位相の項目(No.12 SYS(HD)、No.15 SYS H(SD))は、工場出荷時の設定に戻りません。その他の項目は戻ります。
- MENU LOCKのときは工場出荷時の設定には戻りません。MENU LOCKをOFFにしてください。
- 現在の設定を SD メモリーカードに保存および読み込むことができます。詳細は「メニューのSDメモリーカードへの保存について」(115ページ)を参照。



**1** メニューが表示されているときに RESET ボタンを押す

**2** SETボタンを押す

# 各項目の設定内容

## SYSTEM

外部エンコーダリモートコントローラの接続、音声出力の位相調整、HD出力のSD REF入力に対する位相、システムファイルのロックの設定を行います。

※「設定値」のxxは工場出荷時の設定です。

項目		設定値		設定内容および概略機能説明
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.	
05	ENCODER SEL	<u>0001</u> 0002	<u>LOCAL</u> BOTH	ビデオ出力信号の各調整を本機で行うか、外部のエンコーダリモートコントローラから行うかを設定します。 LOCAL: 本機でビデオ出力信号の各調整を行います。 BOTH: 本機、および外部のエンコーダリモートコントローラから、ビデオ出力信号の各調整を行います。 <b>NOTE:</b> ・調整項目については、次ページの「ビデオ出力信号の各調整について」を参照してください。 ・外部エンコーダリモートコントローラから調整を行った場合、各調整値はセットアップメニューの各調整項目に反映されます。ただし調整操作を終えて約1分が経過しなければ、各調整項目に反映された数値は、保存されません。外部エンコーダリモートコントローラで調整操作を行った後電源を切るときは、操作を終えて約1分以上待ってから、電源をお切りください。
12	SYS H(HD)	0000   <u>1345</u>   2690	-1345   <u>0</u>   1345	HD SDI出力のシステム位相を調整します(13.5nsステップ)。 -: 位相を進める +: 位相を遅らせる <b>NOTE:</b> この項目は、工場出荷時の設定に戻す操作を行っても設定値に戻すことはできません。ただし、項目を点滅させている状態でRESETボタンを押すと設定値は戻ります。
15	SYS H(SD)	0000   <u>0805</u>   1610	-805   <u>0</u>   805	アナログコンボジット出力およびSD SDI出力のシステム位相を調整します(37nsステップ)。 -: 位相を進める +: 位相を遅らせる <b>NOTE:</b> この項目は、工場出荷時の設定に戻す操作を行っても、設定値に戻すことはできません。ただし、項目を点滅させている状態でRESETボタンを押すと設定値は戻ります。
20	AV PHASE	0000   <u>0128</u>   0255	-128   <u>0</u>   127	映像出力に対する音声出力の位相を調整します(20.8μsステップ)。 -: 映像出力に対して、音声出力の位相を進める +: 映像出力に対して、音声出力の位相を遅らせる
26	HD SYS H ADV	<u>0000</u> 0001	<u>0H</u> 90H	SD REF入力時に、HD出力をSD REF入力に対して、90H位相を進ませるかどうかを設定します。 0: SD REFと同位相で出力 1: HD出力はSD REF出力より90H進んだ位相で出力 <b>NOTE:</b> ・オーディオ出力およびタイムコード出力は、HD出力と同位相で出力します。 ・720pのときは、120Hの位相差となります。

項目		設定値		設定内容および概略機能説明
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.	
30	MENU LOCK	<u>0000</u> 0001	<u>OFF</u> ON	システムファイルのロックモードの設定／解除を行います。 0: ロック解除(変更可能) 1: ロック設定(変更禁止)

### ビデオ出力信号の各調整について

各調整の制御マトリクスを下表に示します。

#### セットアップメニューNo.650(STYLE)でCMPNTを選択した場合

設定	調整項目
05: ENCODER SEL	653: Y LVL 654: P <sub>B</sub> LVL 655: P <sub>R</sub> LVL 656: BK LVL
LOCAL	本機
BOTH	外部エンコーダリモート／本機

本機:

セットアップメニューのみの調整となります。

外部エンコーダリモート／本機:

外部エンコーダリモート及びセットアップメニューから調整可能です。

#### ◆NOTE:

外部のエンコーダリモートコントローラは、AJ-ER50をご使用ください。ただし、エンコーダリモートコントローラの「VIDEO PHASE」および「SYNC PHASE」は動作しません。

#### セットアップメニューNo.650(STYLE)でCMPSTを選択した場合

設定	調整項目
05: ENCODER SEL	662: V LEVEL 663: C LEVEL 664: HUE 665: SETUP
LOCAL	本機
BOTH	外部エンコーダリモート／本機

本機:

セットアップメニューのみの調整となります。

外部エンコーダリモート／本機:

外部エンコーダリモート及びセットアップメニューから調整可能です。

#### ◆NOTE:

外部のエンコーダリモートコントローラは、MT-200(MUSASHI製／推奨品)をご使用ください。ただし、エンコーダリモートコントローラの「VIDEO PHASE」、「SYNC PHASE」、「SC PHASE」は動作しません。

## BASIC

「REMOTE」のときにキーパネルで操作できるボタン、CTLカウンター表示の12 / 24時制表示の切り替え、スーパー表示、スーパーやセットアップメニューなどの文字の表示、記録フォーマット、プレイリストに追加できるフォーマット、内蔵時計の時刻の設定を行います。

※「設定値」のxxは工場出荷時の設定です。

項目		設定値		設定内容および概略機能説明
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.	
001	LOCAL ENA	0000 <u>0001</u> 0002	DIS <u>STOP</u> ENA	REMOTEボタンが点灯しているときに、フロントパネルで操作できるボタンを制限します。 0: すべて不可 1: STOPボタンのみ可能 2: すべて可能
002	CTL DISP	<u>0000</u> 0001	± <u>12h</u> 24h	CTLカウンター表示の12 / 24時間表示を切り替えます。 0: 12時間表示 1: 24時間表示
003	REMAIN SEL	0000 0001 <u>0002</u> 0003	OFF 2L <u>1L</u> R/TTL	VIDEO MON端子、SD SDI MON端子および液晶パネルのスーパー表示に、残量時間および総量を表示するかどうかを設定します。 0: 表示しない 1: 2行目にメディア残量時間を表示 2: 1行目にメディア残量時間を表示 3: 1行目にメディア残量時間、2行目にメディア総量を表示 <b>NOTE:</b> ・ 2L選択時、セットアップメニューNo.006(DISPLAY SEL)がTIMEに設定されているときは表示されません。 ・ R / TTL選択時、セットアップメニューNo.006(DISPLAY SEL)がTIMEに設定されているときは、総量は表示しません。
006	DISPLAY SEL	0000 <u>0001</u> 0002 0003 0004 0005 0006 0007 0008 0009	TIME <u>T&amp;STA</u> T&S&M T&RT T&YMD T&MDY T&DMY T&UB T&CTL T&T	VIDEO MON端子、SD SDI MON端子および液晶パネルのスーパー表示内容を設定します。ここで、データとはCOUNTERボタンで選択されているCTL / TC / UBの値のことを指します。 0: データのみ 1: データ・動作状態 2: データ・動作状態・モード 3: データ・REC TIME 4: データ・REC DATE(年月日) 5: データ・REC DATE(月日年) 6: データ・REC DATE(日月年) 7: データ・ユーザーズビット ただし、COUNTERボタンでUBを選択しているときは、ユーザーズビットの次にタイムコードが表示される。 8: データ・CTL ただし、COUNTERボタンでCTLを選択しているときは、CTLデータの次にタイムコードが表示される。 9: データ・タイムコード <b>NOTE:</b> T&S&Mに設定したときは、ワーニングやエラーが発生するとエラーメッセージがスーパー表示されます。
007	CHARA H-POS	0000   <u>0004</u>   0016	0   <u>4</u>   16	VIDEO MON端子、SD SDI MON端子および液晶パネルのスーパー表示の水平方向文字位置を設定します。

項目		設定値		設定内容および概略機能説明
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.	
008	CHARA V-POS	0000   <u>0020</u>   0022	0   <u>20</u>   22	VIDEO MON端子、SD SDI MON端子および液晶パネルのスーパー表示の垂直方向文字位置を設定します。
009	CHARA TYPE	<u>0000</u> 0001	<u>WHITE</u> W/OUT	VIDEO MON端子、SD SDI MON端子および液晶パネルのスーパーや、セットアップメニューなどの表示タイプを設定します。 0: 白文字を、黒のベタ塗りの背景で表示 1: 白文字を、黒の縁取りで表示
020	SYS FORMAT	<u>0000</u> 0001 0002	<u>1080i</u> 720p 480i	本機の記録フォーマットを設定します。 0: 1080iモード 1: 720pモード 2: 480iモード
024	REC FMT(SD)	<u>0000</u> 0001 0002	<u>50M</u> 25M DV	メニューNo.020 SYS FORMATが480iに設定されているときの記録フォーマットを設定します。 0: DVCPRO50(50Mbps) 1: DVCPRO(25Mbps) 2: DV(25Mbps)
025	REC FMT(HD)	<u>0000</u> 0001 0002	<u>DVCPRO</u> AVC50 AVC100	メニューNo.020 SYS FORMATが1080iまたは720pに設定されている場合の記録フォーマットを選択します。 0: DVCPRO HD(100Mbps) 1: AVC-Intra50 2: AVC-Intra100 <b>NOTE:</b> AVC-IntraコーデックボードAJ-YBX200G(オプション)装着時のみ表示します。
026	PLY LST FMT	<u>0000</u> 0001 0002	<u>SYSFMT</u> 30PN 24PN	プレイリストで使用するフォーマットを設定します。 < DVCPRO HDフォーマット時 > 0: メニューNo.020 SYS FORMAT, No.024 REC FMT(SD)およびNo.025 REC FMT(HD)で設定されたフォーマット 1: 720/30PN 2: 720/24PN < AVC-Intraフォーマット時 > 0: メニューNo.020 SYS FORMAT, No.024 REC FMT(SD)およびNo.025 REC FMT(HD)で設定されたフォーマット 1: 1080/30PNまたは720/30PN 2: 1080/24PNまたは720/24PN <b>NOTE:</b> ・メニューNo.020 SYS FORMATを480i設定時には、30PN, 24PNを選択してもSYSFMT設定となります。 ・AVC-Intraフォーマット時の有効ライン数は、メニューNo.020 SYS FORMATに従います。
050	P.ON GUI	<u>0000</u> 0001	<u>OFF</u> THUMB	電源を入れたときにサムネール画面を表示するかどうかを設定します。 0: 表示しない 1: 表示する
060	LCD PROTECT	0000 <u>0001</u>	OFF <u>ON</u>	液晶保護モードを設定します。 OFF: 保護モードに入りません。 ON: 保護モードに入ります。 <b>NOTE:</b> ・フロント操作を全くしない場合、あるいは映像が更新されない状態が続いた場合に、約5分後液晶の出力をOFFにします。 ・保護モードを解除するには、フロントからのボタン、ダイヤル操作をするか、コントロールからの再生指示をしてください。なお保護モードを解除するために行った操作はそのまま継続されます。

項目		設定値		設定内容および概略機能説明
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.	
069	CLOCK SET			<p>内蔵時計の時刻を合わせます。</p> <p><b>NOTE:</b> STOPボタンまたはSETボタンを押すとサブ画面に移ります。サブ画面で日時を変更後、SETボタンを押すと時計に日付が設定されます。日付設定しないでサブ画面から戻るには、再度STOPボタンまたはEXITボタンを押します。</p>

項目		設定値		設定内容および概略機能説明
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.	
サブ画面				
00	YEAR	0000   0030	2000   2030	年を設定します。
01	MONTH	0001   0012	JAN   DEC	月を設定します。 <b>NOTE:</b> 2、4、6、9、11月の設定で存在しない日を設定したときは、翌月の1日として設定されます。
02	DAY	0001   0031	1   31	日を設定します。 <b>NOTE:</b> 2、4、6、9、11月の設定で存在しない日を設定したときは、翌月の1日として設定されます。
03	HOUR	0000   0023	0   23	時間を設定します。 24時間制で設定してください。
04	MINUTE	0000   0059	0   59	分を設定します。
05	TIME ZONE	0000 0001 0002   <u>0018</u>   0026 0027   0050	00:00 +00:30 +01:00   <u>+09:00</u>   +13:00 -12:00   -00:30	年月日時分を設定した場所の世界標準時からの差を設定します。 次の表を参考に、設定してください。

時差	地域
00:00	グリニッジ
+00:30	
+01:00	中央ヨーロッパ
+01:30	
+02:00	東ヨーロッパ
+02:30	
+03:00	モスクワ
+03:30	テヘラン
+04:00	アブダビ
+04:30	カブール
+05:00	イスラマバード
+05:30	ボンベイ
+06:00	ダッカ
+06:30	ラングーン
+07:00	バンコク
+07:30	
+08:00	北京
+08:30	
+09:00	東京
+09:30	ダーウィン諸島
+10:00	グアム
+10:30	ロード・ハウ・アイランド
+11:00	ソロモン諸島
+11:30	ノーフォーク諸島
+12:00	ニュージーランド
+12:45	チャタム諸島
+13:00	
-12:00	クワジャリン
-11:30	
-11:00	ミッドウェイ諸島
-10:30	
-10:00	ハワイ

時差	地域
-09:30	マルケサス諸島
-09:00	アラスカ
-08:30	
-08:00	ロスアンジェルス
-07:30	
-07:00	デンバー
-06:30	
-06:00	シカゴ
-05:30	
-05:00	ニューヨーク
-04:30	
-04:00	ハリファックス
-03:30	ニューファンドランド島
-03:00	ブエノスアイレス
-02:30	
-02:00	中部大西洋
-01:30	
-01:00	アゾレス諸島
-00:30	

◆NOTE:

- 時計精度は、電源OFF状態で月差約±30秒程度です。
- 正確な時刻を必要とするときは、電源がONのときに、時刻確認、再設定を行ってください。

## OPERATION

サーチダイヤル操作への移行方法、シャトル動作の最大速度、FF、REW動作の最大速度、NEXT、PREVシーク動作、REF. VIDEOが接続されていないときのワーニング表示、PLAYの立ち上がり時間の設定を行います。

※「設定値」のxxは工場出荷時の設定です。

項目		設定値		設定内容および概略機能説明
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.	
100	SEARCH ENA	<u>0000</u> 0001	<u>DIAL</u> KEY	サーチモード(サーチダイヤル操作)への移行方法を設定します。 サーチダイヤル操作への移行方法を設定します。 0: SEARCHボタンを押すか、サーチダイヤルを操作したとき移行 1: SEARCHボタンを押したとき移行
101	SHTL MAX	0000 <u>0001</u> 0002 0003 0004	×8 × <u>16</u> ×32 ×60 ×100	シャトル動作の最大速度を設定します。 0: ×8倍速 1: ×16倍速 2: ×32倍速 3: ×60倍速 4: ×100倍速
102	FF.REW MAX	<u>0000</u> 0001 0002 0003	× <u>32</u> ×60 ×100 SEEK	FF、REW動作の最大速度を設定します。 0: ×32倍速 1: ×60倍速 2: ×100倍速 3: クリップの先頭へのシーク動作 <b>NOTE:</b> ・ SEEK選択時も9P、RS-232CからのFFおよびREWコマンドに対しては、×100倍速のFF、REW動作となります。 ・ シーク動作は、STILL、およびSTOP PB時に有効となります。
103	SEEK SEL	<u>0000</u> 0001	<u>CLIP</u> CLIP&T	NEXT (SHIFT+FF)、PREV (SHIFT+REW) シーク動作で移動する位置を選択します。 0: クリップの先頭 1: クリップの先頭、およびテキストメモの設定点
104	REF ALARM	0000 <u>0001</u>	OFF <u>ON</u>	REF. VIDEOが接続されていないときにワーニング表示するかどうかを選択します。 0: 表示しない 1: STOPランプを点滅させることでワーニング表示する
108	PLAY DELAY	<u>0000</u>   0015	<u>0</u>   15	PLAYの立ち上がり時間をフレーム単位で設定します。
160	REPEAT PLAY	<u>0000</u> 0001	<u>OFF</u> ON	再生のときに、リピート再生を行うかどうかを設定します。 0: リピート再生をしません。最終クリップで再生を停止します。 1: リピート再生をします。最終クリップを再生後に先頭のクリップから再生を続けます。 <b>NOTE:</b> ・ リピート再生は、録再モード、サムネールモード、クリップセレクトモード、プレイリスト再生時、プレイリストのイベントレビュー時に有効となります。 ・ TEXTMEMOの再生時は、リピート再生を行いません。 ・ リピート再生中にP2カードを抜くと、存在しなくなったクリップの再生に到達した時点で再生を中止します。 ・ リピート再生中にP2カードを挿入しても、再生を停止して再度リピート再生を実施するまで、追加されたクリップは再生されません。
165	CLISPSEL MODE	<u>0000</u> 0001	<u>TOP</u> THUMB	クリップセレクトで表示されるクリップ位置を選択します。 0: クリップセレクト時にクリップの先頭を基準に設定します。 1: クリップセレクト時にクリップのサムネール位置を基準に設定します。

## INTERFACE

コントローラーに返すID情報の設定を行います。

※「設定値」のxxは工場出荷時の設定です。

項目		設定値		設定内容および概略機能説明
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.	
202	ID SEL	0000 <u>0001</u> 0002	OTHER <u>DVCPRO</u> ORIG	コントローラーに返すID情報を設定します。 0: OTHER 1: DVCPRO 2: ORIG <b>NOTE:</b> ・「OTHER」にはDVCPRO以外のVTRのID情報を設定しています。 ・「ORIG」は特定のパナソニック製のコントローラー(AG-A850など、別売品)との接続時のみ設定してください。
213	EXTEND CMD	<u>0000</u> 0001	<u>OFF</u> ON	REMOTE端子のコマンドを、クリップセレクト機能、LAN、USB切り替え機能に対応したコマンド拡張をするかを設定します。 0: 拡張しません。 1: 拡張します。

## EDIT

キューアップ動作後の本機のモード設定を行います。

※「設定値」のxxは工場出荷時の設定です。

項目		設定値		設定内容および概略機能説明
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.	
315	AFTER CUE-UP	0000 <u>0001</u> 0002	STOP <u>STILL</u> STILL2	キューアップ動作後の本機のモードを選択します。 0: STOPモードになります。 1: 静止画(SHTL +0.0)モードになります。 2: 静止画(VAR +0.0)モードになります。

## TIME CODE

タイムコードの設定を行います。

※「設定値」のxxは工場出荷時の設定です。

項目		設定値		設定内容および概略機能説明
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.	
500	VITC BLANK	0000 <u>0001</u>	BLANK <u>THRU</u>	再生時、メニューNo.501 VITC POS-1とNo.502 VITC POS-2で指定した位置にVITC信号を出力するかどうかを設定します。 0: 出力しない 1: 出力する <b>NOTE:</b> ・この設定は、アナログコンポジット出力およびSD SDI出力にのみ有効です。 ・EE時は、入力信号に多重されたVITC信号がそのまま出力されます。
501	VITC POS-1	0000   <u>0006</u>   0010	0   <u>16L</u>   20L	VITC信号の挿入位置を設定します。 <b>NOTE:</b> ・メニューNo.502 VITC POS-2およびNo.692 UMID POSと同じラインは選択できません。 ・この設定は、アナログコンポジット出力およびSD SDI出力にのみ有効です
502	VITC POS-2	0000   <u>0008</u>   0010	10L   <u>18L</u>   20L	VITC信号の挿入位置を設定します。 <b>NOTE:</b> ・メニューNo.501 VITC POS-1およびNo.692 UMID POSと同じラインは選択できません。 ・本設定は、アナログコンポジット出力およびSD SDI出力にのみ有効です。
505	TCG REGEN	<u>0000</u> 0001 0002	<u>TC&amp;UB</u> TC UB	TCG(タイムコードジェネレーター)がリジェネモードのとき、リジェネする信号を設定します。 0: タイムコード、ユーザズビット共にリジェネ 1: タイムコードのみリジェネ 2: ユーザズビットのみリジェネ
507	EXT TC SEL	<u>0000</u> 0001 0002	<u>EXT L</u> SLTC SVITC	外部タイムコードを用いるときに使用するタイムコードを設定します。 0: TIME CODE IN端子のLTC 1: HD SDI INに入力されたシリアル信号に付加されているLTC情報 2: HD SDI INに入力されたシリアル信号に付加されているVITC情報 <b>NOTE:</b> SLTC、SVITC設定時、入力信号としてアナログコンポジットまたはSD SDIが選択されているときは、入力ビデオ信号のVITCを使用します。
508	BINARY GP	<u>0000</u> 0001 0002 0003 0004 0005 0006 0007	<u>000</u> 001 010 011 100 101 110 111	TCGで発生するタイムコードのユーザビットの使用状態を設定します。 0: NOT SPECIFIED(キャラクターセットを指定しない) 1: ISO CHARACTER(ISO646、ISO2022に準拠した8bitキャラクターセット) 2: UNASSIGNED1(未定義) 3: UNASSIGNED2(未定義) 4: UNASSIGNED3(未定義) 5: PAGE / LINE 6: UNASSIGNED4(未定義) 7: UNASSIGNED5(未定義)
509	PHASE CORR	<u>0000</u> 0001	<u>OFF</u> ON	TIME CODE OUT端子から出力されるLTC出力の位相補正コントロールを行うかどうかを設定します。 0: 位相補正コントロールは行わない 1: 位相補正コントロールを行う
510	TCG CF FLAG	<u>0000</u> 0001	<u>OFF</u> ON	TCGのCFフラグを設定します。 0: OFFにする 1: ONにする

項目		設定値		設定内容および概略機能説明
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.	
511	DF MODE	<u>0000</u> 0001	<u>DF</u> NDF	CTLおよびTCGのDF/NDFモードを設定します。 0: ドロップフレームモードを使用 1: ノンドロップフレームモードを使用
512	TC OUT REF	<u>0000</u> 0001	<u>YOUT</u> TC_IN	TCGスイッチが「EXT」のとき、外部LTC入力に対してTIME CODE OUT端子から出力されるタイムコードの位相の切り替え方を設定します(EEモード時のみ)。 0: 出力映像に合わせる 1: 外部タイムコード入力に合わせる
513	VITC OUT	<u>0000</u> 0001	<u>SBC</u> VAUX	出力ビデオ信号に重畳するVITCの出力方法を設定します。 0: SBC領域に記録されているタイムコードをVITCとして出力 1: VAUX領域に記録されているタイムコードをVITCとして出力 <b>NOTE:</b> ・ 入力ビデオ信号より検出されたVITC情報は、映像が記録されるときに自動的にVAUX領域に記録されます。 ・ 入力信号としてCMPST、SDIが選択されているとき、記録時に出力されるVITCは上記設定に関わらず入力信号に重畳されたタイムコードを出力します。
514	HD EMBD VITC	0000 <u>0001</u>	OFF <u>ON</u>	HD SDI出力にVITC情報を重畳するかしないかを設定します。 0: 重畳しない 1: 重畳する
515	HD EMBD LTC	0000 <u>0001</u>	OFF <u>ON</u>	HD SDI出力にLTC情報を重畳するかしないかを設定します。 0: 重畳しない 1: 重畳する
518	VITC GEN	<u>0000</u> 0001	<u>OFF</u> ON	内部タイムコードジェネレーターの値を、VAUX領域へ記録するかどうかを設定します。 0: 内部タイムコードジェネレーター値を記録しない 入力ビデオ信号にタイムコードが重畳されているときは、その値を記録する 1: 内部タイムコードジェネレーター値を記録する

#### 用語説明

SBC(Sub Code Data)領域:	P2カード上の映像および音声データ領域とは別に存在する領域で、SMPTE / EBUに準拠したタイムコード、記録日時などの情報が格納されます。
VAUX(Video Auxiliary Data)領域:	P2カード上の映像データ領域内に存在する領域で、映像データに関連する付加情報が格納されます。

## VIDEO

ビデオに関する設定を行います。

※「設定値」のxxは工場出荷時の設定です。

項目		設定値		設定内容および概略機能説明
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.	
601	VIDEO INT SG	<u>0000</u> 0001 0002 0003 0004	<u>100%CB</u> 75%CB SMPTE ARIB BLACK	内蔵信号の種類を設定します。SMPTE、ARIB信号は、HDモードのみ有効(SDモード時はブラック)です。 0: 100%カラーバー 1: 75%カラーバー 2: SMPTEカラーバー 3: ARIBカラーバー 4: ブラック
602	SDI IN MODE	<u>0000</u> 0001	<u>DR_OFF</u> DR_ON	HD SDI入力の処理方法を設定します。(DVCPRO HDモードのみ有効) 0: 下位2ビットを四捨五入した上位8ビットを記録 1: ダイナミックラウンディングをかけた上位8ビット信号を記録 <b>NOTE:</b> SD SDI入力ときは、常に下位2ビットを四捨五入した上位8ビット信号が記録されません。
620	DOWNCON MODE	<u>0000</u> 0001 0002	<u>CROP</u> LT-BOX SQUEEZ	ダウンコンバート時の画角を設定します。 0: サイドカットモード 1: レターボックスモード 2: スクウィーズモード
621	UPCONV MODE	<u>0000</u> 0001 0002	<u>S-PANL</u> CROP STRECH	アップコンバート時の画角を設定します。 0: サイドパネルモード 1: 垂直方向の上部と下部のカット 2: ストレッチモード
626	D / C ENH H	0000 <u>0001</u>	0dB <u>+1dB</u>	ダウンコンバート時の水平方向の輪郭を強調するかどうかを設定します。 0: 0dB 1: +1dB
627	D / C ENH V	0000 <u>0001</u>	0dB <u>+1dB</u>	ダウンコンバート時の垂直方向の輪郭を強調するかどうかを設定します。 0: 0dB 1: +1dB
643	OUT MODE SEL	<u>0000</u> 0001 0002 0003	<u>AUTO</u> 1080i 720p 480i	HD/SD SDI OUT1/2端子から出力される映像信号を設定します。 0: 現在の記録、再生フォーマットに従って自動的に出力を切り替える 1: 1080 / 59.94i 2: 720 / 59.94P 3: 480 / 59.94i <b>NOTE:</b> AUTO以外を選択したとき、記録・再生フォーマットと異なる信号は自動的に変換して出力されます。
645	WIDE SELECT	0001 <u>0002</u>	WIDE <u>NORMAL</u>	メニューNo.020 SYS FORMAT = 480i設定時、WIDE情報を記録するかどうかを設定します。 1: 記録する 2: 記録しない
650	STYLE	0000 <u>0001</u>	CMPNT <u>CMPST</u>	レベル調整モードを設定します。 0: コンポーネントスタイルのレベル調整モード 1: コンポジットスタイルのレベル調整モード
651	HUE STYLE(SD)	0000 <u>0001</u>	Pb-Pr <u>U-V</u>	クロマ位相調整の回転軸を設定します。 0: SDI(コンポーネントスタイル)のベクトルスコープ上で正円に回転 1: アナログ(コンポジットスタイル)のベクトルスコープ上で正円に回転

項目		設定値		設定内容および概略機能説明
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.	
653	Y LVL	0000   <u>1000</u>   1413	0.0%   <u>100.0%</u>   141.3%	ビデオ出力のYレベルを調整します(−∞~0dB~+3dB)。 <b>NOTE:</b> メニューNo.650 STYLEがCMPNTに設定されているときに有効となります。
654	Pb LVL	0000   <u>1000</u>   1413	0.0%   <u>100.0%</u>   141.3%	ビデオ出力のPBレベルを調整します(−∞~0dB~+3dB)。 <b>NOTE:</b> メニューNo.650 STYLEがCMPNTに設定されているときに有効となります。
655	Pr LVL	0000   <u>1000</u>   1413	0.0%   <u>100.0%</u>   141.3%	ビデオ出力のPRレベルを調整します(−∞~0dB~+3dB)。 <b>NOTE:</b> メニューNo.650 STYLEがCMPNTに設定されているときに有効となります。
656	BK LVL	0050   <u>0150</u>   0250	−10.0%   <u>0.0%</u>   +10.0%	ビデオ出力のブラックレベルを調整します。 <b>NOTE:</b> メニューNo.650 STYLEがCMPNTに設定されているときに有効となります。
662	V LEVEL	0000   <u>1000</u>   2000	0.0%   <u>100.0%</u>   200.0%	ビデオ出力レベルを調整します(−∞~0dB~+6dB)。 <b>NOTE:</b> メニューNo.650 STYLEがCMPSTに設定されているときに有効となります。
663	C LEVEL	0000   <u>1000</u>   1413	0.0%   <u>100.0%</u>   141.3%	ビデオ出力のクロマレベルの調整を行います(−∞~0dB~+3dB)。 <b>NOTE:</b> メニューNo.650 STYLEがCMPSTに設定されているときに有効となります。
664	HUE	0000   <u>0062</u>   0124	−31.0   <u>0.0</u>   31.0	ビデオ出力のクロマ位相を調整します(約−30° ~+30°)。 <b>NOTE:</b> メニューNo.650 STYLEがCMPSTに設定されているときに有効となります。
665	SETUP	0050   <u>0150</u>   0250	−10.0%   <u>0.0%</u>   +10.0%	ビデオ出力のセットアップレベルの調整を行います。 <b>NOTE:</b> メニューNo.650 STYLEがCMPSTに設定されているときに有効となります。
670	BRIGHT	0001   <u>0008</u>   0015	−7   <u>0</u>   7	液晶モニターの明るさを調整します。
673	CONTRAST	0001   <u>0008</u>   0015	−7   <u>0</u>   7	液晶モニターのコントラストを調整します。
676	BLK CLIP	<u>0000</u> 0001	<u>OFF</u> ON	SD SDIおよびアナログコンポジット出力のY(輝度)信号に対して、ペDESTAL以下の信号をクリップするかどうかを設定します。 0: クリップしない 1: クリップする

項目		設定値		設定内容および概略機能説明
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.	
680	CC (F1) BLANK	0000 <u>0001</u>	BLANK <u>THRU</u>	SD SDIおよびアナログコンポジット出力から出力される第1フィールドのクローズドキャプション信号のON / OFFを設定します。 0: 強制ブランキングする 1: ブランキングしない <b>NOTE:</b> ・ EE時は入力信号に多重されたクローズドキャプションがそのまま出力されます。
681	CC (F2) BLANK	0000 <u>0001</u>	BLANK <u>THRU</u>	SD SDIおよびアナログコンポジット出力から出力される第2フィールドのクローズドキャプション信号のON / OFFを設定します。 0: 強制ブランキングする 1: ブランキングしない <b>NOTE:</b> ・ EE時は入力信号に多重されたクローズドキャプションがそのまま出力されます。
684	EDH(SD)	0000 <u>0001</u>	OFF <u>ON</u>	SD SDI出力にEDHを重畳するかどうかを設定します。 0: 重畳しない 1: 重畳する
685	ESR MODE(SD)	0000 <u>0001</u>	OFF <u>AUTO</u>	再生回路におけるエッジサブキャリアリダクション(ESR)の動作モードを設定します。 0: 強制的にOFFにする 1: 動作モードに応じて自動的にON / OFFを行う
688	CC REC	0000 <u>0001</u>	OFF <u>ON</u>	SD SDIおよびアナログコンポジット入力信号に多重されたクローズドキャプション信号を記録するかどうかを設定します。 0: 記録しない EE出力もブランキングされる 1: 入力信号にクローズドキャプション信号が多重されているときに記録する
690	UMID REC	0000 <u>0001</u>	OFF <u>ON</u>	UMID情報を記録するかどうかを設定します。 0: 記録しない 1: 記録する
691	UMID GEN	0000 <u>0001</u>	INT <u>EXT</u>	メニューNo.690 UMID RECがON設定時、記録するUMID情報の生成方法を設定します。 0: 常に新規生成したUMID情報を記録する 1: 入力信号に多重されたUMID情報を記録する 入力信号に多重されていないときは、新規生成したUMID情報を記録する
692	UMID POS	0000 0001 : <u>0006</u> : 0008	BLANK 12L : <u>17L</u> : 19L	UMID情報を多重するラインを設定します。 <b>NOTE:</b> ・ セットアップメニューNo.501(VITC POS-1)、No.502(VITC POS-2)と同じラインは選択できません。 ・ 記録されたVANCデータに対しては、UMID情報は優先して出力されます。VANCデータを出力するときは、UMID POSを元の多重していたライン以外に設定するか、“BLANK”を選択してください。 ・ ネイティブクリップの再生時はUMIDはBLANKとなります。

## AUDIO

音声に関する設定を行います。

※「設定値」のxxは工場出荷時の設定です。

項目		設定値		設定内容および概略機能説明
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.	
701	CH1 IN LV	<u>0000</u> 0001 0002 0003	<u>4dB</u> 0dB -3dB -20dB	オーディオ入力(CH1)の基準レベルを設定します。
702	CH2 IN LV	<u>0000</u> 0001 0002 0003	<u>4dB</u> 0dB -3dB -20dB	オーディオ入力(CH2)の基準レベルを設定します。
710	MONIL OUT LV	<u>0000</u> 0001 0002 0003	<u>4dB</u> 0dB -3dB -20dB	オーディオモニター出力(Lch)の基準レベル切り替えを選択します。
711	MONIR OUT LV	<u>0000</u> 0001 0002 0003	<u>4dB</u> 0dB -3dB -20dB	オーディオモニター出力(Rch)の基準レベル切り替えを選択します。
713	MONI OUT	0000 <u>0001</u>	UNITY <u>VAR</u>	オーディオモニター出力の音量を、ヘッドホン用の音量調整つまみに連動させるか連動させないかを選択します。 0: 音量つまみの位置に関係なく、固定されたレベルで出力します。 1: 音量つまみに連動します。
731	PB FADE	<u>0000</u> 0001	<u>AUTO</u> CUT	再生時に、クリップとクリップの間、プレイリストおよびエディットコピーで作成したクリップの編集点で行うオーディオ処理を設定します。 0: 記録時の状態に従う(→「音声Vフェード機能」(120ページ)を参照。) 1: 強制カット
732	EMBEDDED AUD	0000 <u>0001</u>	OFF <u>ON</u>	HD SDI出力とSD SDI出力にオーディオデータを重畳するかどうかを設定します。 0: 重畳しない 1: 重畳する
775	25M REC CH	<u>0000</u> 0001	<u>2CH</u> 4CH	DVCPRO(25Mbps)またはDV(25Mbps)を記録する場合のオーディオのチャンネル数を設定します。 0: 2チャンネル記録する 1: 4チャンネル記録する <b>NOTE:</b> DVCPRO HD、AVC-Intra50および100(オプション)では常に8チャンネルを記録し、DVCPRO50では常に4チャンネルを記録します。
776	REF LEVEL	<u>0000</u> 0001 0002	<u>FS-20</u> FS-18 FS-12	基準レベルを設定します。 0: 20dB 1: 18dB 2: 12dB

項目		設定値		設定内容および概略機能説明
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.	
790	VOL SEL	<u>0000</u> 0001 0002	<u>CH1-4</u> CH1-8 MTR SW	<p>記録/再生レベルボリュームの動作を選択します フロントパネルのAUDIO VOL SEL REC/PB,UNITY/VARスイッチと組み合わせて使います。</p> <p>0: CH1~4のみ可変し、CH5~8はUNITYレベルとなります。 1: CH1~4の可変に加えて、CH1~4のボリュームに連動して、それぞれCH5~8も可変します。 2: フロントパネルのMETER SELECT スイッチにしたがってCH1~4またはCH5~8が可変します。</p> <p><b>NOTE:</b> 詳細は下記表を参照ください。</p>

#### AUDIO VOL SEL 詳細動作

VOL SEL (No.790)	METER SELECT スイッチ	REC/PB スイッチ	UNITY/VAR スイッチ	REC		PB	
				CH1-4設定	CH5-8設定	CH1-4設定	CH5-8設定
CH1-4	NONE	REC	UNITY	UNITY	UNITY	UNITY	UNITY
			VAR	VR設定	UNITY	UNITY	UNITY
		PB	UNITY	UNITY	UNITY	UNITY	UNITY
			VAR	UNITY	UNITY	VR設定	UNITY
CH1-8	NONE	REC	UNITY	UNITY	UNITY	UNITY	UNITY
			VAR	VR設定	VR設定	UNITY	UNITY
		PB	UNITY	UNITY	UNITY	UNITY	UNITY
			VAR	UNITY	UNITY	VR設定	VR設定
MTR SW	CH1-4	REC	UNITY	UNITY	UNITY	UNITY	UNITY
			VAR	VR設定	UNITY	UNITY	UNITY
		PB	UNITY	UNITY	UNITY	UNITY	UNITY
			VAR	UNITY	UNITY	VR設定	UNITY
	CH5-8	REC	UNITY	UNITY	UNITY	UNITY	UNITY
			VAR	UNITY	VR設定	UNITY	UNITY
		PB	UNITY	UNITY	UNITY	UNITY	UNITY
			VAR	UNITY	UNITY	UNITY	VR設定

# MENU

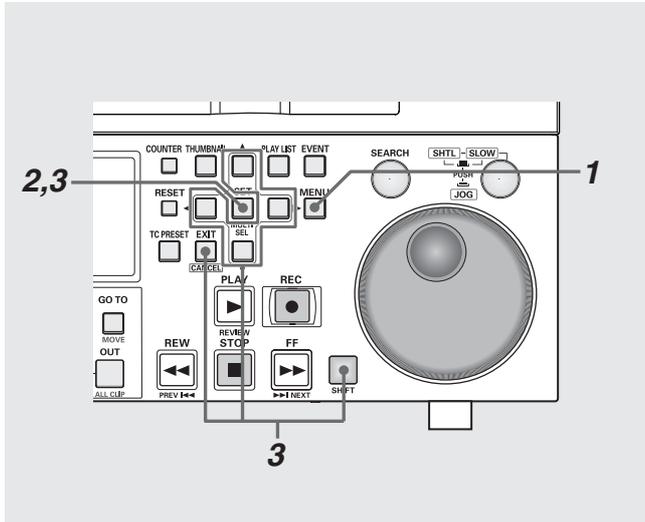
メニューに関する設定を行います。

※「設定値」のxxは工場出荷時の設定です。

項目		設定値		設定内容および概略機能説明	備考
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.		
A00	LOAD	0000 0001 0002 0003	USER2 USER3 USER4 USER5	USER1へロードするユーザーファイルを設定します。 0: USER2の内容をロード 1: USER3の内容をロード 2: USER4の内容をロード 3: USER5の内容をロード <b>NOTE:</b> ロード操作を行った後、MENUボタンを押すと確認画面が表示されます。SETボタンを押すと設定値が記憶されます。EXITボタンを押すと設定値は変更されません。	USER1のみ設定可能。
A01	SAVE	0000 0001 0002 0003 0004	USER2 USER3 USER4 USER5 LOCKED	USER1の設定をセーブするユーザーファイルを設定します。 0: USER2へセーブ 1: USER3へセーブ 2: USER4へセーブ 3: USER5へセーブ 4: すべてのユーザーファイルが変更禁止状態の場合に表示します。 <b>NOTE:</b> ・変更禁止に設定されているユーザーファイルは選択できません。 ・すべてのユーザーファイルが変更禁止状態の場合、「LOCKED」表示となりセーブ操作はできません。	USER1のみ設定可能。
A02	P.ON LOAD	0000 0001 0002 0003 0004	OFF USER2 USER3 USER4 USER5	電源を入れたときに、どのユーザーファイルの内容をUSER1へロードし、USER1の設定で起動するのかが設定します。 0: 前回設定したユーザーファイルで起動 1: USER2の内容をUSER1へロードし起動 2: USER3の内容をUSER1へロードし起動 3: USER4の内容をUSER1へロードし起動 4: USER5の内容をUSER1へロードし起動	USER1のみ設定可能。
A03	MENU LOCK	0000 0001	OFF ON	ユーザーファイル(USER2~USER5)のロックモードの設定/解除を行います。 0: ロック解除(変更可能) 1: ロック設定(変更禁止) <b>NOTE:</b> ・USER1のロック設定はできません。 ・ロックされている場合でもSDカードからの設定の読み込みを行うことができます。読み込み後のロックの状態は読み込んだ設定にしたがいます。	USER2~5のみ設定可能。
A10	CARD READ			SDメモリーカード上の4つのファイルから、読み込むファイルを指定し、メニューへ読み込みます。 読み込みはSYSTEMを含んだUSER1-5とUSER1-5のみを選択できません。	USER1のみ設定可能。
A11	CARD WRITE			SDメモリーカード上の4つのファイルのうち1つへ、メニューの設定値を書き込みます。 書き込みはSYSTEMを含んだUSER1-5すべてを行います。 ファイルには、タイトルをつけることができ、編集することができます。	USER1のみ設定可能。
A12	CARD FORMAT			SDメモリーカードをフォーマットします。	USER1のみ設定可能。

## メニューのSDメモリーカードへの保存について

SETUPメニューの設定をSDメモリーカードへ書き込みおよび読み込みをすることができます。メニューファイルは4つまで対応しており、タイトルを入力することもできます。



```
SETUP-MENU
SD CARD READ
FILE3 480_501

READ OK
```

### CARD READ

- 1 メニューボタンを押しSETUPメニューのUSER1からA10 CARD READを選択し、SETボタンを押す
- 2 ファイルメニューが表示されるため、読み込みたいファイルを選択し、SETボタンを押す
  - 書き込みを行っていないファイルは[NO FILE]と表示されます。
  - SDメモリーカードが挿入されていないときは「NO CARD」と表示されます。

```
SETUP-MENU
SD CARD READ
01 FILE1 1080_601
02 FILE2 720_60P
* 03 FILE3 480_501
04 NO FILE
END
```

- 3 読み込みの確認画面が表示されるので、必要な指示のボタンを押す

SETボタン:	SYSTEM設定とUSER1-5の全データの読み込み
SHIFT+SETボタン:	USER1-5のみのデータの読み込み
EXIT:	読み込みを行わず前の画面へ戻る

- 4 読み込み中の表示の後、完了メッセージが表示される

### CARD WRITE

- 1 メニューボタンを押しSETUPメニューのUSER1からA11 CARD WRITEを選択し、SETボタンを押す
- 2 ファイルメニューが表示されるため、書き込みたいファイルを選択し、SETボタンを押す
  - 書き込みを行っていないファイルは[NO FILE]と表示されます。
  - SDメモリーカードが挿入されていないときは[NO CARD]と表示されます。
- 3 書き込みの確認画面が表示されるので、書き込む場合はSETを、書き込みをせず前の場面へ戻る場合はEXITを押す
  - 書き込み前にタイトルを編集することができます。タイトル位置でカーソルが点滅しているので、文字を入力します。

▲ ▼(上下カーソル):	文字選択
◀ ▶(左右カーソル):	カーソル位置の移動
RESETボタン:	文字をすべてクリア

  - 書き込み中の表示の後、完了メッセージが表示されます。

```
SETUP-MENU MENU
SD CARD WRITE
FILE4 TITLE4

SYSTEM+USER → FILE4 OK?

YES<SET>/NO<EXIT>
```

### FORMAT

- 1 メニューボタンを押しSETUPメニューのUSER1からA12 CARD FORMATを選択し、SETボタンを押す。
- 2 フォーマットの確認画面が表示される。
  - 実行する場合はSETボタンを押します。
  - フォーマットを行わず前へ戻る場合はEXITボタンを押します。
- 3 フォーマット中の表示の後、完了メッセージが表示される。

# タイムコード／ユーザズビット／CTLについて

## タイムコード

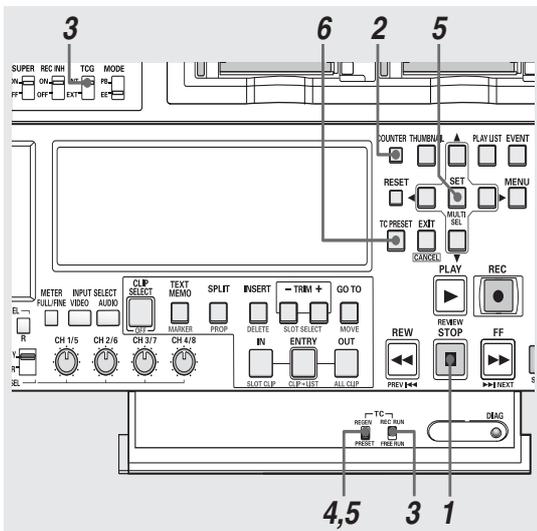
タイムコードは、タイムコードジェネレーターによって発生されるタイムコード信号を記録します。タイムコード値はディスプレイやスーパーインポーズで表示されます。

TCR 00 : 07 : 04 : 24  
↑ ↑ ↑ ↑  
時 分 秒 フレーム

## ユーザズビット

ユーザズビットは、タイムコード信号のうちでユーザーに開放された32ビット(8桁)の情報枠のことで、オペレーターナンバーなどを記録することができます。ユーザズビットに使用できる数字(文字)は0~9とABCDEFです。

## 内部タイムコードの設定



### 1 停止モードにする

### 2 COUNTERボタンで[TC]を選択する

### 3 TCGスイッチで使用するタイムコードをINTに設定する

INT:	本機内蔵のタイムコードを設定する。
EXT:	タイムコード入力端子、または映像信号に重畳されたタイムコードを使用する。

### 4 TC REGEN/PRESETスイッチでプリセットモードを設定する

REGEN:	P2カードに記録された最終タイムコードとのタイムコードの連続性を保つ。
PRESET:	TC PRESET ボタンで設定された値から記録を開始する。

### 5 TC REC RUN/FREE RUNスイッチでタイムコードジェネレーターの歩進方法を設定する

REC RUN:	記録中のみ歩進させる。
FREE RUN:	動作モードに関係なく歩進させる。

手順4で、PRESETを選択したときに、この設定が有効になります。

### 6 TC PRESETボタンを使ってタイムコード／ユーザズビットの開始番号を設定する

手順3で、EXTを選択したとき、または手順4で、REGENを選択したときは、開始番号の設定ができません。

#### 1. TC PRESETボタンを押す

左端の桁が点滅します。

#### 2. 上(▲)、下(▼)ボタンを押すか、またはSEARCHボタンを押しながらサーチダイヤルを回して値を変更する

#### 3. 左(◀)右(▶)ボタンを押すか、またはサーチダイヤルを回して、設定する桁を選択する

選択された桁が点滅します。  
設定範囲は次のとおりです。

タイムコード:	00:00:00:00 - 23:59:59:29
ユーザズビット:	00000000 - FF FF FF FF

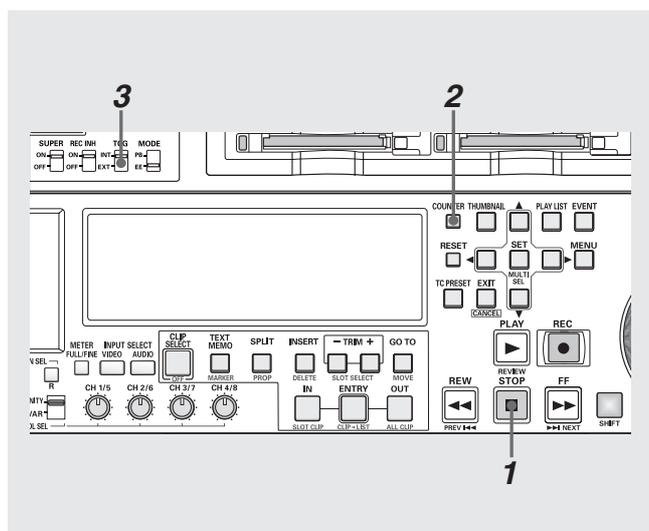
#### 4. 手順2~3を繰り返して、値を変更する

RESETボタンを押すと、プリセット値を0にリセットできます。

#### 5. 開始番号の設定終了後、SETボタンを押す

手順5で「FREE RUN」に設定したときには、すぐにタイムコードの歩進が開始します。

## 外部タイムコードの設定



1 停止モードにする

2 COUNTERボタンで[TC]を選択する

3 TCGスイッチの位置を「EXT」にする  
(外部タイムコードの選択)

4 セットアップメニューNo.507(EXT TC SEL)で以下の設定をする

EXT\_L: リアパネルのTIME CODE IN端子(BNC)に入力されるLTC信号が、タイムコードとして記録されます。

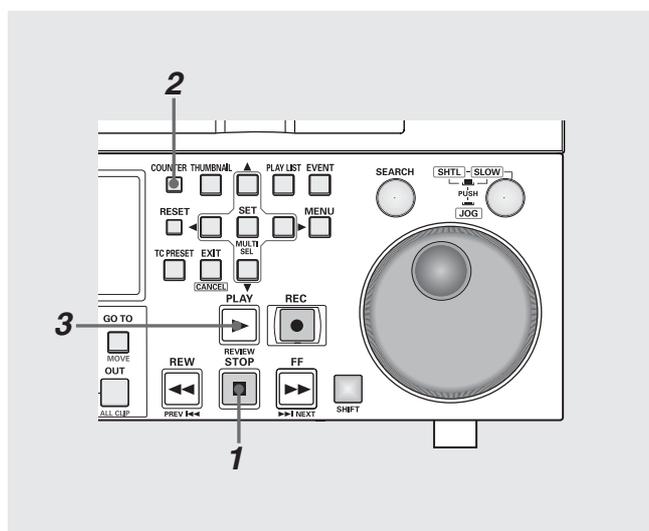
SVITC: SDI IN(HD)端子に入力されるシリアル信号に付加されるVITC信号が、タイムコードとして記録されます。

SLTC: SDI IN(HD)端子に入力されるシリアル信号に付加されるLTC信号が、タイムコードとして記録されます。

◆NOTE:

- SLTC、SVITC 設定時に、入力信号としてアナログコンジットまたはSD SDIが選択されているときは、入力ビデオ信号のVITCが記録されます。

## タイムコード／ユーザズビットの再生



1 停止モードにする

2 COUNTERボタンで[TC]または,[UB]を選択する

3 PLAY▶ボタンを押す

再生が開始され、タイムコードがディスプレイに表示されます。

SUPERスイッチの位置が「ON」のとき、液晶モニターにタイムコード値がスーパーインポーズされます。

T \* R 00:01:04:07\*

±0.5倍未満では、フィールドマークを表示します。  
" " : 第1、第3フィールド  
"\*" : 第2、第4フィールド

タイムコード信号が欠如したとき、\*表示になります。

ドロップフレームモードのときは、秒をフレームの間のコロンが「.」になります。

## ■ 電源供給がないときのタイムコードについて

電源供給がないときもバックアップ機能が働いて、タイムコードジェネレーターは長時間(約1年間)動作を続けます。  
また、電源供給がないときの精度は、月差約±30秒程度です。

## ◆NOTE:

- ・タイムコードジェネレーターが動作モードに関係なく歩進している下記のときに、バックアップ機能は働きます。
  - ・フロントパネルのTC REGEN / PRESETスイッチを「PRESET」に設定し、TC REC RUN/FREE RUNスイッチを「FREE RUN」に設定したとき。
  - ・メニューNo.507 EXT TC SELで設定した外部タイムコード入力、リアパネルの端子から外したとき。

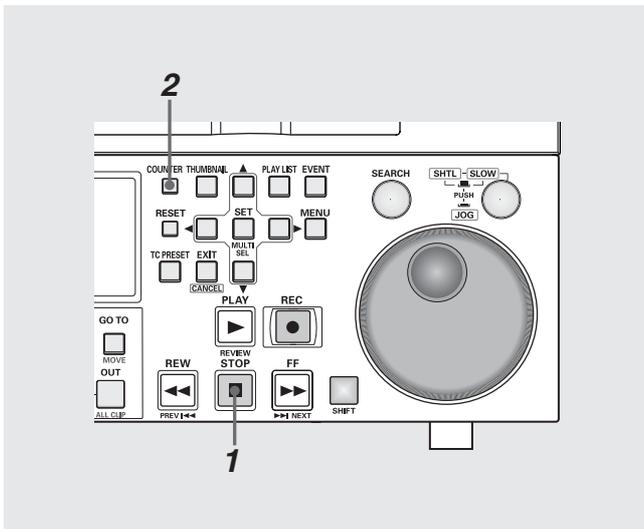
TCG スイッチ	メニュー No.507 EXT TC SEL	メニュー No.518 VITC GEN	ビデオ入力信号選択	記録するタイムコード		
				SBC領域	VAUX領域	
INT	---	OFF	HD SDI	内部TCG値	入力ビデオ信号のSVITC *3	
			CMPST / SD SDI		入力ビデオ信号のVITC *3	
EXT	EXT_L	OFF	HD SDI	TIME CODE IN端子入力のタイムコード *1	入力ビデオ信号のSVITC *3	
			CMPST / SD SDI		入力ビデオ信号のVITC *3	
	EXT_L	ON	HD SDI	TIME CODE IN端子入力のタイムコード *1		
			CMPST / SD SDI			
	SLTC	OFF	HD SDI	入力ビデオ信号のSLTC *2	入力ビデオ信号のSVITC *3	
			CMPST / SD SDI	入力ビデオ信号のVITC *2	入力ビデオ信号のVITC *3	
		SLTC	ON	HD SDI	入力ビデオ信号のSLTC *2	
				CMPST / SD SDI	入力ビデオ信号のVITC *2	
	SVITC	OFF	HD SDI	入力ビデオ信号のSVITC *2	入力ビデオ信号のSVITC *3	
			CMPST / SD SDI	入力ビデオ信号のVITC *2	入力ビデオ信号のVITC *3	
SVITC		ON	HD SDI	入力ビデオ信号のSVITC *2		
			CMPST / SD SDI	入力ビデオ信号のVITC *2		

\*1: TIME CODE IN端子入力から信号が検出できないときは、内部TCG値となります。

\*2: 入力ビデオ信号からSLTC、SVITC、VITCが検出できないときは、内部TCG値となります。

\*3: 入力ビデオ信号からSVITC、VITCが検出できないときは、未記録となります。

## CTLモード



### 1 停止モードにする

### 2 COUNTERボタンで[CTL]を選択する

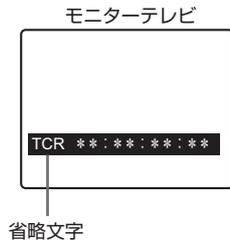
再生時は、先頭から再生する相対位置が表示されます。  
記録時は、カウンター値が「0:00:00:00」から開始されます。記録終了時は、先頭からの相対位置が表示されます。

## ◆NOTE:

- ・CTLモード時は、RESETボタンを押すとカウンター表示が「0:00:00:00」になります。(録再モード時)

# スーパーインポーズ画面

コントロール信号やタイムコードなどが省略文字で表示されます。



## 省略文字

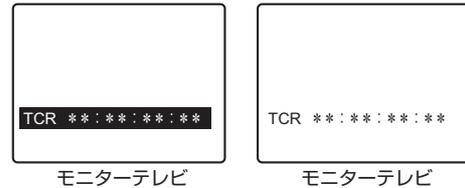
CTL	先頭からの相対位置
TCR	記録されたタイムコードデータ
TCR.	VAUX領域に記録されたタイムコードデータ
UBR	記録されたユーザーズビットデータ
UBR.	VAUX領域に記録されたユーザーズビットデータ
TCG	タイムコードジェネレーターのタイムコードデータ
UBG	タイムコードジェネレーターのユーザーズビットデータ

## ◆NOTE:

- カードから正しくデータを読み取ることができなかったときは、「T\*R」や「U\*R」が表示されます。

## 表示文字

スーパーインポーズの表示文字の背景色は、セットアップメニューNo.009(CHARA TYPE)で変更することができます。

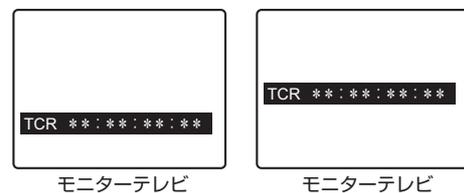


## ◆NOTE:

- プレイリストの再生時はメニュー設定にかかわらず白地に黒文字となります。

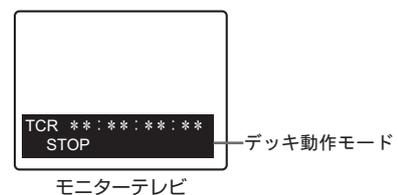
## 表示位置

スーパーインポーズの表示位置は、セットアップメニューNo.007(CHARA H-POS)とNo.008(CHARA V-POS)で変更することができます。



## 動作モード

セットアップメニューNo.006(DISPLAY SEL)を設定して、デッキの動作モードを表示することができます。

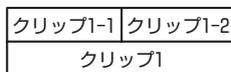


# 音声Vフェード機能

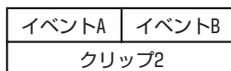
セットアップメニューNo.731(PB FADE)の設定によるオーディオ処理の違いを説明します。セットアップメニューNo.731(PB FADE)の設定に従って、クリップ選択再生やプレイリスト再生を行うときなどに、クリップ間、イベント間でVフェード/カット処理が行われます。

P2カードにまたがったクリップと、エディットコピーにより作られたクリップを例に説明します。

- ・P2カードにまたがったクリップまたは、8GB以上のP2カードを使用して、自動的に分割記録されたクリップ

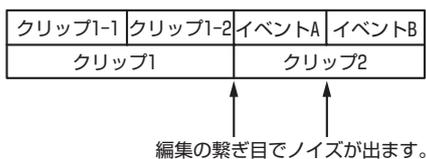


- ・AJ-SPD850でエディットコピーにより作られたクリップ



上記2種類のクリップを再生すると、セットアップメニューNo.731の設定により、次のようになります。

- ・CUTに設定しているとき



- ・AUTOに設定しているとき



クリップ間およびイベント間で、自動的にVフェード処理が行われます。

ただし、次の箇所では、Vフェード処理は行われません。

- ・複数のP2カードにまたがったクリップ
- ・8 GB以上のP2カードを使用して自動的に分割記録されたクリップ

# 未永くお使いいただくために

## 結露

結露が起こるのは、暖房を入れた部屋の窓ガラス一面に水滴(露)が付くのと同じ原理です。本機やカードを温度・湿度差の大きいところに移動したときに起こります。

- 湯気が立ちこめる湿度の多いところや、暖房を入れた直後の部屋へ移動したとき
- 冷房を入れているところから急に温度・湿度の高いところへ移動したとき
- このようなところへ移動したときは、すぐ電源を入れずに、10分程度放置したままでお待ちください。

## お手入れについて

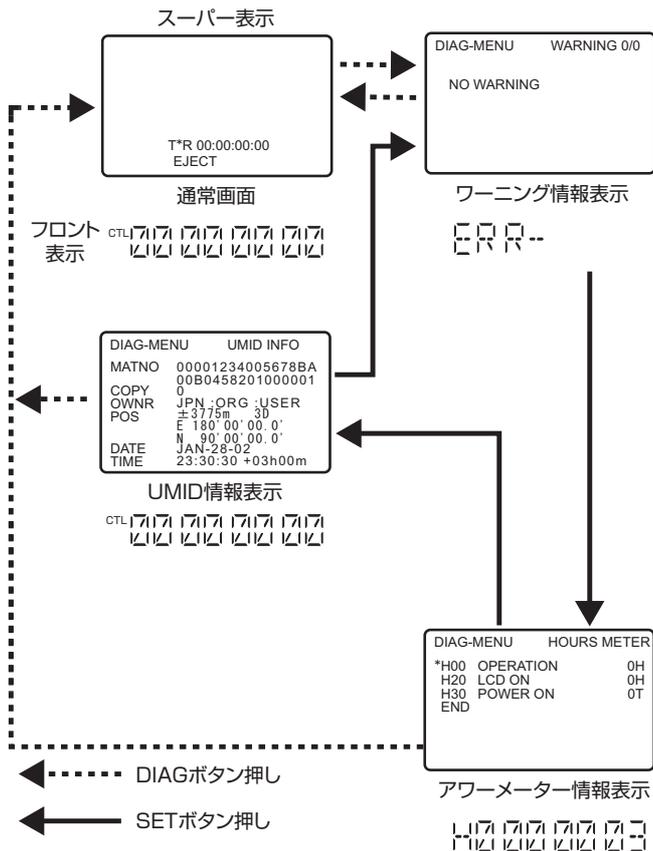
- お手入れ前には、電源スイッチをOFFにし、必ず電源プラグを持ってコンセントから抜いてください。
- キャビネットの清掃は、柔らかい布で行ってください。
- 汚れのひどいときは、台所用洗剤をうすめ、布に浸して固く絞ってふきます。汚れをふき取ったのち、乾いた布で仕上げを行ってください。

### ◆NOTE:

- アルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤は使用しないでください。外装部品表面の変色や、塗装が落ちる原因になります。

# エラーメッセージ

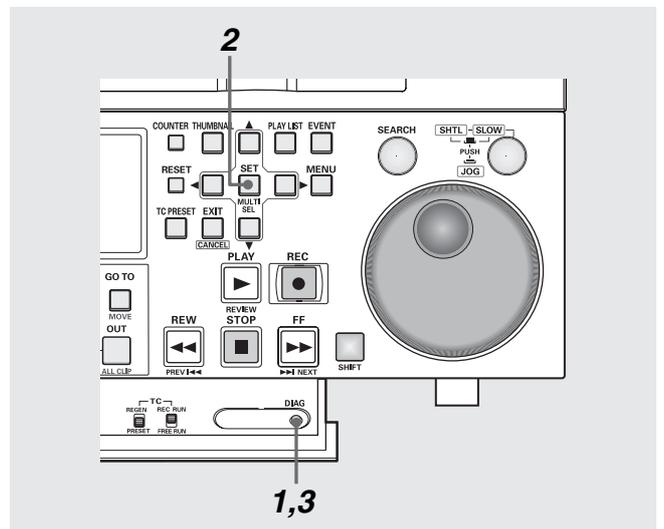
本機にワーニングが発生すると、カウンター表示部にエラー番号が表示されます。ダイアグメニューを開くとカウンター表示部、液晶モニターにその内容が表示されます。また、本機の動作に異常が発生すると、カウンター表示部にエラー番号が点滅表示されます。



## ダイアグメニュー

デッキの情報を表示します。デッキの情報にはワーニング情報、シリアル番号、アワーメーター(使用時間)情報、UMID情報があります。液晶モニター部および、VIDEO MON 端子、SD SDI MON 端子にモニターテレビを接続しているときは、モニターテレビにダイアグメニューが表示されます。

## ダイアグメニューの表示



### 1 DIAGボタンを押す

モニター部にダイアグメニューの画面が表示され、カウンター表示部にメッセージがそれぞれ表示されます。

### 2 SETボタンを押す

押すたびに、ワーニング情報、アワーメーター情報、UMID情報の表示が切り替わります。

### 3 再度DIAGボタンを押す

元の表示に戻ります。

## ワーニング情報の表示

- ワーニング発生時は、ワーニングメッセージが表示されます。  
ワーニングが発生していないときは、「NO WARNING」と表示されます。
- 複数のワーニングが発生したときは、サーチダイヤルを回すと各内容を確認することができます。  
「セットアップメニューNo.006(DISPLAY SEL)」で「T&S&M」を選択しているとき、ワーニングまたはエラー発生時に、モード表示部にメッセージが表示されます。複数発生時は、優先順位の高いものが表示されます。

優先	モニター表示	内容	デッキ動作	カウンター表示部
1	CANNOT REC	P2カードに記録ができないときに表示されます。 【原因】 ・ライトプロテクトがされているときに、記録しようとした ・カードに容量がないときに記録しようとした ・使えないカードに記録しようとした ・記録中にカード状態が変わった ・BUSY中に記録しようとした	STOP	CANT REC
2	CANNOT PLAY	再生できなかったときや、クリップの異常などのときに表示されます。 【原因】 ・クリップがないときに再生しようとした ・使えないカードを再生しようとした ・その他の原因で再生を受け付けられないか、または再生が停止した ・BUSY中に再生しようとした	STOP	CANTPLAY
3	CANNOT ENTRY	登録できない箇所(IN / OUT / スプリット点を登録しようとしたときに表示されます。	動作継続	CANT ENT
4	CHECK A.SPLIT POINT	オーディオスプリット設定があるため、IN / OUT / スプリット点の登録ができないときに表示されます。	動作継続	CANT ENT
5	OVER DUR TIME	登録しようとしている区間が24時間を超えるとときに表示されます。	動作継続	CANT ENT
6	MAX EVENTS	プレイリストに登録できるイベントが上限に達しています。	動作継続	CANT ENT
7	INVALID	テキストメモがすでに100個あり、新規に追加できないときに表示されます。	動作継続	INVALID
8	BUSY	クリップ情報を読み込み中や、クリップ構成が変化しているときに表示されます。この表示中は、操作ができません。 【原因】 ・カード挿抜時 ・UPDATING中 ・記録後処理中 ・その他	動作継続	BUSY
9	INT SG	INPUT SELECT VIDEOボタンでSGが選択されている、あるいはINPUT SELECT AUDIOボタンでSGが選択されているときに、RECボタンを押してEEモードになるときの開始2秒間表示されます。	動作継続	INT SG
10	NO INPUT	アナログオーディオを除き、INPUT SELECTボタンにより選択されている端子に入力信号がないときに、RECボタンを押してEEモードになるときの開始2秒間表示されます。	動作継続	NO INPUT
11	TEXT MEMO	テキストメモを挿入したときに2秒間表示されます。	動作継続	TEXT MEMO
12	MARK ON/OFF	ショットマークを付加、消去したときに2秒間表示されます。	動作継続	MARK ON / MARK OFF
13	CHANGE THUMBNAIL	再生中のサムネイルを変更したときに2秒間表示されます。	動作継続	CHG THUMB

## ワーニング情報

カウンター表示部にE-\*\*\*が点灯したとき、DIAGボタンを押してダイアグメニューを開くと、内容が表示されます。

優先	表示		内容	デッキ動作
	No	文字		
1	26	CARD ERROR<****>	記録中にP2カードが原因でデータ異常が発生したときに表示されます。 記録停止後も次の操作を行うまで表示されたままです。再生時に発生したときは表示されません。(*は発生したスロット番号) エラーが発生したスロットのP2カードを交換してください。	STOP
2	21	REC WARNING	記録中に映像や音声に異常が発生したときに表示されます。 一度電源を切ってからご使用ください。	STOP
3	50	BATTERY EMPTY	電源ON時に内蔵時計のバックアップ電池の電圧低下を検出したときに表示します。内蔵電池を交換してください。 <sup>*1</sup>	動作継続
4	10	FAN STOP	ファンモーターが停止したときに表示されます。	動作継続
5	70	DIR NG CARD<****>	ディレクトリ配置が不正なP2カードです。速やかにカードのバックアップを取り、本機にてフォーマット後ご使用ください。(*は発生したスロット番号)	動作継続
6	71	RUNDOWN CARD<****>	P2カードの規定の書き換え回数を超過しています。P2カードの交換をお勧めいたします。(*は発生したスロット番号)	動作継続 <sup>*2</sup>

### ◆NOTE:

\*1 バックアップ電池が消耗すると「E-50」が表示され、内蔵時計が初期化されます。お買い上げの販売店にご相談の上、新しい電池(CR2032 相当品)との交換をお買い上げの販売店に依頼してください。電池交換後は、必ず内蔵の時計の設定を、「セットアップメニューNo.069(CLOCK SET)」で行ってください。

\*2 動作は継続しますが正常に記録または再生されない事があります。

サムネール・プレイリスト画面で問題のある操作を行ったときなどに、ワーニングが表示されます。

項目	メッセージ	内容	対応
サム ネール	CANNOT ACCESS!	コンテンツ不良などによりデータへアクセスできません。	メディア、クリップを正常な状態としてからご使用ください。
	WRITE PROTECTED!	P2、SDカードがライトプロテクトされています。	書き込み可能なメディアを挿入してください。
	CARD FULL!	P2、SDカードが一杯です。	空き領域のあるメディアを挿入してください。
	NO CARD!	P2、SDカードが入っていません。	対応メディアを挿入してください。
	CANNOT DELETE !	コンテンツバージョンが不整合のため削除できません。	機器とコンテンツのバージョンをあわせてください。
	UNKNOWN CONTENTS FORMAT!	コンテンツバージョンが不整合のときの警告です。	機器とコンテンツのバージョンをあわせてください。
	CANNOT FORMAT!	P2カードなどの問題でフォーマットができません。	P2カードを確認してください。
	CANNOT REPAIR!	異常がないコンテンツを選んでる等で修復ができません。	選択しているコンテンツを確認してください。
	CANNOT RE-CONNECT!	またぎクリップではないコンテンツを選んでるなどでクリップの再結合ができません。	選択しているコンテンツを確認してください。
	NO INPUT!	データが入力されていません。	データを入力してから設定をしてください。
	INVALID VALUE!	入力しようとしたデータ値が不正規です。	正常な範囲のデータを設定してください。
	UNKNOWN DATA!	メタデータの文字コードが不正規です。	メタデータの文字コードはUTF-8となっています。ビューアーなどで正しい文字を入力してください。
	CANNOT REPAIR IN SELECTION!	選択したクリップの一部が修復できませんでした。	
	NO SD CARD!	SDカードがありません。	SDカードを挿入してください。
	NO COPY TO SAME CARD!	コピー元とコピー先が同じカードのためコピーできません。(コピー元に同一クリップ重複時もコピーできません)	選択しているクリップが入っていないカードへコピーをしてください。
	USER CLIP NAME MODIFIED!	クリップ名にカウンター値を付加するときに文字削除が必要となりました。	カウンター付加の設定でユーザークリップ名とカウンターは合わせて100バイトまでしか保存できませんので、文字を自動的に削除します。
TOO MANY CLIPS!	選択しているクリップが多すぎます。	選択しているクリップ数を減らしてください。	
LACK OF REC CAPACITY!	カードの記録容量が不足しています。	記録容量の十分あるカードを挿入してください。	
HDD	HDD CAPACITY FULL!	HDDの空き容量が足りません。	接続先のターゲットの残容量が足りないため、新しいHDDまたはフォーマットしたHDDを使用してください。
	TOO MANY PARTITIONS!	パーティションが多すぎます。	HDDの最大パーティション数は23です。新しいHDDまたはフォーマットしたHDDを使用してください。
	HDD DISCONNECTED!	HDDとの接続が切断されました。	USBを付け直してください。またその後正常に動作しないときは、一度電源をOFFにして、再び電源をONにしてください。
	CANNOT FORMAT!	初期化できません。	接続しているHDDを変更してください。
	TOO MANY TARGETS!	複数の機器が接続しています。	接続を解除後、一度電源をOFFにして、再び電源をONにしてください。
	UNKNOWN DEVICE CONNECTED!	未対応のDVDドライブなどが接続されています。	接続を解除後、一度電源をOFFにして、再び電源をONにしてください。
	CANNOT ACCESS TARGET!	接続先のターゲットのアクセス中にエラーが発生しました。	HDDの状態や接続を確認してください。
	CANNOT RECOGNIZE HDD!	接続先のターゲットが正しく認識できません。	HDDの電源を入れ直すか、接続するHDDを変更してください。
CANNOT ACCESS CARD!	P2カードのアクセス中にエラーが発生しました。	P2カードを確認してください。	

項目	メッセージ	内容	対応
HDD	MISMATCH COMPONENT!	コピー元とコピー先のP2カードの品番が不一致のため、コピーできません。	正しい品番のP2カードを使用してください。
	P2 CARD IS UNFORMATTED!	P2カードが未フォーマットです。	フォーマットされたP2カードを使用してください。
	CARD IS EMPTY! CANNOT COPY!	コピーするP2カードが空です。	空のカードはコピーする必要がないためコピーを行いません。
	VERIFICATION FAILED!	コピー後のコンペアが不一致でした。	再度コピーを行ってください。
	PLEASE FORMAT P2 CARD!	HDD→P2へのインポート時に、P2カードが記録済のためコピーできない警告です。	コピー先のP2カードが空でないため、コピーできません。P2機器でフォーマットした後に再度コピーを行ってください。
プレイリスト	NO FILE!	指定されたファイルが存在しません。	SAVE ASにて保存するか、正しいカードを挿入してください。
	READ ONLY PLAYLIST VERSION!	プレイリストファイルのバージョンが異なるため、読み取り専用で開きます。	AJ-SPD850で作成したプレイリストは読み取り専用となります。編集するときには一度保存してください。
	CANNOT FIND CLIP!	対象クリップが見つかりません。	対象のクリップのあるカードを挿入してください。
	INCLUDE MULTI FORMAT!	フォーマットが混在しています。	フォーマットが混在しているプレイリストファイルは読み込めません。
	READ ONLY 100 EVENTS!	プレイリストファイルがイベントの上限を超えています。	イベントの上限は100イベントです。読み込み専用としてファイルを開きます。
	DIFFERENT PLAYLIST VERSION!	プレイリストファイルのバージョンが異なります。	プレイリストファイルのバージョンが異なるときは、取り込むことができません。
	INCLUDE ILLEGAL EVENT!	不正なイベントが混在しています。	イベントを正しい状態に修正してください。
	WRITE PROTECTED!	指定したカードが書き込み禁止状態です。	書き込みが可能なメディアを使用してください。
	NO SPACE!	カードの空き容量がありません。	
	ILLEGAL FILE!	取り込むイベントファイルが不明なフォーマットです。	フォーマットが一致したクリップを使用してください。
	DIFFERENT FORMAT!	編集中のプレイリストと取り込むイベントやクリップの編集フォーマット(コーデック、フレームレート)が異なります。	編集フォーマットが一致したクリップを使用してください。
	NUMBER OF FILE LIMITATION!	プレイリストファイル数が上限に達しています。	プレイリストファイルは1カードに最大999個です。不要なファイルを削除するか新しいカードを使用してください。
	NUMBER OF EVENT LIMITATION!	イベント数が上限に達しています。	イベント数の上限は100のため、それ以下の状態で操作を行ってください。
	CANNOT OPERATE AT A.DUB EVENT!	EXTRAオーディオ区間での操作はできません。	EXTRAオーディオ区間では禁止されている操作が行われました。区間外での操作、もしくはEXTRAオーディオイベントを削除して操作を行ってください。
	CANNOT OPERATE AT "RED" EVENT!	再生不可(赤色表示)イベントでの操作はできません。	再生不可イベントでは禁止されている操作が行われました。再生可能イベントでの操作、もしくは対象クリップの入ったカードの挿入を行ってください。
	DURATION LIMITATION	プレイリストのデュレーションが24時間以上となるため操作できません。	操作が必要なときは、デュレーションを24時間以内に削減してください。
	DIFFERENT SYSTEM FREQUENCY!	システム周波数が異なるファイルです。	同じシステム周波数のファイルを使用してください。
	NOT SELECTED!	クリップが選択されていません。	サムネイル画面でクリップを選択してください。
	INCLUDE COLLAPSE CLIP!	異常なクリップが含まれています。	正常なクリップを使用してください。
	CANNOT FIND SAME FORMAT!	編集フォーマットに合うクリップがありません。	編集フォーマットに合ったクリップを使用して行ってください。
	NO CARD!	指定されたカードがありません。	カードを挿入してから操作してください。
	INCLUDE DIFFERENT ASPECT RATIO!	アスペクト比が混在しています。	アスペクト比は混在できませんので、同じアスペクト比のクリップを使用してください。
	LACK OF REC CAPACITY!	エディットコピーするカードの容量が不足しています。	空き容量の十分なメディアを挿入してください。

項目	メッセージ	内容	対応
プレイリスト	CANNOT ADD	プレイリストファイルまたはカードの異常によりプレイリスト追加読み込みができませんでした。	正しいプレイリストファイルもしくはカードを使用してください。
	NOT AVAILABLE FORMAT!	現在、利用できない編集フォーマットです。	AVC-IntraコーデックボードAJ-YBX200G(オプション)を装着し、使用している編集フォーマットを利用できる状態にしてください。
NET WORK	CANNOT ADD	ユーザを追加出来ません。	既に登録されているユーザ名と同じです。ユーザ名を変更してください。
	CANNOT ADD NO INPUT	ユーザ名もしくはパスワードが入力されていません。	ユーザ名もしくはパスワードを正しく入力してください。
	CANNOT ADD RETRY PASSWORD IS DIFFERENT	入力されたパスワードが一致していません。	パスワードを正しく入力してください。
	NO LINK	LANとの接続に問題があります。	LANとの接続を確認してください。一度、パワーオフしてからご使用ください。
	DHCP TIMEOUT	DHCPサーバとの接続に問題があります。	DHCPサーバの設定を確認してください。一度、パワーオフしてからご使用ください。
	LAN INITIAL ERROR	LANを初期化できません。	一度、パワーオフしてからご使用ください。再度メッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

## エラー情報

エラー		内容	動作	備考
番号	メッセージ			
E-30	TURN POWER OFF	カードの読み書きに異常が発生したときに表示されます。一度、電源を切ってからご使用ください。	STOP	
E-37	COMM ERROR	システムコントロールの指示に従わない場合に表示されます。一度、電源を切ってからご使用ください。	STOP	
E-38	SYSTEM ERROR	通信異常が発生したときに表示されます。一度、電源を切ってからご使用ください。	STOP	
E-39	CONFIG ERROR	AVC-IntraコーデックボードAJ-YBX200G(オプション)のコンフィグレーションができない場合に表示します。AVC-IntraコーデックボードAJ-YBX200G(オプション)の故障が考えられますのでお買い上げの販売店にご相談ください。	STOP	
E-49	LAN ERROR	LANの接続・切断に失敗したときなどに表示します。一度、パワーオフしてからご使用ください。再度E-49が表示される場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	STOP	

## アワーマーター情報の表示

▲▼ボタンを押すとカーソル(\*)が移動し、カーソルのある項目の内容がカウンター表示部に表示されます。

番号	項目	内容	カウンター表示部
Ser	*****	デッキのシリアルNo.が表示されます。	
H00	OPERATION	電源が入っている時間が、1時間単位で表示されます。	0H~99999H
H20	LCD ON	液晶モニターが点灯している時間が1時間単位で表示されます。	0H~99999H
H30	POWER ON	電源を入れた回数が、1回単位で表示されます。	0T~99999T

### ◆NOTE:

- エラー表示があるときは、カウンター表示部にアワーマーターは表示されません。

## ショートカット一覧

ショートカットキー	サムネールGUI時		プレイリストGUI時	
	名称	内容	名称	内容
SHIFT+FF/UP	TOP	先頭のサムネールへ移動	TOP	先頭のイベントへ移動
SHIFT+REW/DOWN	BOTTOM	最後のサムネールへ移動	BOTTOM	最後のイベントへ移動
IN+GOTO	---	---	GOTO IN	現在位置のイベントのIN点へシーク
OUT+GOTO	---	---	GOTO OUT	現在位置のイベントのOUT点へシーク
SHIFT+RESET	KB CLEAR	ソフトキーボードのテキストをクリアする	NEW	プレイリストの新規作成
SHIFT+ENTRY	---	---	CLIP→EVENT	選択しているクリップをイベントとして取り込む
SHIFT+IN	DISP.SLOT CLIPS	サムネール表示を個々のスロットのみの表示や選択クリップのみの表示に切り替え、押すたびに順に切り替わる	IN TRIM	R IN/P INのトリミングの選択
SHIFT+OUT	DISP.ALL CLIP	サムネールの表示を全クリップの表示に切り替える	OUT TRIM	R OUT/P OUTのトリミングの選択
SHIFT+INSERT	DELETE	選択している全クリップを削除	DELETE	選択している全イベントを削除
SHIFT+SPLIT	CLIP PROPERTY	カーソル位置のクリッププロパティを表示	EVENT PROPERTY	カーソル位置のイベントプロパティを表示
SHIFT+GOTO	CLIP PROPERTY	カーソル位置のクリッププロパティを表示	MOVE	選択しているイベントの移動
RESET	---	---	IN/OUT CLEAR	P IN/OUT,R IN/OUT点の登録を解除する
SHIFT+SET	MULTI SELECT	サムネールの複数選択	MULTI SELECT	イベントの複数選択
SHIFT+EXIT	CANCEL	選択の解除/コピーなどの中断	CANCEL	選択の解除/コピーなどの中断

ショートカットキー	サムネールオフ、サムネールからの再生時		プレイリスト イベント/上書き区間登録時	
	名称	内容	名称	内容
IN+OUT	---	---	DURATION	IN-OUT間のデュレーションの表示
IN+RESET	IN POINT RESET	IN点を解除する	IN POINT RESET	IN点を解除する
OUT+RESET	OUT POINT RESET	OUT点を解除する	OUT POINT RESET	OUT点を解除する
SPLIT+RESET	---	---	SPLIT POINT RESET	SPLIT点を解除する
IN+ENTRY	ENTRY IN POINT	INボタンへCUEUP点を登録する	ENTRY IN POINT	イベントのIN点を登録する
OUT+ENTRY	ENTRY OUT POINT	OUTボタンへCUEUP点を登録する	ENTRY OUT POINT	イベントのOUT点を登録する
IN+GOTO	CUEUP TO IN POINT	INボタンの登録点へCUEUPする	SEEK TO IN POINT	IN点へシークする
OUT+GOTO	CUEUP TO OUT POINT	OUTボタンの登録点へCUEUPする	SEEK TO OUT POINT	OUT点へシークする

ショートカットキー	サムネールオン/オフ時	
	名称	内容
SHIFT++	SLOT SELECT(+)	記録対象スロットを順方向へ移動
SHIFT+-	SLOT SELECT(-)	記録対象スロットを逆方向へ移動

ショートカットキー	名称	内容
TRIM +/-	ファイル名表示	
	PAGE JUMP	ページ送り/戻し
	HDD EXPLORE表示時	
	PARTITION JUMP	パーティションの送り/戻し
	プレイリスト表示時	
	TL ZOOM	タイムラインの拡大/縮小
	R IN/OUT,P IN/OUTトリム選択時	
	TRIM	各登録点のトリム

ショートカットキー	ソフトキーボード使用時	
	内容	
DELETE	BACKSPACE	
GOTO	CAPS LOCK	
ENTRY	OK	
EXIT	EXIT	
SHIFT+REW	テキストの先頭へ移動	
-	一文字左へ移動	
+	一文字右へ移動	
SHIFT+FF	テキストの最後へ移動	
SHIFT+RESET	テキストの全消去	

# RS-232Cインターフェースについて

RS-232Cインターフェースを使用して本機とパーソナルコンピュータ等を接続することにより、コマンドによる本機の操作が可能になります。

## RS-232Cインターフェースからの コマンド受け付け条件

- フロントパネルのREMOTEボタンが点灯します。
- 上記条件が成立していない場合は、外部に対して[ACK] + [STX]ER001[ETX]の返答を行います。

## ハードウェア仕様について

### ■ 端子仕様

コネクター:D-SUB 9ピン

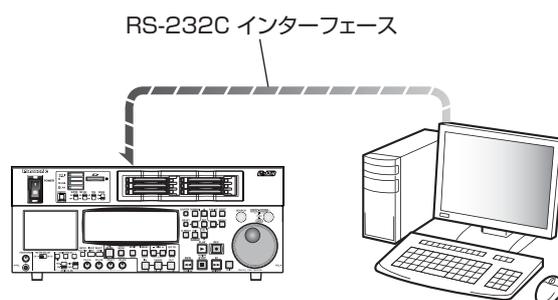
ピンNo.	信号	内容
1		(未使用)
2	TXD	送信データ(PCからデータを受信する)
3	RXD	受信データ(PCへデータを送信する)
4	DSR	データセットレディ (通信可能状態後正電圧出力)
5	SG	信号用接地(信号用GND)
6	DTR	データ端末レディ(未処理)
7	CTS	送信可(8番ピンと短絡)
8	RTS	送信要求(7番ピンと短絡)
9		(未使用)

## ソフトウェア仕様 (プロトコル) について

### ■ 通信条件

通信方式	調歩同期式・全二重
通信速度	9600
ビット長	8Bit
ストップビット	1bit
パリティビット	NONE
ACK コード	返信する

## 送信フォーマットについて



### ■ データフォーマット

[STX] [command] [:] [data] [ETX]  
02h XX XX XX 3Ah XX.....XX 03h  
20H<XX<7FH  
(XX=ASCII コード:記号、数字、英大文字)

command コマンド識別子(3バイト)です。コマンドとして3バイトの識別子(ASCIIコード:記号、数字、英大文字)を送信します。

: コロンは、コマンドとデータとの区切りを意味するコードです。

data 必要なバイト数のデータ(ASCIIコード:記号、数字、英大文字)を付け加えることができます。

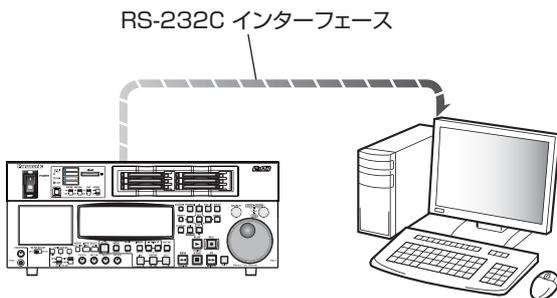
### ■ コントローラからの送信手順

送信コマンドは、STX(START OF TEXT = 02h)で始まります。次に続くCOMMANDによりコマンドの識別を行い、必要に応じてデータを付け加えます。最後にETX(END OF TEXT = 03h)で終了します。

新たに別のコマンドを送信する場合は、本機からの応答を待ってから送信します。

ETXを送信する前に再度STXを送信すると、本機側の内部受信データバッファはクリアされます。コマンドエラーをコントローラへ返信し、再度受信したSTXを先頭として、新たにデータ処理を行います。

## 返信フォーマットについて



コマンド指示に対して、次の応答を行います。必要に応じて複数の応答を行うこともあります。

### ■ 通信が正常終了した場合

#### 1. 受信完了メッセージを返信する

[ACK]

06h

#### 2. 実行完了メッセージを返信する

[STX] [command] [data] [ETX]

02h XX XX XX XX.....XX 03h

command 返信するメッセージ(データ)または、実行完了のメッセージ識別子です。

data 返信するデータです。省略が可能です。

例:

送信コマンド      返信メッセージ (データ)

[STX] OPL [ETX] → [ACK] [STX] OPL [ETX]

### ■ 通信が異常終了した場合

[NACK]

15h

### ■ 間違ったデータまたはデッキに異常があり処理できない場合

#### 1. 受信完了メッセージを返信する

[ACK]

06h

#### 2. エラーコードを返信する

[STX] [ERN<sub>1</sub>N<sub>2</sub>N<sub>3</sub>] [ETX]

02h エラーコード 03h

#### エラーコード一覧

ER001	無効コマンド ・未対応コマンド受信 ・コマンド実行エラー
ER002	パラメータエラー
ER1FF	デッキシステムエラー

## コマンド一覧

### 動作制御(Operation)関連コマンド

#### ◆NOTE:

- 送信コマンドと返信(完了)メッセージの先頭の[STX]と最後の[ETX]は一覧表では記載を省略しています。
- 返信(完了)メッセージは、データ受信時に[ACK]を返信し、その後返信する実行メッセージのみを記載しています。
- 下記表に記載されていないコマンドについては、[ACK]を返信後にER001(無効コマンド)を返信します。

コマンド	動作内容	送信コマンド	引数(data)	返信(完了)メッセージ
STOP	現状動作停止	OSP		OSP
PLAY	再生開始	OPL		OPL
REWIND * <sup>1</sup>	早戻し再生	ORW		ORW
FAST FORWARD * <sup>1</sup>	早送り再生	OFF		OFF
REC	録画開始	ORC		ORC
SHTL FORWARD * <sup>2</sup>	正方向シャトル	OSF:data	0: STILL 1: ×0.03 2: ×0.1 3: ×0.2 4: ×0.5 5: ×1 6: ×2 7: ×4 8: ×8 9: ×16* <sup>2</sup> A: ×32* <sup>2</sup>	OSF
SHTL REVERSE * <sup>2</sup>	逆方向シャトル	OSR:data		OSR
Device Select	デバイス切り換え	\$NI:data	0: 通常 (LOCAL) 1: LAN 2: USB (DEVICE) 3: 通常 (REMOTE) 4: USB (HOST)	\$NI

\*1 最高速度は、セットアップメニューNo.102(FF. REW MAX)の設定により異なります。詳細は、各セットアップメニューをご参照ください。

\*2 ×16倍速と×32倍速は、セットアップメニューNo.101(SHTL MAX)の設定により制限されます。

## 問い合わせ(Question)関連コマンド

### ◆NOTE:

- 送信コマンドと返信(完了)メッセージの先頭の[STX]と最後の[ETX]は一覧表では記載を省略しています。
- 返信(完了)メッセージは、データ受信時に[ACK]を返信し、その後返信する実行メッセージのみを記載しています。
- 下記表に記載されていないコマンドについては、[ACK]を返信

コマンド	問い合わせ内容	送信コマンド	返信(完了)メッセージ	data
CTL/TC DATA REQUEST	カウンター値	QCD	CD data	data = f w gh mm ss ff f = F w = S gh = <u>CTL 時</u> プラスの時 g = SP(20h) マイナス時 -(2Dh) h = 0~9:時  <u>IC 時</u> gh = 00~23:時 mm = 00~59:分 ss = 00~59:秒 ff = 00~29:フレーム
STATUS REQUEST	動作モード	QOP	data	OFF: FAST FORWARD OPL: PLAY ORC: REC ORW: REWIND OSP: STOP SRS: (IN/OUT) PREROLL OSF: SHTL FORWARD OSR: SHTL REVERSE OJG: JOG FORWARD/REVERSE OSW: VAR FORWARD/REVERSE
ID REQUEST	使用機器	QID	data	AJ-HPS1500

# 本機搭載ファームウェアのアップデート

ファームウェアに関する最新情報は、下記ウェブサイトよりP2のサポートページをご覧ください。

日本語：<http://panasonic.biz/sav/>

英語：<https://eww.pavc.panasonic.co.jp/pro-av/>

ファームウェアをアップデートするとき、サムネイルメニューの[PROPERTY-SYSTEM INFO]で本機のバージョンを確認の上、上記のサイトにアクセスし、必要に応じてファームウェアをダウンロードしてください。アップデートはダウンロードしたファイルを、SDメモリーカードを介して本機にロードすることにより完了します。アップデート方法の詳細については、上記サイトをご覧ください。

---

## ◆NOTE:

- 本機で使用するSDメモリーカードは、SD規格に準拠したものをお使いください。  
また、SDメモリーカードのフォーマットは、必ず本機で行ってください。
- マルチメディアカードは使用できません。
- 本機では、以下の容量のSDメモリーカードが使用できます。ただし、SDHCメモリーカードは、ファームウェアのアップデートには使用できません。  
SD(8MB～2GBまで)：8MB、16MB、32MB、64MB、128MB、256MB、512MB、1GB、2GB  
SDHC(4GB～16GBまで)：4GB、8GB、16GB

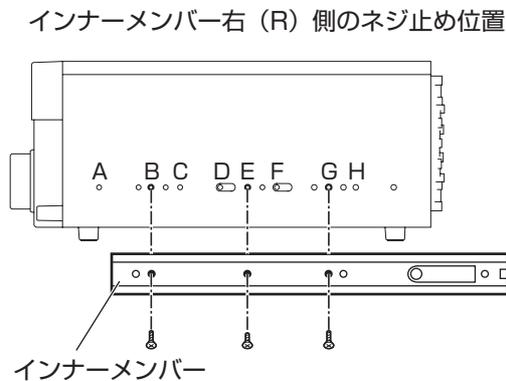
# ラックマウント

本機はラックマウントアダプタAJ-MA75P(オプション)をご使用になりますと19インチ標準ラックに組み込むことができます。取り付けレールは、摂津金属工業株式会社製18インチレール(品番C-305-18)とブラケット(品番RBA2-35)を使用することをお勧めします。

詳しくは販売店にご相談ください。

## ラックに組み込む

### 1 スライドレールのインナーメンバーを取り付ける ネジ止め位置は、下図を参照してください。



#### ◆NOTE:

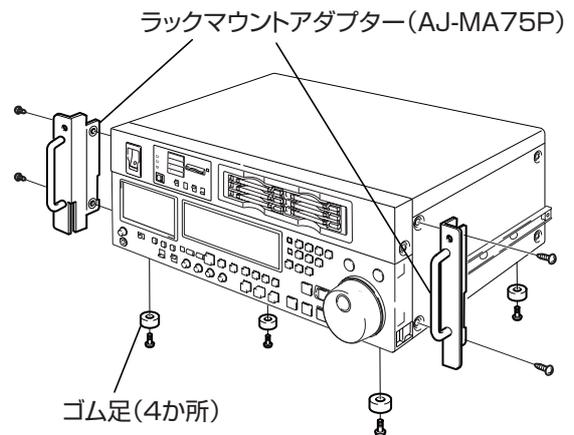
- 使用するネジには、長さの制限があります。  
(B, G: 10mm, E: 6mm)
- 左(L)側も対称の位置で取り付けてください。
- インナーメンバーは、片側3個づつ(計6個)のネジで止めてください。
- サイドパネルには、アルファベットの刻印はありません。

### 2 アウターメンバーのブラケットをラックに取り付ける

左右の高さが同じであるかを確認してください。

### 3 左右のサイドパネルを取り付けている、フロント側のネジ4本を外す。

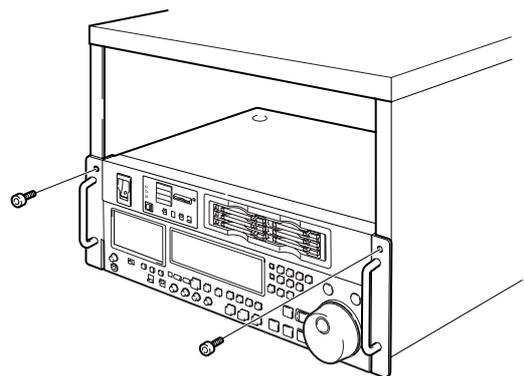
### 4 取り外したネジ4本で、ラックマウントアダプターAJ-MA75Pを取り付ける



### 5 本機底面のゴム足(4か所)を外す

### 6 本機を固定ネジでラックに取り付ける

取り付け完了後、レールの上でスムーズに移動できることを確認します。



#### ◆NOTE:

- ラック内の温度は5℃～40℃に保ってください。
- デッキを引き出したときにラックが倒れないように、ラックをしっかりと床にボルトで固定してください。

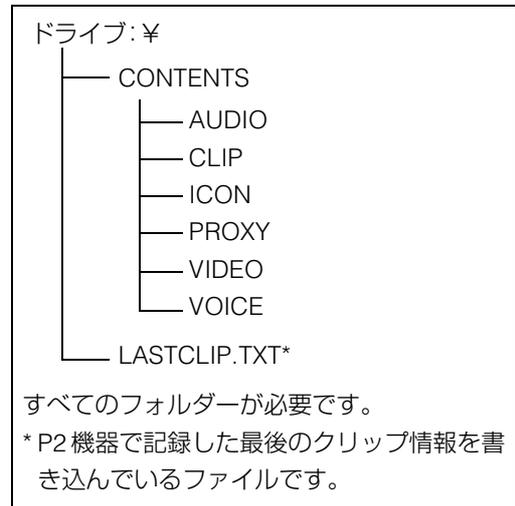
未永くお使いいただくために

# P2カード記録データの取り扱いについて

P2カードはプロフェッショナル映像制作・放送用機器 "DVCPRO P2シリーズ"の記録メディアに採用した、半導体メモリーカードです。

■DVCPRO P2フォーマットの記録データは、ファイル形式のため、PCとの親和性にすぐれていますが、そのファイル構造は独自フォーマットであり、MXFファイル化される映像、音声データだけでなく、様々な重要情報が含まれており、右のようなフォルダー構成にて関連付けられています。

これらの情報が一部分でも変更、または削除されると、P2データとして認識できない、もしくはカードがP2機器で使えなくなるなどの不具合が発生する場合があります。



■P2カード内のデータをPCなどに転送したり、PCに格納したデータをP2カードに書き戻す際は、情報の欠落を防ぐために、必ず専用ソフトウェア「P2ビューアー」を下記のウェブサイトよりダウンロードし、お使いください。(対応OS:Windows 2000、Windows XP、Windows Vista)

(日本語) <http://panasonic.biz/sav/>

(英語) <https://eww.pavc.panasonic.co.jp/pro-av/>

■Microsoft Windows ExplorerやApple Finderなど、一般のITツールを使用してPCに転送する場合は、下記のように行ってください。なお、P2カードへ戻す場合は、必ずP2ビューアーをご使用ください。

- CONTENTS フォルダとLASTCLIP.TXT ファイルごとに行ってください。  
CONTENTSフォルダ以下は、操作しないでください。  
コピーするときは、CONTENTSフォルダと同時にLASTCLIP.TXTファイルも行ってください。
- 複数のP2カードをパソコンに転送する場合、同一クリップ名の上書きを防ぐため、P2カードごとにフォルダを作成してください。
- P2カード内のデータ消去は行わないでください。
- フォーマットする場合は、必ずお使いのP2機器、もしくはP2ビューアーにて行ってください。

- 
- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
  - AppleおよびMacは、米国Apple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。

# 保証とアフターサービス（よくお読みください）

## 故障・修理・お取扱い などのご相談は、まず、 お買い上げの販売店 へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。

\* 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますのでご了承ください。

### 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。

内容をよくお読みいただき、大切に保存してください。

万一、保証期間内に故障を生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

#### 保証期間：お買い上げ日から本体1年間

本機は「P2HD 5 Year(s) Warranty Repair Program」の対象商品です。お客様が本機を購入後1ヶ月以内にウェブサイトからユーザー登録を行うと、最大5年間の無償修理特約が提供されます。より詳しい情報については、下記の、P2 Asset Support Systemウェブサイトをご覧ください。

日本語：[http://panasonic.biz/sav/pass\\_j/](http://panasonic.biz/sav/pass_j/)

英語：[http://panasonic.biz/sav/pass\\_e/](http://panasonic.biz/sav/pass_e/)

### 補修用性能部品

当社では、メモリーカードレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年間保有しています。

\* 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### 保守・点検

保守・点検は機器の機能を常に良好な状態に維持し、お客様が安心してご使用していただくためのものです。

部品の劣化、ごみ、ホコリの付着などにより突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能の維持のために、定期的な保守・点検を推奨いたします。

保守・点検（有料）についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

### メンテナンス時間の目安と実施項目

下記のメンテナンス実施時間は、標準的な目安として設定しており、部品の寿命時間ではありません。また、使用する環境や使用方法により劣化する時間は異なりますので注意してください。

	数量	定期保守点検と時間
ファン	2	12,000時間ごとに交換
LCD	1	LCD ON 10,000時間ごとに交換

### 修理を依頼されるとき

この取扱説明書を再度ご確認ください。お買い上げの販売店までご連絡ください。

#### ■ 保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

#### ■ 保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

#### ■ ご連絡いただきたい内容

品名	メモリーカードレコーダー
品番	AJ-HPS1500
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

# 定格

## 総合

### 電源

AC 100V、50 / 60Hz

### 消費電力

最大80W(フルオプション)

72W(オプションなし)

は安全項目です。

動作周囲温度： 5℃～40℃

動作周囲湿度： 10%～80%(結露なし)

質量： 14kg

外形寸法(幅×高さ×奥行き)：

424.0 mm×175.2 mm×414.7 mm

(セット足、コネクタ、JOGダイヤルを除く)

記録フォーマット： DVCPRO HD / DVCPRO50 / DVCPRO / DV  
フォーマット切り替え

AVC-Intra 100M / 50M(オプション)

記録ビデオ信号： 1080 / 59.94i、720 / 59.94p、480 / 59.94i

記録オーディオ信号： DVCPRO HD： 48 kHz 16bits 8CH

DVCPRO50： 48 kHz 16bits 4CH

DVCPRO / DV： 48 kHz 16bits 2CH

(4CH切り替え可)

## 記録時間：

カード 品番	使用 枚数	記録方法		
		DVCPRO (オーディオ 2CH)	DVCPRO50 (オーディオ 4CH) AVC-Intra50 (オーディオ 8CH)*	DVCPRO HD (オーディオ 8CH) AVC-Intra100 (オーディオ 8CH)*
AJ-P2C 004HG	1枚	約16分	約8分	約4分
	6枚	約96分	約48分	約24分
AJ-P2C 008HG	1枚	約32分	約16分	約8分
	6枚	約3時間12分	約96分	約48分
AJ-P2C 016RG	1枚	約64分	約32分	約16分
	6枚	約6時間24分	約3時間12分	約96分
AJ-P2C 032RG	1枚	約2時間8分	約64分	約32分
	6枚	約12時間48分	約6時間24分	約3時間12分

\*AVC-IntraコーデックボードAJ-YBX200G(オプション)装着時

## ◆NOTE:

- 上記の時間は、いずれもP2カードに1クリップを連続記録したときのものであります。
- 記録するクリップ数によっては、記録できる時間は上記より短くなるときがあります。

デジタルスロー： -1.0～+1.0倍速

## ビデオ

### デジタルビデオ

サンプリング周波数：DVCPRO HD： Y:74.176MHz  
PB/PR:37.088MHz

DVCPRO 50： Y:13.5MHz  
PB/PR:6.75MHz

DVCPRO/DV： Y:13.5MHz  
PB/PR:3.375MHz

量子化： 8 bits

ビデオ圧縮方式： DVベース圧縮  
(SMPTE 370M,314M)

ビデオ圧縮比率： DVCPRO HD: 1 / 6.7  
DVCPRO50: 1 / 3.3  
DVCPRO/DV: 1 / 5

ビットレート： DVCPRO HD: 100Mbps  
DVCPRO50: 50 Mbps  
DVCPRO/DV: 25 Mbps

## オーディオ

### デジタルオーディオ

サンプリング周波数： 48kHz(ビデオに同期)

量子化： 16bits

周波数特性： 20Hz～20 kHz ±1.0 dB  
(基準レベルにて)

ダイナミックレンジ： 90dB以上  
(1kHz、エンファシスOFF、"A"weighted)

歪率： 0.1%以下  
(1kHz、エンファシスOFF、基準レベル)

クロストーク： -80dB以下(1kHz、2チャンネル間)

ヘッドルーム： 12 / 18 / 20dB(切り替え可)

ディエンファシス： T1=50μsec、T2=15μsec  
(ON / OFF自動切り替え)

## シリアルデジタル入出力

### ビデオ／オーディオ

HD-SDI/SD-SDI切り替え入力:

BNC×1

ビデオ: SMPTE292/296/SMPTE259M-C

オーディオ: SMPTE299M/272M-A

HD-SDI/SD-SDI切り替え出力:

BNC×2

ビデオ: SMPTE292/296/SMPTE259M-C

オーディオ: SMPTE299M/272M-A

SD-SDIモニター出力:

BNC×1(スーパー付)

ビデオ: SMPTE259M-C

オーディオ: 272M-A

## ビデオ入出力

アナログコンポジット入力:

BNC×1(75Ω終端自動切り替え)

BNC×1ループスルー

HD/SDリファレンス切り替え入力:

ブラックバースト/HD3値SYNC自動切り替え

BNC×1(75Ω終端自動切り替え)

BNC×1ループスルー

アナログコンポジットモニター出力:

BNC×1(スーパーON/OFF)

## オーディオ入出力

アナログ入力:

XLR×2(CH1/CH2)

600Ω/ハイインピーダンス

+4/0/-3/-20dBm切り替え

デジタル入力:

BNC×4

(CH1/2, CH3/4, CH5/6, CH7/8)

AES/EBUフォーマットSMPTE276M

デジタル出力:

BNC×4

(CH1/2, CH3/4, CH5/6, CH7/8)

AES/EBUフォーマットSMPTE276M

モニター出力:

XLR×2, ローインピーダンス

+4/0/-3/-20dBm切り替え

ヘッドホン出力:

M3, レベル可変, 8Ω

## ビデオ調整範囲

ビデオ出力ゲイン: メニューによって $-\infty \sim +3\text{dB}$

または $-\infty \sim +6\text{dB}$ となる

ビデオ出力クロマゲイン:

$-\infty \sim +3\text{dB}$

ビデオ出力HUE(クロマ位相):

$\pm 30^\circ$

ビデオ出力セットアップ:

$\pm 10\%$

## その他入出力信号

タイムコード入力: BNC×1, 0.5Vp-p $\sim$ 8Vp-p, 10kΩ

タイムコード出力: BNC×1, ローインピーダンス

2.0Vp-p $\pm$ 0.5Vp-p(600Ω負荷時)

リモート:

RS-422A IN(9ピン)×1

RS-232C(9ピン)×1

パラレル(25ピン)×1

エンコーダーリモート(15ピン)×1

USB2.0: Host×1, Device×1

LAN: 100BASE-TX/10BASE-T×1

# メニュー索引

## サムネイルメニュー

THUMBNAIL .....	35
ALL CLIP .....	35
SAME FORMAT CLIPS .....	35
SELECTED CLIPS.....	35
MARKED CLIPS.....	35
TEXT MEMO CLIPS .....	35
SLOT CLIPS.....	35
SETUP .....	36
ALL HIDE.....	36
MARKER IND. ....	36
TEXT MEMO IND.....	36
WIDE IND. ....	36
PROXY IND. ....	36
DATA DISPLAY .....	36
THUMBNAIL SIZE .....	36
HIGH RESOLUTION.....	36
THUMBNAIL INIT .....	36
SORT .....	36
OPERATION.....	42
DELETE .....	43
FORMAT .....	53
REPAIR CLIP .....	44
RE-CONNECTION .....	44
COPY .....	42
EXCH. THUMBNAIL.....	37
PROPERTY .....	
CLIP PROPERTY.....	45
CARD STATUS .....	55
DEVICES.....	95
PROPERTY SETUP .....	54
META DATA .....	
LOAD .....	51
RECORD.....	52
USER CLIP NAME .....	48
INITIALIZE .....	52
PROPERTY .....	50
LANGUAGE.....	49
HDD .....	
EXPORT .....	91
EXPLORE.....	92
FORMAT(HDD).....	90
SETUP .....	91

## HDDメニュー

THUMBNAIL .....	35
IMPORT.....	94
FORMAT(HDD) .....	90
CHANGE PARTITION NAME .....	92
CLIP PROPERTY .....	93

## プレイリストメニュー

FILE .....	
NEW.....	61
OPEN.....	67
APPEND.....	64
SAVE.....	71
SAVE AS .....	65
DELETE.....	66
OPERATION .....	
DELETE ALL EVENT .....	71
DELETE SELECTED EVENTS .....	70
APPEND SELECTED CLIPS.....	62
EDIT COPY .....	82
CHANGE PLAYLIST NAME .....	65
PROPERTY .....	
EVENT PROPERTY .....	78
CARD STATUS .....	55
SETTING .....	
REPLACE TC .....	80
STOP MODE.....	58



---

パナソニック株式会社 AVCネットワークス社 システム事業グループ

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎(06)6901-1161

© Panasonic Corporation 2007

